

*本掲載の料理集はカラーになっておりますが、製品に付属されているものはカラーではありません。

HITACHI
Inspire the Next

クッキングガイド 〈取扱説明書・料理集〉

保証書別添付

日立過熱水蒸気オーブンレンジ

家庭用

型式

エム アール オー エス エフ

MRO-SF6

マカロニグラタン

このたびは日立過熱水蒸気オーブンレンジをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。このクッキングガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」→P.8~14 をお読みいただき、正しくお使いください。

ホームページから「レシピ集」をご覧ください。
スマートフォンやタブレット端末で読み取ってください。
詳しくは →P.98

ご利用の際は、通信費等の費用がかかります。



ヘルシーシェフ 

日立過熱水蒸気オーブンレンジ

HITACHI
Inspire the Next

クッキングガイド 〈取扱説明書・料理集〉

保証書別添付

日立過熱水蒸気オーブンレンジ

家庭用

型式

エム アール オー エス エフ

MRO-SF6

マカロニグラタン

このたびは日立過熱水蒸気オーブンレンジをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
このクッキングガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」→P.8~14 をお読みいただき、正しくお使いください。



ホームページから「レシピ集」をご覧ください。
スマートフォンやタブレット端末で読み取ってください。
詳しくは →P.98

ご利用の際は、通信費等の費用がかかります。



ヘルシーシェフ

日立過熱水蒸気オーブンレンジ



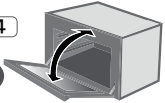
はじめに

一度ドアを開閉し、表示部に「0」を表示させてからお使いください。

- ①コンセントに電源プラグを差し込む
- ②ドアを開閉する

待機時消費電力オフ機能を搭載しているため、電源プラグをコンセントに差し込み、ドアを開閉すると電源が入ります。

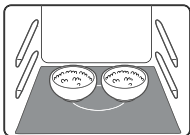
「電源の入れかた」→P.4



ドア開閉 → 電源「入」

オート調理を上手に使うために

- 加熱方法や時間、温度の設定が不要な40種類のオート調理を用意しています。メニューを選んでスタートするだけで上手に仕上がります。



食品を加熱室のテーブルプレートの中央に置いてください。

※食品を端に置いたり、少量の食品を加熱すると上手に加熱することができず、加熱し過ぎや加熱むらとなり、発煙、発火のおそれがあります。

オート調理を使った上手なあたため

あたためる食品	使用するオート調理
常温で保存したごはん・お総菜	1 おかず・ごはん
冷蔵庫で冷蔵保存したごはん・お総菜	1 おかず・ごはん
冷凍室で冷凍保存したごはん・お総菜	4 解凍あたため

※飲み物や揚げ物などに適したオート調理もあります。

- オート調理の仕上がりを5段階または3段階で調節することができます。→P.21

調理終了後は電源プラグを抜かない

調理終了後、本体の冷却のために冷却ファンが回転することがあります。液晶表示部に「冷却中」の表示があるときは、電源プラグを抜かないでください。→P.53

もくじ

まず確認 ご使用前に必ずお読みください

- はじめに 2
- 初めて使うときの確認と準備 4, 5
 - ・据え付けの確認 4
 - ・電源の入れかた 4
 - ・空焼き(脱臭)のしかた 5
- 各部のなまえ・操作パネル・付属品 6, 7
 - ・操作パネルのはたらき 7
- 安全上のご注意 8~14
- 加熱のしくみ 15
- 付属品の使いかた 15
 - ・オート調理で使う付属品 15
 - ・手動調理で使う付属品と使いかたの例 16
 - ・給水タンクの使いかた 17
- 使える容器・使えない容器 18, 19

使いかた

ご使用前の準備

- 上手な使いかた・調理のコツ 20, 21
 - ・食品の分量と容器の大きさ 20
 - ・食品を置く位置 20
 - ・市販の冷凍食品のあたため 20
 - ・2個以上の食品の同時あたため 20
 - ・オート調理の仕上がり調節 21
 - ・調理中の仕上がり状態確認 21
 - ・オート調理後の追加加熱 21
 - ・調理後の食品(容器)や黒皿の取り出し 21
 - ・終了音(メロディー)の切りかえ 21

黒皿

レンジ加熱では使わない

(レンジ加熱時)

※黒皿をレンジ加熱で使用すると火花(スパーク)が発生し、塗装が剥がれたり、ドアガラスが破損して故障・けがの原因となります。

※スチーム単独の加熱やスチームとレンジを組み合わせた加熱はできません。
 ※手動調理では過熱水蒸気を使うことはできません。オート調理の過熱水蒸気メニューのみに働きます。

オート調理

あたためる(レンジ加熱)

- ・ごはん・お総菜のあたため 22, 23
 - 1 おかず・ごはん
- ・冷凍保存したごはん・お総菜のあたため 24, 25
 - 4 解凍あたため
- ・飲み物のあたため 26
 - 2 飲み物・牛乳(杯数) | 3 酒かん(本数)
- ・コンビニ弁当のあたため 27
 - 5 コンビニ弁当

下ごしらえする

- ・肉や魚の解凍 28, 29
 - 37 解凍(グラム) | 38 刺身の解凍(グラム)
- ・野菜の加熱(ゆでる) 30, 31
 - 39 葉・果菜(グラム) | 40 根菜(グラム)

あたためる(オープン加熱)

- ・フライのあたため 32
 - 6 フライあたため

調理する

- ・レンジメニューの調理 33
- ・予熱「なし」メニュー*1の調理 34, 35
- ・予熱「あり」メニュー*2の調理 36
- ・「少人数」メニューの調理 37

※1: 予熱「なし」メニューとは...
 オープン(予熱なし)、グリル、過熱水蒸気の加熱方法を使って調理するオート調理メニューです

※2: 予熱「あり」メニューとは...
 オープン(予熱あり)の加熱方法を使って調理するオート調理メニューです

手動調理

レンジ 加熱

- ・一定の出力(W)で加熱する 38, 39
- ・加熱途中で出力(W)を自動的に下げる(リレー加熱) 40

グリル 加熱

- ・魚など表面に焦げ目をつけながら加熱する 41

オープン 加熱

- ・予熱「なし」で加熱する 42
- ・予熱「あり」で加熱する 43

発酵

- ・レンジ発酵で加熱する 44
- ・オープン発酵で加熱する 45

手動調理をするときの加熱時間 46, 47

お手入れ

本体・付属品のお手入れ 48

臭いが気になるとき(脱臭) 49

脱臭

水抜き(脱臭)のしかた 49

脱臭

うまく仕上がらないとき・お困りのときは

うまく仕上がらないとき 50~52

- ・ごはんのあたため 50
- ・解凍 50
- ・お総菜のあたため 50, 51
- ・牛乳のあたため 51
- ・野菜 51, 52
- ・スイーツ(スポンジケーキ、シュークリーム、クッキー) 52
- ・パン(トースト、バターロール) 52
- ・過熱水蒸気メニュー 52
- ・その他 52

お困りのときは 53~55

お知らせ表示が出たとき 55

保証とアフターサービス 99

ご相談窓口 99

仕様 裏表紙

料理集

56~98

・料理集 もくじ 56, 57

まず確認

使いかた

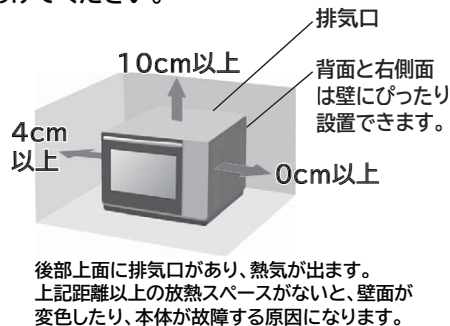
お手入れ

うまく仕上がらないとき・お困りのときは

初めて使うときの確認と準備

据え付けの確認

- 5面(上面・左側面・右側面・背面・底面)を囲む設置はしないでください。
・製品の周りにすき間があっても、上面・左側面・右側面・背面のいずれか1面を開放してください。
- 設置の際は右図にしたがって放熱スペースをあけてください。
※後部上面に排気口があり、熱気が出ます。
- 本体の背面は、壁や家具などぴったりつけても大丈夫ですが次のことを確認してください。
 - 調理中や調理後は本体上面が高温となる場合があるので、10cm以上のスペースをあけ、物を置かないでください。
 - 壁に接触跡がついたり、結露する可能性があります。壁面と本体の間を少しあけ、壁面側にアルミホイルを貼り、保護してください。
 - 後方がガラスの場合、20cm以上間をあけてください。(20cm以上間をあけても温度差によって割れることがあります)
- 熱に弱い物やカーテンのそばに据え付けしないでください。
- 背面の吸気口をふさぐ設置はしないでください。
- 事故防止のため、アースを確実に取り付けてください。→P.9、14
- 水平で丈夫な台の上に据え付けてください。
- 本体は、ラジオ、無線機器(無線LAN)やアンテナ線などから3m以上離してください。
・雑音や映像の乱れ、通信状態が悪くなる等の原因になります。



転倒防止金具セット(別売品)

転倒防止金具セットを別売品として扱っています。お買い上げの販売店にご相談ください。 2016年9月現在

背面と壁の距離	部品番号	希望小売価格
壁ピッタリ設置	MRO-JV300 012	1,000円(税別)
15~22cm	MRO-N80 016	1,000円(税別)

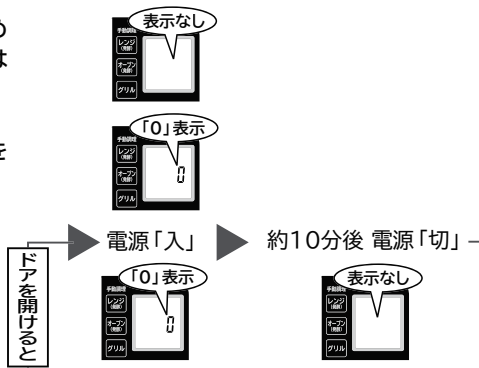
お願い

医療用ペースメーカーをお使いの方は、この製品をご使用の際には、専門医師とよくご相談の上お使いください。

電源の入れかた

ドアを開けると電源が入ります。(表示部に「0」を表示)

- 使用していないときの消費電力を節約するため電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは電源は入りません。
- 一度ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- 表示部に「0」を表示したままドアを閉じて約10分間放置すると、自動的に電源が切れます。(待機時消費電力オフ機能)



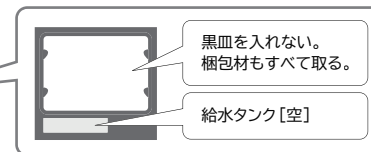
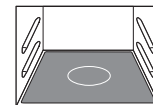
空焼き(脱臭)のしかた

脱臭

- 加熱室壁面にはさびを防ぐため油が塗ってあります。初めてお使いになる際には、「空焼き(脱臭)」を次の手順で行い、油を焼き切ってください。
- 梱包材は、すべて取り除いてからご使用ください。
- 空焼き(脱臭)はヒーター(オープン加熱)で行い、加熱室や本体が熱くなります。

準備

加熱室を空の状態にして
ドアを閉める



1

空焼き(脱臭)をする

脱臭 を押す

※空焼き(脱臭)はヒーター(オープン加熱)で行います。加熱時間は20分です。

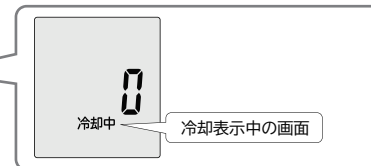


2

あたためスタート を押してスタートする

終了音が鳴ったら終了です

※空焼き終了後、冷却のためファンが約2~10分間回転します。冷却終了後自動停止します。
※空焼き終了後はすぐに調理せず、加熱室が冷めてから使用してください。



注意

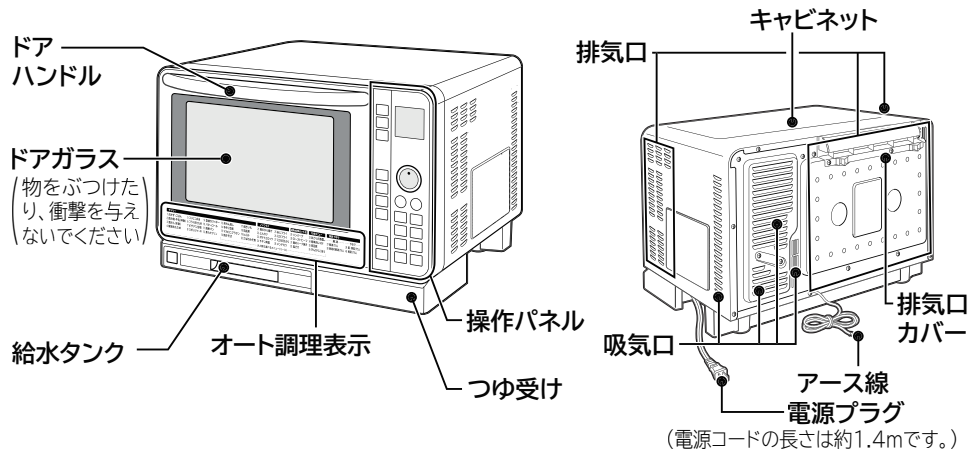


- 空焼き(脱臭)の加熱中や終了後しばらくは、本体(ドア、キャビネット、加熱室とその周辺)に触れない
やけど・けが・火災の原因になります



- 空焼き(脱臭)を行うときは、加熱室に何も入れない
- 空焼き(脱臭)を行うときは、油の焼ける臭いや、煙が出る場合があるので、窓を開けるか、換気扇を回す
- 煙や臭いなどに敏感な小鳥などの小動物は、別の部屋に移す
- 加熱室が冷めてから使用する

各部のなまえ・操作パネル・付属品



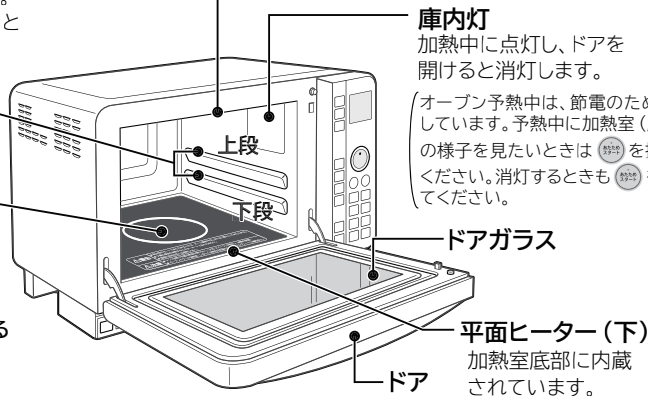
管ヒーター(上)
衝撃を与えないでください。黒皿や容器などをぶつけると割れることがあります。

皿受棚
上段または下段に黒皿をのせます。

テーブルプレート
加熱室底面に設置され、食品を中心に置いて加熱します。お手入れ方法 → P.48
※警告文は印刷されているため、剥がせません。

蒸発皿
管ヒーター(上)の熱で水を蒸発させる皿です。加熱室内の上左側にあります。
※管ヒーター(上)の熱を利用して水を蒸発させるしくみのため、スチーム単独の加熱やスチームとレンジの組み合わせの加熱はできません。オープンやグリルと組み合わせた過熱水蒸気となります。

庫内灯
加熱中に点灯し、ドアを開けると消灯します。
(オープン予熱中は、節電のため点灯していません。予熱中に加熱室(庫内)の様子を見たいときは「**とりけし**」を押してください。消灯するときも「**とりけし**」を押してください。)



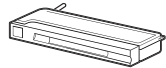
付属品

付属品の使いかた → P.15~17

■黒皿(ホーロー製)
※レンジ加熱では使えません



■給水タンク



(製品に取り付けられています)

■クッキングガイド(本書)

■保証書

黒皿用の「取っ手」(別売品)

黒皿用「取っ手」を別売品として扱っています。お買い上げの販売店にご相談ください(黒皿以外には使用できません)



厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用袋を使い、両手で黒皿を取り出します

2016年9月現在

部品名	部品番号	希望小売価格
取っ手	MRO-N80003	800円(税別)

操作パネルのはたらき

デ일리	ノンフライ	過熱水蒸気(ヒーター式)	10分メニュー	解凍・下ゆで
1 おかず・ごはん 2 飲み物・牛乳(杯数) 3 通かん(本数) 4 解凍あたため	5 コンビニ弁当 6 フライあたため 7 ビザ(パン生地) 8 スポンジケーキ 9 型抜きクッキー 10 パターロール 11 簡単パン 12 柔らかプリン	13 茶わん蒸し 14 手作り豆腐 15 マカロニグラタン 16 焼きそば 17 焼きいも 18 菜餚煮 19 とん汁 20 しばのみそ煮	21 鶏のから揚げ 22 とんかつ 23 ポテトコロッケ 24 チキン南蛮 25 あじフライ 26 えびフライ 27 えびの天ぷら 28 メンチカツ 29 ハンバーグ 30 ローストビーフ 31 鶏のハーブ焼き 32 塩だけ 33 あじの酒蒸し 34 簡単肉じゃが 35 肉豆腐 36 きんぴらごぼう	37 解凍 38 刺身の解凍(グラム) 39 葉・果菜(グラム) 40 根菜(グラム)

※人数も選べるメニュー(10~36)

オート調理表示
オート調理で選択できるメニューを番号とともにドアの前面部分に表示しています。

手動調理ボタン
手動調理で調理するときに加熱の種類に合わせて選択します。

簡単レンジボタン
手動レンジ600W、500Wで加熱するときを使うボタンです。簡単レンジで前回使用した出力(W)を記憶しており、押すと最初に表示します。

時間/グラム(重量)ボタン
手動調理の時間の設定や、オート調理「37 解凍(グラム)」、**38 刺身の解凍(グラム)**、**39 葉・果菜(グラム)**、**40 根菜(グラム)**のグラム(重量)の設定を行います。

温度/仕上がりボタン
オート調理の仕上がりや手動調理(オープン加熱)の温度の設定を行います。

脱臭ボタン
加熱室の汚れを落としたり、臭いを軽減します。

表示部
設定内容や運転状況を表示します。(表示は全点灯イメージ図です。)

あたためスタートボタン
オート調理、手動調理などの運転のスタートを行います。

あたためスタートランプ
オート調理、手動調理のとき点滅して「あたため」を押してスタートすることをお知らせします。(加熱を開始すると消えます)

少人数ボタン
ボタンを押して少人数のメニューを選択します。

とりけしボタン
設定内容や運転のとりけしを行います。

オート調理ボタン
ボタンを押してオート調理の種類を選択します。

メニュー選択ボタン
オート調理のメニュー番号の設定を行います。

手動調理
レンジ(発酵)
オープン(発酵)
グリル

HEALTHY CHEF

あたためスタート
10分
1分
100g
10秒
10g
デ일리 ノンフライ
過熱水蒸気 10分メニュー
解凍 下ゆで
温度/仕上がり
メニュー選択
脱臭

※1000Wについて
高周波出力1000Wは、短時間高出力機能(最大3分間)です。
オート調理の「1 おかず・ごはん」等の限定したメニューにのみ働きます。

※手動調理では過熱水蒸気を使うことはできません。オート調理の過熱水蒸気メニューにのみ働きます。

※オート調理の場合、メニューによってスタート直後、表示部に「あたため」を表示します。

安全上のご注意

この製品は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

人身への危害、財産への損害を未然に防ぐため、お守りいただくことを、次のように区分して、説明しています。本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を図記号で区分して、説明しています。

危険 「死亡または重傷を負うおそれが特に高い」内容です。

警告 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある」内容です。

警告 「警告や注意を促す」内容です。

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

指示 実行しなければならない「指示」内容です。

危険

製品内部には高圧部があります

分解禁止 改造はしない
修理技術者(サービスマン)以外の方は修理・分解をしない
火災・感電・けがの原因になります
故障した場合は、お買い上げの販売店にご相談ください

禁止 吸気口・排気口・給水タンク収納部など、製品の穴やすき間に指や物を差し込まない(特に子供のいたずらなどに注意する)
火災・感電・けがの原因になります
異物が本体に入った場合は、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください

警告

電源プラグ・電源コード・コンセントは

ぬれ手禁止 ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電のおそれがあります

禁止 電源プラグ、電源コードに水をかけたり、水をかけたりしない
電源プラグを水につけた場合は使用しない
漏電や感電、故障の原因になります

禁止 電源プラグ、電源コードを傷つけない
感電・発火・火災の原因になります
傷つけのおそれのある取り扱い例
●加工する ●束ねる
●無理に曲げる ●重い物をのせる
●引っ張る ●挟み込む
●ねじる

禁止 傷ついた物、ゆるんだコンセントを使用しない
感電・発火・火災の原因になります

注意 電源は、交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用するほかの器具との併用は、コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります
(タコ足配線は禁止)

注意 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・発火・火災の原因になります

注意 電源プラグのほごりは確実にふき取る(特に刃や刃の取り付け面)
ほごりに湿気が溜まり、絶縁が弱まり、火災の原因になります

注意 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁が弱まり、漏電・感電・火災の原因になります
電源プラグを抜く

警告

据え付けるときは → P.4

禁止 次のような場所では使用しない
事故・やけど・けがの原因になります
●幼児の手の届く場所
●カーテンやスプレー缶など、燃えやすい物の近く
●たたみ・じゅうたん・テーブルクロスなど、熱に弱い物の上



オープンやグリル加熱時などの高温で、引火の原因になります

禁止 本体の上にスプレー缶などの物を置かない
オープンやグリル加熱時などは、高温となり過熱して事故・やけど・変形の原因になります

注意 製品や付属品の梱包材はすべて取り除き、ポリ袋は幼児の手の届かない場所に保管、または廃棄する
梱包材の発火、ポリ袋をかぶることによる窒息事故の原因になります

アース線は

注意 アースを確実に取り付ける
感電や漏電の原因になります
コンセントにアース端子がある場合は、アース線先端の被覆を取り、芯線をアース端子に確実に取り付ける



●アース端子がない場合は、アース接地工事する
接地工事には「電気工事士」の有資格者による接地工事が法律で義務づけられています
お買い上げの販売店にご相談ください
(本体価格には、工事費は含まれていません)

●湿気の多い場所や水けのある場所で使用する場合は、感電事故を防止するため「電気工事士」の有資格者によるD種接地工事が法律で義務づけられています → P.14

ガス管、水道管、電話や避雷針のアースには取り付けしないでください(法令で禁止されています)

ご使用にあたっては

禁止 子供だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
やけど・感電・けがの原因になります

禁止 調理の目的以外には使用しない
やけど・けが・火災の原因になります

注意 食品分量・容器・使用付属品など、本書記載の内容に従って調理する
発火・火災の原因になります

調理中や調理後は(空焼き(脱臭)運転を含む)

注意 調理やお手入れを中止するときは(トリック)を押す
先に電源プラグを抜くと、火災・感電の原因になります

安全上のご注意(つづき)

警告

お手入れするときは



電源プラグを抜く

電源プラグを抜いてから行う
差し込んだままでは、感電の原因になります



本体各部や付属品などが冷めてから行う
熱いとやけどの原因になります



本体や付属品などはオーブンクリーナー、シンナー、ベンジン、スプレーのガラスみがき漂白剤などでふかない傷・変形・変色の原因になります



本体や付属品などは金属たわし、研磨材入りナイロンたわし、鋭利な物でこすらない
けが・破損の原因になります



管ヒーター(上)は押ししたり、強くこすったりしない
割れたり、ひびが入ったときは、そのまま使用せず、お買い上げの販売店にご相談ください
そのまま使用するとけがや感電の原因になります

レンジ加熱(オート調理のあたためや手動調理のレンジ加熱)を使うときは



食品以外は加熱しない
やけど・けが・火災の原因になります
市販のレンジ加熱用の湯たんぽ、哺乳びん(消毒パック)、玩具などは加熱しないでください



生卵やゆで卵(殻つき・殻なしとも)、目玉焼きは加熱しない
卵が破裂して、テーブルプレートやドアガラスが破損するおそれがあり、やけど・けが・故障の原因になります



食品を加熱し過ぎない
発火・やけど・けがの原因になります
●少量の食品(100g未満)は手動調理の「レンジ」500W以下で、加熱時間を20～50秒に設定し、様子を見ながら加熱する
●オート調理は、食品分量・容器など本書記載の内容に従って加熱する
●手動調理(レンジ加熱)は、設定する時間を控えめにし、食品の仕上がり具合を見ながら加熱する



卵を加熱する場合は、溶きほぐしてから加熱する



次のような状態のまま加熱しない
やけど・けが・火災の原因になります
●鮮度保持剤(脱酸素剤など)を入れた状態
●包装や食品にラベルやテープを貼った状態
●びんや容器にふたや栓などをした状態
●缶詰の缶のままの状態
●市販のレトルト食品の袋のままの状態
鮮度保持剤は出し、ラベル・テープは剥がし、ふたや栓は外し、缶詰などは別の容器に移しかえて加熱してください



殻や膜のある食品は、割れ目や切り目を入れてから加熱する
破裂して、やけど・けがの原因になります



警告

飲み物などのあたためは(突沸にご注意ください)



飲み物などを加熱し過ぎない
加熱中や加熱後に突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります
また、衝撃でテーブルプレートが割れるおそれがあります
●飲み物(水・牛乳・お酒・コーヒー・豆乳など)
●とろみのある物(カレー・シチューなど)
●油脂分の多い物(生クリーム・バターなど)
加熱しすぎた場合は、1～2分程度加熱室内で冷ましてから取り出す



飲み物をあたためるときは、背の低い広口の容器を使用する
背の高い細口の容器を使用すると、加熱中や加熱後に突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります



「1おかず・ごはん」で飲み物や汁物などを加熱しない
加熱中や加熱後に突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります
●牛乳・コーヒー・お茶・水などは、「2飲み物・牛乳(杯数)」で加熱する
●お酒は「3酒かん(本数)」で加熱する
●みそ汁・スープなどは手動調理(レンジ加熱)で加熱する
加熱後に追加で加熱するときは、手動調理の「レンジ」500W以下で様子を見ながら加熱する



加熱前によくかき混ぜる
加熱中や加熱後に突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります



加熱前



加熱直後は上からのぞき込まない
突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります



加熱直後はインスタントコーヒーなどの粉末やミルクなどの液体を入れない
突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります



突沸

異常・故障時は



直ちに電源プラグを押して使用中を中止する
火災・感電・けがの原因になります
すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください

- 異常・故障の例
- 電源コードや電源プラグが異常に熱い
 - 焦げくさい臭いがする
 - 異常な音が出る
 - 火花(スパーク)が出る
 - 本体に触れるとビリビリと電気を感じる
 - ドアに著しいガタつきや変形がある
 - 加熱が自動で終了しないときがある

安全上のご注意(つづき)

⚠️注意

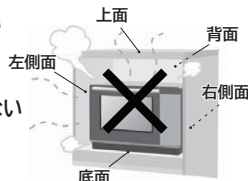
電源プラグ・電源コード・コンセントの取り扱いは

- ❌ 電源コードは排気口などの高温部に近づけない
電源コードを傷める原因になります
- ❌ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない
断線して、発火の原因になります
電源プラグを持って抜いてください



据え付けるときは →P.4

- ❌ 5面(上面・左側面・右側面・背面・底面)を囲む設置はしない
製品のまわりにすき間があっても、上面・左側面・右側面・背面のいずれか1面を開放してください
- ❌ 流しやコンロなど、水のかかるところや火気・熱気の近くで使用しない
感電や漏電、発火の原因になります
- ❌ 熱に弱い壁材や家具の近く、コンセントが排気口の近くになる場所に据え付けない
発火・変色・感電の原因になります



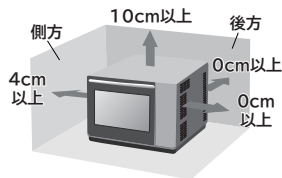
- ⚠️ 水平で丈夫な場所に据え付ける
不安定な場所は、振動・騒音・本体落下の原因になり、けがのおそれがあります
- ⚠️ 本体と壁の距離は次のように据え付ける
●本体と壁の間は、下表の距離以上にあける

この電子レンジは、「消防法 設置基準」に基づく試験基準に適合しています

場所	上方	下方	左方	右方	前方	後方
隔離距離(cm)	10	0	4	0	開放	0

「消防法 設置基準」組立型

- 後方がガラスの場合、温度差で割れるおそれがあるので、20cm以上あけてください
(20cm以上あけても温度差によって割れることがあります)



ご使用にあたっては

- ❌ ドアに物を挟んだまま調理しない
電波もれや熱もれによる傷害・やけど・発火・火災の原因になります
- ❌ 本体が転倒・落下した場合は、そのまま使用しない
電波もれや熱もれ・感電・やけどの原因になります
お買い上げの販売店へ点検をご依頼ください
転倒・落下を防ぐ「転倒防止金具セット」(別売品)をご利用ください(→P.4)
詳細は本書記載の「ご相談窓口」にお問い合わせください(→P.99)
- ❌ 加熱室壁面やテーブルプレートなどに食品くずがついたまま調理しない
発火・火災の原因になります
- ❌ テーブルプレートは、容器を強く当てたり落としたりしない
割れたり、ひびが入ったときは、そのまま使用せず、お買い上げの販売店にご相談ください
そのまま使用すると故障の原因になります
- ❌ 本体に水をかけない
ショート・感電の原因になります
誤って水をこぼした場合は、お買い上げの販売店にご相談ください
- ❌ ドアに無理な力を加えたり、本体にのったりしない
ドアがガタつき、電波もれや熱もれによる傷害・やけどの原因になります

⚠️注意

ご使用にあたっては (つづき)

- ❌ 吸気口・排気口をふさがない
吸気口、排気口をふさぐと本体内部の冷却ができず高温になって故障や発火の原因になります
本体上面には物を置かないでください
また上方は必ず10cm以上のスペースをあけてください
- ❌ ドアガラスに物をぶつかけたり、衝撃を加えたり、傷を付けたりしない
ガラスが割れて、けがの原因になります
小さな傷でも、ガラスが割れることがあります
また、傷が付いてもすぐに割れず、その後のご使用中またはご使用後(放置時)の熱膨張・熱収縮により割れることがあります

- ⚠️ 空焼き(脱臭)は次の状態で行う(→P.5)
 - 加熱室内に何も入れない
 - 煙や臭いなどに敏感な小鳥などの小動物は、別の部屋に移す
 - 窓を開けるか換気扇を回す
油の焼ける臭いや煙が出る場合があります
- ⚠️ 落雷のおそれがあるときは、電源プラグをコンセントから抜く
故障の原因になります

調理中や調理後は(空焼き(脱臭)運転を含む)

- ❌ ドアを開けるときはのぞき込まない
熱気や水蒸気などで、やけどの原因になります
- ❌ 高温のドアガラスやテーブルプレートなどに水をかけない
割れるおそれがあります
- ❌ 冷却ファンが作動しているときは、電源プラグを抜かない
部品が故障する原因となります
- ❌ 高温になっているので、キャビネット・排気口・ドア・加熱室・テーブルプレート・黒皿などに直接触れない
やけど・けがの原因になります
- ⚠️ 食品や容器、付属品などの出し入れは、厚めの乾いたふきんや、お手持ちのオープン用手袋を使用する
直接触れると、やけど・けがの原因になります
- ❌ 加熱室内で食品が燃え出したときはドアを開けない
勢いよく燃えるおそれがあります
1. すぐに電源ボタンを押して、運転を止め、電源プラグを抜く
2. 本体から燃えやすい物を遠ざけ、鎮火するまで待ち、火がなかなか衰えないときは水か消火器で消す
鎮火後、そのまま使用せず、お買い上げの販売店にご相談ください
- ❌ 小鳥などの小動物を近づけない
別の部屋に移すか、窓を開ける、換気扇を回すなど煙や臭いがこもらないようにする
- ⚠️ ドアを開閉するときは、指の挟み込みに注意する
指のケガにやけど・けがの原因になります

安全上のご注意(つづき)

⚠️ 注意

レンジ加熱(オート調理のあためや手動調理のレンジ加熱)を使うときは

❌ 加熱室に食品を入れない状態で加熱しない
故障・発火の原因になります

❌ 金属製の次の物は使用しない
火花(スパーク)で故障・発火・ドアガラス破損の原因になります

●付属品の黒皿



- 金ぐしや金属の調理用具
- アルミホイール
- 金属・ホーローの鍋、ふた
- アルミなどで表面加工されたプラスチック容器

❗ 乳幼児用ミルク、ベビーフードや介護食をあためるときは、手動調理(レンジ加熱)で加熱後、かき混ぜてから温度を確認する
やけどの原因になります

❗ 市販のベビーフードは、別の容器に移しかえて加熱する
やけど・けがの原因になります

❗ ラップなどのおおいは、ゆっくりと剥がす
蒸気が一気に出てやけどの原因になります

給水タンクを使うときは

❌ 水以外は入れない
アルコール類を入ると発火の原因になります

❌ 食器洗い乾燥機や食器乾燥器などで洗ったり、乾燥したりしない
破損・変形の原因になります

❗ 使用するたびに新しい水に入れかえる
健康懸念の原因になります

❗ こまめに洗い、清潔を保つ
洗わないと衛生上の問題発生の原因になります

❌ 破損したまま使わない
水がもれて故障の原因になります

❌ コンロのそばや本体の上など高温になる場所に置かない
オープン加熱やグリル加熱などは、本体が高温となるため、破損・変形の原因になります

❌ 熱湯につけたり、熱湯消毒などはしない
破損・変形の原因になります

アース接地工事が必要なときは

●次の場合は、感電事故を防止するため電気工事士の資格のある者による、施工「D種接地工事」が法律で義務づけられています。
お買い上げの販売店、電気工事店にご相談ください。(本体価格には工事費は含まれていません)

■湿気の多い場所

水蒸気が充満する場所、土間・コンクリート床、酒・しょうゆなどを醸造または貯蔵する場所

■水けのある場所(漏電遮断機の取り付けも義務付けられています)

水を取り扱う土間、洗い場など水けのある場所
地下室など常に水滴が漏出したり、結露する場所

加熱のしくみ

レンジ 電波(高周波)で食品を加熱します。
電波(高周波)には3つの性質があります。



水分を含んだ食品には「吸収」されます。



ガラス、陶磁器などの容器は「透過」します。



金属にあたると「反射」します。

スピーディーで経済的です。

色や形、風味が保たれます。

水を使わないので栄養素が保たれます。

盛りつけたままで加熱できます。

食品に吸収された電波は、水の分子のまま運動を活かし、熱を発生させます。このまま熱で食品をスピーディーに加熱します。

グリル



食品を上ヒーターで加熱し、食品に焦げ目をつけ、中は柔らかく仕上がります。

オープン

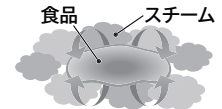


上下ヒーターで加熱室の温度を均一に保ち、食品全体を包み込むようにして焼きます。

スチーム (角皿スチーム)

加熱室にスチーム(100℃前後の水蒸気)を充満させながらオープンと組み合わせて食品を加熱します。食品に水分を加えてしっとり柔らかく仕上がります。

※角皿スチームのメニューは黒皿に水を入れて使います。



過熱水蒸気

グリル

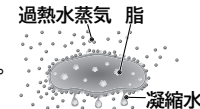
過熱水蒸気

オープン

加熱室に過熱水蒸気を充満させながらグリルまたはオープンと組み合わせて食品を加熱します。肉などから余分な脂や魚などの塩分を凝縮水とともに落としてヘルシーに仕上がります。

※オート調理の場合のみの加熱方法です。手動調理の場合は設定できません。

※過熱水蒸気の粒子は非常に細かいため見えません。



※スチーム単独の加熱やスチームとレンジを組み合わせた加熱はできません。

付属品の使いかた

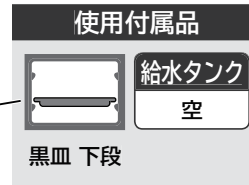
オート調理で使う付属品

●メニューによって、使う付属品が異なります。操作手順や料理集のイラストに従い、正しくセットしてください。

付属品イラストの見かた

例: 黒皿を使う場合

付属品のセット位置
黒皿を皿受棚の下段にセットする。



給水タンクの状態
水を入れずに本体にセットする。
「満水」: 水を満水まで入れて本体にセットする。
「空」: 水を入れずに本体にセットする。

黒皿を使う



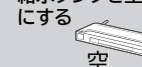
黒皿を使わない



給水タンクを満水にする



給水タンクを空にする

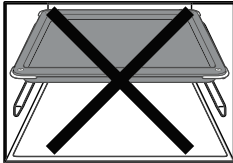
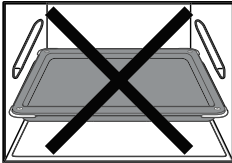

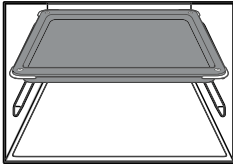
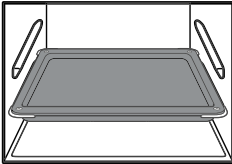


※給水タンクに水を入れるのはオート調理の過熱水蒸気メニューだけです

※角皿スチームのメニューは黒皿に水を入れて使います

付属品の使いかた (つづき)

手動調理で使う付属品と使いかたの例

加熱方法	黒皿		給水タンク
レンジ加熱	使えません 	使えません 	 空 水は入れずに、空で本体にセットします
オーブン加熱	使えます 	使えます 	
グリル加熱	上段 上段の皿受棚にセットして使用します。	下段 下段の皿受棚にセットして使用します。	

■黒皿は、本書に従い、上記使いかたの例を参照して、上段、下段に正しくセットしてお使いください。

※手動調理では給水タンクに水を入れても過熱水蒸気は発生しません。オート調理の過熱水蒸気メニューにのみ働きます。

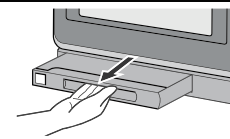
給水タンクの使いかた

※給水タンクに水を入れて使うのは過熱水蒸気メニュー (29ハンバーグ | 30ローストビーフ | 31鶏のハーブ焼き | 32塩ざけ) の4メニューです。

取り外しかた

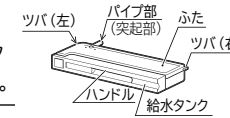
本体から外す

給水タンクに手をかけ、そのまま水平に引き抜きます。



ふたの外しかた

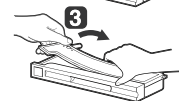
1 パイプ部には触れないようにして、給水タンク全体をかるく持ちます。



2 ふたのツバ(右)に指をかけ、右側面全体を持ち上げます。

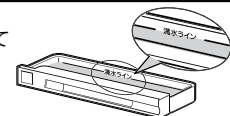


3 ツバ(左)に指をかけ、左側面全体を持ち上げ、ふたを外します。



水の入れかた

1 給水タンクを水平にして満水ラインまで水(水道水)を入れます。



2 周囲全体を押さえて確実にふたを閉めてください。
※傾けると水がこぼれることがあるので、水平の状態でご確認ください。
※水を入れた後、ふたの中央部を押すとパイプ部から水がこぼれることがあるので、注意してください。

本体にセットする

ふたが確実に閉まっていることを確認します。給水タンクを水平に持って、挿入口に入れ、しっかり奥まで差し込みます。
※確実にセットしないと、水もれやスチーム不足の原因になります。

給水タンク使用後は

カビや雑菌が繁殖しやすくなっているので、お手入れとパイプの水抜きを行ってください。(→P.48,49) また、使用しない場合は空にし、本体に取り付けておいてください。

⚠ 注意

- ❌ 給水タンクには、水以外は入れない
変形・破損の原因になります
アルコール類を入れると発火するおそれがあります
- ❗ 給水タンクの水は、使うたびに新しい水を入れる
健康懸念の原因になります
水は水蒸気となって直接食品に触れるので衛生上、新しい水を使用してください
- ❗ 過熱水蒸気メニューの使用後は給水タンク内の残水が熱くなっていることがあるので注意する
やけどの原因になります

お願い

- 給水タンクを5℃以下の環境では使用しないでください。(過熱水蒸気メニューの調理が上手にできなくなります。)
- 使用する水は、塩素消毒された水道水を使用してください。なお硬度の高い水(海外のミネラルウォーターなど)を使用した場合は、白い粉(カルキ)が噴出したり長期間使用すると蒸発皿のスチーム噴出口が詰まることがあります。蒸発皿が白く付着が目立つようであれば、硬度の低いミネラルウォーターをおすすめします。また、下記の水を使うときはカビや雑菌が発生しやすくなるため、毎回給水タンクを洗ってください。(→P.48,54)



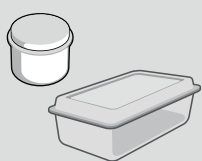
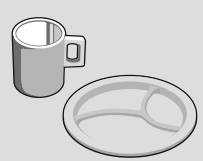

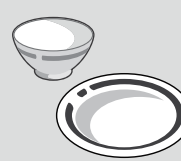




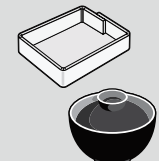
- 過熱水蒸気メニューの調理終了後、お手入れとパイプの水抜きを行ってください。そのまま放置すると、カビや雑菌が発生しやすくなります。(→P.48,49)
- 過熱水蒸気メニューの場合は給水タンクの満水ラインまで水を入れ、確実に本体にセットしてください。水が少なかったり、半挿入で行うとスチームが止まり、仕上がりが悪くなります。
- 使用しない場合は、空にして本体に取り付けておいてください。

使える容器・使えない容器

○は使える。
×は使えない。

使用上のご注意

- レンジ加熱とオープン、グリル加熱を間違えないでください。間違えると食品や容器が発煙・発火することがあります。加熱する前に、加熱の種類を確認してください。
- プラスチック類は家庭用品質表示法に基づく耐熱温度表示をごらんください。
- 材質や耐熱温度がわからない容器は使わないでください。

	プラスチック容器		陶器・磁器		ガラス容器		その他		
	<p>耐熱性のあるプラスチック容器 ポリプロピレン製など</p> 	<p>その他のプラスチック容器</p> 	<p>耐熱性のある陶器・磁器 ココット皿 グラタン皿など</p> 	<p>日常使っている陶器・磁器 茶わん・皿など</p> 	<p>耐熱性のあるガラス容器</p> 	<p>耐熱性のないガラス容器 強化ガラス クリスタルガラス カットグラスなど</p> 	<p>ラップ類</p> 	<p>金属、ホーローの鍋、ふた・金属容器・金ぐし・アルミホイルなど</p> 	<p>竹・木・籐・紙・ニス塗り・漆塗り容器など</p> 
	○	×	○	○	○	×	○	×	×
	<p>耐熱温度が140℃以上の物で、「電子レンジ使用可」の表示のある物を使います。 ただし、砂糖、バター、油を使った料理は高温になり、容器が変形して使えません。 加熱中に蒸気を吹き出す容器を使用した場合に、蒸気に混じって吹き付けられた食品が固着して、加熱室内の塗装が傷む場合があります。調理後は、すぐにくきとってください。</p>	<p>耐熱温度が140℃未満の物(ポリエチレン、スチロール樹脂など)や耐熱温度が高くても電波で変質する物(メラミン、フェノール、ユリア樹脂、アルミなど)で表面加工した樹脂などは使えません。 ただし、37解凍(グラム) 38刺身の解凍(グラム)のときにだけ、発泡スチロール製のトレーが使えます。</p>		<p>ただし、色絵付け、ひび模様、金、銀模様のある物は、器を傷めたり、火花(スパーク)が出るので使えません。 また素焼きの陶器、土鍋など吸水性の高い物や、長時間浸水させた陶器、磁器は、熱くなり、割れるおそれがあるので注意してください。</p>		<p>ただし、加熱後急冷すると割れることがあります。</p>	<p>耐熱温度が140℃以上の物は使えません。 ただし、砂糖、バター、油を使った料理は高温になり、ラップが溶けて使えません。 オープン、グリル加熱後は、<u>加熱室が熱くラップ類が溶けるおそれがあるので注意してください。</u></p>	<p>電波を反射するので使えません。 ただし、アルミホイルは電波を反射する性質を利用し、加熱し過ぎる部分をおおうなど、部分的に使えます。このとき、<u>加熱室壁面、ドアガラスに触れると火花(スパーク)が出て、破損や故障のおそれがあるので注意してください。</u></p>	<p>焦げたり、塗りがはげたり、ひび割れすることがあるので使えません。特に針金を使っている物は燃えやすくなります。 ただし、竹ぐし、楊枝、紙は料理集に記載している使いかたに限り使えます。</p>
フット									
	×	×	○	×	○	×	×	○	×
	<p>ただし、「グリル、オープン使用可」の表示のある物は使えます。</p>					<p>ただし、加熱後急冷すると割れることがあります。</p>	<p>ただし、発酵では使えます。</p>	<p>ただし、取っ手がプラスチックの物は使えません。</p>	<p>ただし、硫酸紙や耐熱性の加工を施した紙製品は使えます。</p>
オープン、グリル									

上手な使いかた・調理のコツ

食品の分量と容器の大きさ

	食品の分量		容器の大きさ
あたためる	100g未満 	100g~600g 	 食品が7~8分目になる容器が目安 食品分量と同じくらいの重さが目安

調理する

オート調理
 ティリー ノフライ 過熱水蒸気 10分メニュー 解凍下ゆで

手動調理
 レンジ(解凍) オープン(解凍) グリル 簡単レンジ

オート調理や手動調理は、本書に記載されている分量や容器に従ってください。

食品の分量や容器は本書の該当ページに従ってください。

食品を置く位置

■中央に寄せて置きます。
2個以上の場合も中央に寄せて置きます。
テーブルプレートの端や角に置くと、うまくあたたまりません。



市販の冷凍食品のあたため

■市販の冷凍食品をあたためるときはテーブルプレートの中央に寄せて置きます。
冷凍食品のパッケージに端に置く記載がある場合も、中央に寄せて置いてください。
パッケージの記載が、テーブルが回転するターンテーブル式のオープンレンジに対応しているためです。本製品はテーブルが回転しないフラットテーブル式のオープンレンジのため、端に分けて置くと加熱し過ぎたり加熱不足となる場合があります。

■レンジ加熱の出力・加熱時間は冷凍食品メーカーが表示している「レンジ」500Wまたはレンジ600Wの時間を目安にして、若干多めに加熱します。
食品を端に置いて加熱してしまうと、上手にあたたまりません。(加熱不足や加熱にむらがあることがあります。)

	1個の場合	2個の場合	4個の場合
食品の置きかた (中央に寄せて置きます)			

2個以上の食品の同時あたため

■オート調理で同じ食品を2個以上同時にあたためる場合は、食品の分量や容器の大きさを同じくらいにします。

お総菜は少し間を離す

飲み物は中央に寄せる

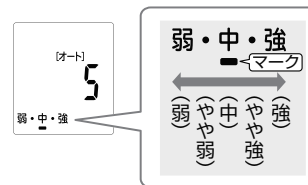
容器の大きさを同じくらいにする

■オート調理で保存温度や種類の異なる食品を2品同時にあたためる場合

- 常温と常温、常温と冷蔵、冷蔵と冷蔵の2品同時あたためは「1おかず・ごはん」 → P.22, 23
- 飲み物は「2飲み物・牛乳(杯数)」 「3酒かん(本数)」であたためる。 → P.26
- 上記以外の食品は手動調理(レンジ加熱)で様子を見ながらあたためます。 → P.38, 39

オート調理の仕上がり調節

■仕上がり調節(あたためや焼き加減調節)は「中」に自動設定されますが、お好みで調節できます。調節は、を押す前にを押してマークを希望の位置に設定します。

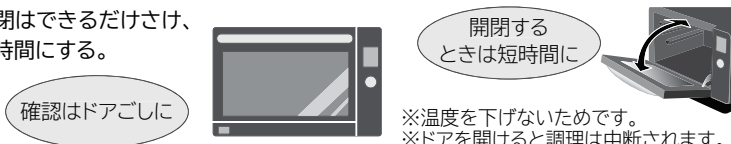


■「1おかず・ごはん」のみを押した後に仕上がり調節をします。
※メニューによっては「強/やや強/中/やや弱/弱」の5段階と「強/中/弱」の3段階の調節となります。

※仕上がり調節中にを3秒以上押し、「ピッ」と鳴り、仕上がり調節が記憶されます。

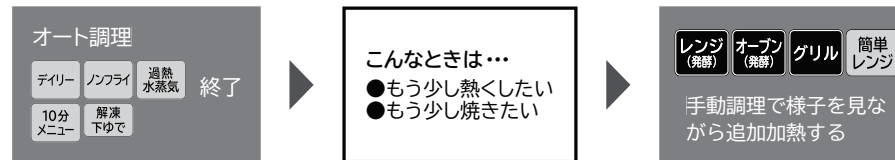
調理中の仕上がり状態確認

■調理中のドアの開閉はできるだけ避け、開閉するときは短時間にします。



オート調理後の追加加熱

■追加加熱は、手動調理で様子を見ながら行う。



調理後の食品(容器)や黒皿の取り出し

注意
 調理中や調理終了後は食品や容器、黒皿、加熱室、ドアなど各部が熱くなる場合がありますので、注意するやけどの原因になります

■調理が終了したら、食品を早めに出す。
※余熱で仕上がりがかわることがあるためです。

取り出し忘れ防止のために調理終了後、ドアが開けられるまでの3分間、1分ごとに「ピピピッ」と3回鳴ってお知らせします。(取り出し忘れ防止音)

※オープン、グリル調理で黒皿を取り出すときは、中央部分を厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋を使い両手で取り出します。

■食品、特に飲み物や汁物を取り出すときは、こぼさないように気をつける。

調理終了音が鳴ったら取り出してください。

終了音(メロディー)の切りかえ

■終了音(メロディー)は「ブザー音」や「無音」に切りかえられます。



メロディー音とブザー音の切りかえ完了
 同じ操作でブザー音を無音に切りかえられます
 メロディー音はメロディー、ブザー音は「ピピピッ」と3回、無音は「ピッ」と1回鳴り、切りかえが完了します。

※さらに同じ操作で無音をメロディー音に戻すことができます。
 ※無音にしたときは、取り出し忘れ防止音、操作音も無音になります。

オート調理 (あたためる)

ごはん・お総菜のあたため

1 おかず・ごはん

- レンジ加熱で常温や冷蔵で保存した食品をあたためます。
- 飲み物(牛乳、コーヒー、水、お茶、豆乳)は「2飲み物・牛乳(杯数)」であたためます。→ P.26
- お酒は「3酒かん(本数)」であたためます。→ P.26
- その他の飲み物は手動調理(レンジ加熱)であたためます。→ P.38, 39, 47
- 冷凍保存(ホームフリージング)した食品は、「4 解凍あたため」であたためます。→ P.24, 25



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備 食品を入れた容器や皿をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める



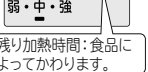
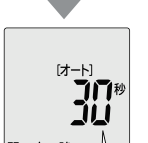
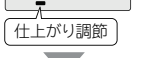
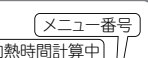
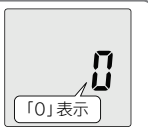
「あたためスタート」を押してスタートする

仕上がり調節をするときは(加熱時間を表示する前に調節します。)

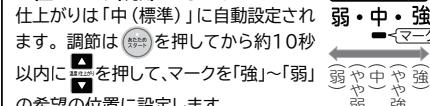
表示部に「0」が表示されているときに調節できます。

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室をお手入れする
→ P.48, 49

庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。



仕上がり調節のしかた 仕上がりは「中(標準)」に自動設定され、調節は「マーク」を押してから約10秒以内に「マーク」を押して、マークを「強」~「弱」の希望の位置に設定します。



■仕上がり調節中に「マーク」を3秒以上押し、「ピッ」と鳴り、仕上がり調節が記憶されます。

お願い

「1 おかず・ごはん」は、ドアを開けて約10分以内(表示部に「0」が表示されている間)に「マーク」を押してください。約10分間放置すると待機時消費電力オフ機能が働き、電源が切れます。ドアを開閉して電源を入れてから「マーク」を押してください。→ P.2, 4

次の食品は「手動調理(レンジ加熱)」で様子を見ながらあたためる → P.38, 39, 46, 47

- 重量が100g未満の食品
- まんじゅう
- パン類
- 冷凍野菜
- 市販のおにぎり(包装を外して皿に移しかえる)
- 乳幼児用ミルク、ベビーフード(別の容器に移しかえる)
- 市販の調理済み食品(別の容器に移しかえる)

- オーブン、グリル、脱臭 使用後やレンジの連続使用後 加熱室が熱い場合、「C05」を表示して加熱できません。「マーク」を押して「0」表示を確認し、手動調理(レンジ加熱)で様子を見ながら加熱します。→ P.38 加熱時間の目安 → P.39, 46, 47 「C05」について → P.55

ごはん・お総菜の上手なあたためかた

- お総菜やご家庭で調理した食品をあたためます。
- 容器は、食品の分量が7~8分目くらいになる物が目安です。
- オート調理の1回分の分量の目安は1~2人分です。(食品の分量は100~600gまでが目安です。)
- 食品の温度は、常温は約20℃、冷蔵は0~10℃が目安です。

常温や冷蔵保存した食品をあたためる

おいしいの有無の「-」はラップ等のおおいをしなくても良いことを示す

メニュー名および調理のコツ		おいしいの有無	メニュー名および調理のコツ		おいしいの有無
ごはん類	ごはん 仕上がり調節「やや弱」または「弱」に合わせる。	—	煮物	野菜の煮物・おでん(たまごは取り除く) 容器に入れて、煮汁をかける。	—
	チャーハン・ピラフ 加熱後、かき混ぜる。	—		煮魚 容器に入れて、煮汁をかける。煮魚は身が飛び散ることがあるので、深めの皿を使い、おいをする。	
めん類	スパゲッティ・焼きそば 皿にのせる。加熱後、かき混ぜる。	—	蒸し物	シューマイ 少しすき間をあけて皿に並べ、水分を補ってから加熱する。乾燥きみのときは、サッと水にくぐらせる。	—
焼き物	焼き魚 飛び散ることがあるのでおいをする。			汁物(とろみのある物)	カレー・シチュー えびやいか、丸ごとのマッシュルームは飛び散ることがあるのでおいをする。加熱後よくかき混ぜる。(丸ごとのマッシュルームはあらかじめ取り除き、加熱後加える)仕上がり調節「やや弱」または「弱」に合わせる。 ※みそ汁・スープなどは、手動調理(レンジ加熱)で加熱します。 → P.38, 39, 47
	揚げ物	ハンバーグ ソースは飛び散ることがあるので加熱後にかける。	—		揚げ物 皿に並べる。えびやいかは飛び散ることがあるのでおいをする。分量の少ないときは仕上がり調節「やや弱」または「弱」に合わせる。
いたため物	焼きとり・焼き肉 皿に並べる。たれを塗ってから加熱する。	—	揚げ物	天ぷら・フライ・コロッケ 皿に並べる。えびやいかは飛び散ることがあるのでおいをする。分量の少ないときは仕上がり調節「やや弱」または「弱」に合わせる。	—
	揚げ物	野菜のいたため物・酢豚・八宝菜 容器に入れる。野菜のいたため乾燥している場合は、バターかサラダ油を加える。加熱後、かき混ぜる。		—	いたため物 使用する容器は、陶磁器や耐熱容器を使います。 → P.18, 19 漆器や耐熱性のない容器は使えません。

警告



「1 おかず・ごはん」であたためるときは

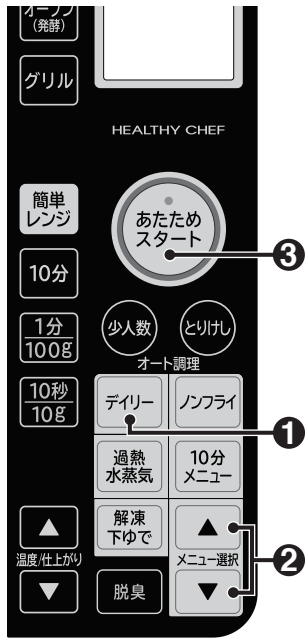
- 100g未満の食品を加熱しない センサーが検知できずに、発煙・発火するおそれがあります 手動調理(レンジ加熱)で様子を見ながら加熱してください → P.38, 39
- 生卵やゆで卵(殻つき、殻なしとも)、目玉焼きは加熱しない 卵が破裂してテーブルプレートやドアガラスが破損するおそれがあります
- ふた、およびふたつきの容器は使用しない 容器にふたをして加熱すると、センサーが検知できずに、食品が発煙や発火するおそれがあります

オート調理（あたためる）

冷凍保存したごはん・お総菜のあたため

4 解凍あたため

■レンジ加熱で冷凍ごはんや冷凍お総菜をあたためます。

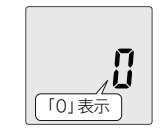


お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

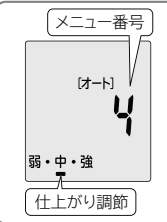
準備 食品を入れた容器や皿をテーブルプレートの中央に直接置き、ドアを閉める



1 デリリー を押す



2 ▲ を押しメニュー番号「4」を選択する



▼ または デリリー を押すごとに
1おかず・ごはん...▶ 4解凍あたため
...▶ 20さばのみぞ煮 の順に選択できます。

仕上がり調節をするときは(→P.21)
(※ を押す前に調節します。)

3 あたためスタート を押してスタートする



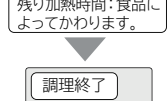
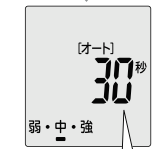
終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室をお手入れする
→P.48,49

庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。

警告

⊘ **4 解凍あたため** であたためるときは

- 100g未満の食品を加熱しない
センサーが検知できず、発煙・発火するおそれがあります
手動調理(レンジ加熱)で様子を見ながら加熱してください(→P.38,39)
- ふた、およびふたつきの容器は使用しない
容器にふたをして加熱すると、センサーが検知できず、食品が発煙や発火するおそれがあります



オープン、グリル、脱臭 使用後やレンジの連続使用後など、加熱室が熱い場合、「C05」を表示して加熱できません。 を押し「0」表示を確認し、手動調理(レンジ加熱)で様子を見ながら加熱します。(→P.38)
加熱時間の目安(→P.39,46)
「C05」について(→P.55)

食品の置きかた
● テーブルプレートの中央に置く

テーブルプレート
食品が2個以上の場合、中央に寄せる
※食品を端に置いたり、少量の食品を加熱すると、上手に加熱できずに加熱し過ぎとなり、発煙・発火のおそれがあります。

冷凍保存したごはん・お総菜の上手なあたためかた

- お総菜やご家庭で調理して冷凍保存した食品をあたためます。
- オート調理の1回分の分量の目安は1~2人分です。(食品の分量は600gまでが目安です。)
- 容器は、食品の分量が7~8分目くらいになる物が目安です。
- 食品の温度は、冷凍は約-18℃が目安です。

冷凍保存した食品を解凍してあたためる(容器あり)

おいしいの有無の「-」はラップ等のおおいをしなくてもよいことを示す

メニュー名および調理のコツ		おいしいの有無	メニュー名および調理のコツ		おいしいの有無
ごはん物	冷凍ごはん 四角形に形作ったごはんを平皿にのせる。 2個以上のときは分量を同じにして、中央に寄せる。 冷凍チャーハン・ピラフ ほぐして皿にのせる。加熱後、かき混ぜる。	-	いため物	冷凍八宝菜・ミートボール 容器に入れる。加熱後、かき混ぜる。	-
	冷凍スパゲッティ・焼きそば 皿にのせる。加熱後、かき混ぜる。	-		蒸し物	冷凍シューマイ サツと水にくぐらせて皿に並べる。加熱後はすぐにラップを外す。
めん類	冷凍ハンバーグ 皿にのせる。加熱後、裏返して1~2分ほどおく。	-	汁物(とろみのある物)		冷凍カレー・シチュー 容器に入れ、ゆとりをもってラップでおおい、仕上がり調節 [やや強] または [強] に合わせる。 加熱後、かたまりをほぐし、かき混ぜる。 ※スープなどは、手動調理(レンジ加熱)で加熱します。(→P.38,39,46) 使用する容器は、陶磁器や耐熱容器を使います。(→P.18,19) 漆器や耐熱性のない容器は使えません。
	揚げ物 冷凍天ぷら・フライ・コロッケ 皿に並べる。仕上がり調節 [やや弱] または [弱] に合わせる。 油が気になるときは、加熱後、キッチンペーパーで取る。	-			

上手な冷凍保存(フリージング)のコツ

- 材料は新鮮な物を1回分ずつ(200~300g)に分け、2~3cmの厚さで、極端に薄くならないように平らな形にまとめます。

厚さ2~3cm
- ラップなどでぴったり密封します
- ごはんやカレーなどはごはんは1杯分(150g)ずつに、カレーなどは100~300gずつに分け、薄く(厚さ2~3cm)平らにして冷凍します。(丸ごとのマッシュルームなど飛び散りやすい物は、あらかじめ半分に分けておきます。)
- 野菜はかためにゆで、水をよく切って1回分(100~200g)ずつラップなどで包み、冷凍します。

オート調理 (あたためる)

飲み物のあたため

2 飲み物・牛乳(杯数) 3 酒かん(本数)

- 牛乳やコーヒー、お茶、豆乳、水などの飲み物をあたためます。[2 飲み物・牛乳(杯数)]
- お酒をあたためます。[3 酒かん(本数)]



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備 飲み物を入れた容器やマグカップ、徳利をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める

1 デイリー を押す

2 **メニュー番号** を押し 希望のメニュー番号を選択する

[2 飲み物・牛乳(杯数)]は1~4杯、[3 酒かん(本数)]は1~4本と数量も選択します。

または **デイリー** を押すごとに

- 1 おかず・ごはん ▶ [2 飲み物・牛乳(杯数)] 1杯 ▶ [2 飲み物・牛乳(杯数)] 2杯... ▶ [3 酒かん(本数)] 1本 ▶ [3 酒かん(本数)] 2本... ▶ [20 さばのみそ煮] の順に選択できます。

仕上がり調節をするときは(→ P.21)
(**調整** を押す前に調節します。)

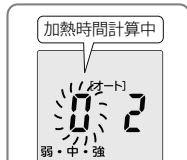
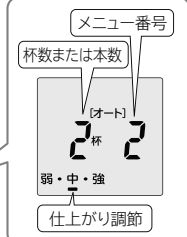
3 **あたためスタート** を押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室をお手入れする
(→ P.48, 49)

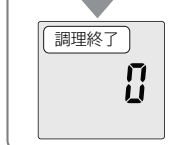
庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。



例: [2 飲み物・牛乳(杯数)] 2杯の場合



残り加熱時間: メニューによってかわります。



飲み物の分量について

●容器の7~8分目が適量です。容器に対して少量(1/2量以下)しか入れないと、加熱室から取り出した後でも、突然沸とうして飛び散り、やけどすることがあるので加熱し過ぎに注意しながら手動調理(レンジ加熱)で加熱します。
(→ P.38, 39, 47)



飲み物の上手なあたためかた

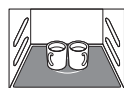
2 飲み物・牛乳(杯数) 3 酒かん(本数)

●1回であたためられる分量は1~4杯(本)です

1mL = 1cc

飲み物の種類	1杯(本)の分量
牛乳	200mL(冷蔵)
コーヒー	150mL
水	180mL
お茶	180mL
豆乳	200mL(冷蔵)
お酒	180mL

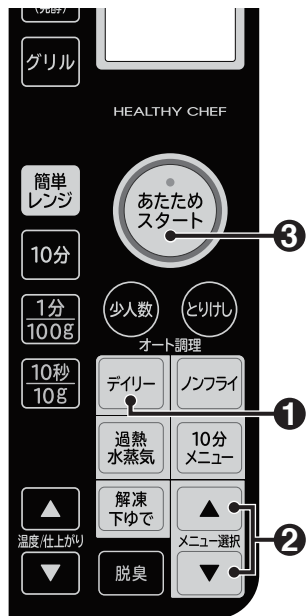
- テーブルプレートの中央に置いて加熱します
- 2杯(本)以上の場合、テーブルプレートの中央に寄せて置きます
- [1 おかず・ごはん]では熱くなり過ぎます
- 牛乳は冷蔵庫から出したての物を使います
- 牛乳びんでの加熱はできません
- お酒は常温(約20°C)の物を使います
- 100mL未満の場合は、手動調理(レンジ加熱)で様子を見ながら加熱します(→ P.38, 39, 47)
- 牛乳、お酒のあたためは(→ P.58)
- ラップなどのおおいはしません



コンビニ弁当のあたため

5 コンビニ弁当

●あたためられる弁当はコンビニエンスストアなどで販売されている弁当です。



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備 コンビニ弁当をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める

1 **デイリー** を押す

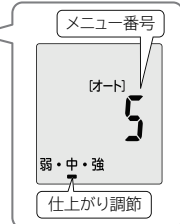
2 **メニュー番号** を押し 希望のメニュー番号「5」を選択する

仕上がり調節をするときは(→ P.21)
(**調整** を押す前に調節します。)

3 **あたためスタート** を押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室をお手入れする
(→ P.48, 49)

庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。



コンビニ弁当の上手なあたためかた

5 コンビニ弁当

- ごはんとおかずが分かれて入っている弁当(加熱時間の目安 1個(約450g)約2分)他に「のり弁当」や「さけ弁当」のように、ごはんの上に具がのっている物もあたためられます。
- 丼物(カツ丼・カレーライス・チャーハン・スパゲッティーなど)
*あんかけ類(中華丼、あんかけ焼きそばなど)をあたためる場合、あんかけの具(いかに、えび、うずらの卵など)が加熱中に破裂する場合があります。ふたを取り外し、これらの具を取り除いてから加熱し、加熱後加えます。
- 1回の分量は1個(1人分)です
※冷蔵庫から出した物は仕上がり調節 **やや強** または **強** に合わせます。



5 コンビニ弁当 であたためられない弁当の例

- 電子レンジ加熱に使用できない容器を使用している弁当(紙や木でできた容器、アルミで加工された容器、発泡スチロール製の容器、ホットキスなどで止めてある容器などを使用した弁当)
- 弁当屋さんの持ち帰り弁当(使われている容器が耐熱容器ではない場合があるため)
- 1種類ずつ小分けしているお総菜のバック、おにぎり(から揚げ・シューマイなど、お総菜のバックやおにぎりは、少量のためうまく仕上がりにません。手動調理(レンジ加熱)であたためます。(→ P.38, 39, 47))



警告



ゆで卵や目玉焼きは破裂するおそれがあるので、加熱しない(加熱する前に取り除きます)

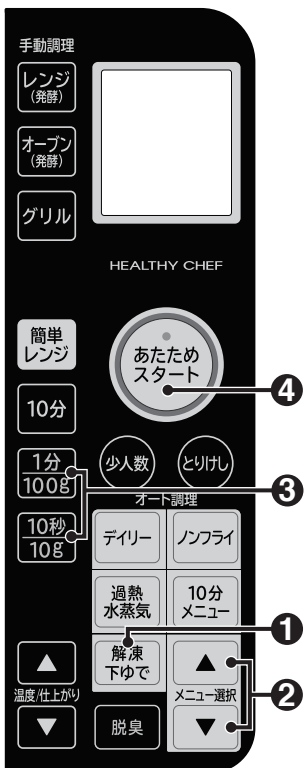
オート調理 (下ごしらえする)

肉や魚の解凍

37 解凍(グラム) 38 刺身の解凍(グラム)

- レンジ加熱で肉や魚を解凍します。
- 100~600gまで10g単位でグラム(重量)を設定してから解凍します。

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。



準備 ラップなどのおおいを外した食品をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める

1 解凍下ゆで を押す

2 を押し 解凍の種類に合わせて

37 解凍(グラム) はメニュー番号「37」
38 刺身の解凍(グラム) はメニュー番号「38」
を選択する

または 解凍下ゆで を押すごとに

37 解凍(グラム) ▶ 38 刺身の解凍(グラム) ▶
39 葉・果菜(グラム) ▶ 40 根菜(グラム)
の順に選択できます。

3 1分100g 10秒10g を押し
グラム(重量)を設定する

■初期設定は「100g」です。

仕上がり調節をするときは(→ P.21)
(を押す前に調節します。)

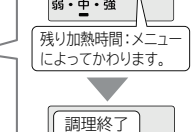
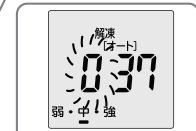
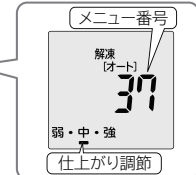
4 あたためスタート を押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室をお手入れする
(→ P.48, 49)

庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。



例: 37 解凍(グラム) 100g の場合



上手な解凍のしかた

37 解凍(グラム) 38 刺身の解凍(グラム)

- 解凍できるのは、冷凍室から出したばかりのコチコチに凍った肉か魚です
溶けかけているとうまく解凍できません。
- 解凍する食品を正しく計量し、グラム(重量)を設定してください
- 設定できる分量は、100 ~ 600g です
100g 未満の解凍はできません。レンジ100Wまたはレンジ200Wで様子を見ながら解凍します。(→ P.38, 47)
- 発泡スチロール製のトレーにのった物は、ラップなどの包装を外し、トレーのままテーブルプレートの中央に置きます
トレーがない場合は、ラップなどの包装を外し、テーブルプレートに市販のオープンシートかキッチンペーパーを敷き、その上にのせます
陶磁器や耐熱皿などは使わないでください。うまく解凍できません。
発泡スチロール製のトレーは解凍以外には使わないでください。溶けてしまいます。
- 加熱室やテーブルプレートを、十分冷ましてから使ってください
グリル、オープンの使用後は加熱室やテーブルプレートが熱くなっています。発泡スチロール製のトレーが溶けたり、加熱し過ぎることがあります。十分冷ましてから使ってください。
- 解凍後そのまま3 ~ 5分おき自然解凍をします
- 解凍後の用途に合わせてオート調理を使い分けます

解凍後の用途	オート調理	
肉や魚を解凍後、調理する	37 解凍(グラム) ひき肉やかたまり肉は やや強で加熱します。	薄切り肉は両手で大きくしならせませす。
刺身を解凍後、生で食べる	38 刺身の解凍(グラム)	中心が少し凍った状態に仕上がります。包丁で切りやすく、食卓で食べごろになります。

- 形や厚みが均でない物はアルミホイルを使って解凍します
アルミホイルは加熱室壁面やドアガラスに触れないようにしてください。触れると火花(スパーク)が出てテーブルプレートやドアガラスが破損するおそれがあります。

形状、太さ、厚み、種類	アルミホイルを巻く部分
太さや厚みが不均一	細い部分、薄い部分
大きなかたまり	側面
魚	頭と尾



次の場合は手動調理(レンジ加熱)で途中様子を見ながら解凍します(→ P.38, 39)

- 調理済み冷凍食品や冷凍野菜はレンジ200Wで加熱する。
解凍の目安は200gで4 ~ 5分です。
- 分量が100g未満の場合
バラバラになって凍っている物
●解凍が足りなかったとき
●-20℃以下の冷凍食品
(オート調理で行う解凍は、冷凍保存温度が-18℃を基準にしています。)
- オート調理で加熱不足の場合
レンジ100Wまたはレンジ200Wで加熱する。
- 溶けかけている食品
溶けかけている部分
レンジ100Wまたはレンジ200Wで加熱する。

上手な冷凍保存(フリージング)のコツ

- ラップなどでぴったり密封をします
ラップで包むときは、ラップが食品の間に入らないように包むと剥がしやすくなります。
- 魚の下ごしらえは
魚はうろこやえら、内臓を取り、塩水で洗って水けをふき取り、1尾ずつ冷凍します。
- バランなどの飾りや敷き物は取り除きます
- 熱い物は
よく冷ましてから冷凍します。

使いかた

使いかた

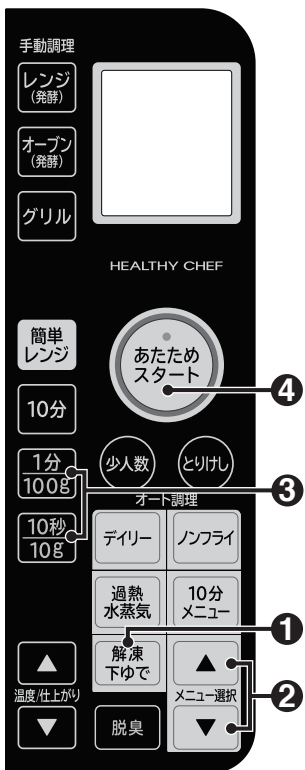
オート調理 (下ごしらえする)

野菜の加熱 (ゆでる)

39葉・果菜(グラム) 40根菜(グラム)

■レンジ加熱で野菜をゆでます。

■[39葉・果菜(グラム)]は100~300g、[40根菜(グラム)]は100~600gまで10g単位でグラム(重量)を設定してから加熱します。



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備 ラップで包んだ食材をテーブルプレートの中央に直接置き、ドアを閉める

1 解凍下ゆでを押す

2 メニューを押す

[39葉・果菜(グラム)]はメニュー番号「39」
[40根菜(グラム)]はメニュー番号「40」
を選択する

または 解凍下ゆでを押すごとに

[37解凍(グラム)] ▶ [38刺身の解凍(グラム)] ▶
[39葉・果菜(グラム)] ▶ [40根菜(グラム)]
の順に選択できます。

3 1分 100g / 10秒 10g を押してグラム(重量)を設定する

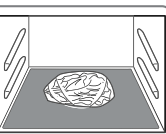
■初期設定は「100g」です。

仕上がり調節をするときは(→ P.21)
(スタートを押す前に調節します。)

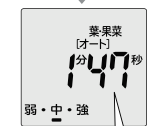
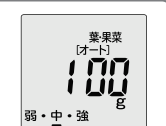
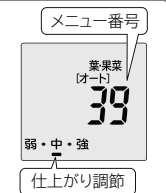
4 あたためスタートを押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室をお手入れする
(→ P.48,49)

庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。



例: [39葉・果菜(グラム)]
100gの場合



残り加熱時間:メニューによってかわります。

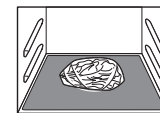


上手な野菜のゆでかた

39葉・果菜(グラム) 40根菜(グラム)

水けを切らずラップでぴったりと包み、テーブルプレートの中央に直接置き加熱します

皿などの上のせて加熱すると加熱し過ぎの原因になります。



加熱できる分量は [39葉・果菜(グラム)] で100~300g、
[40根菜(グラム)] で100~600gです

[39葉・果菜(グラム)]

葉菜

ほうれん草、小松菜など
葉が食べられる物

果菜

なす、かぼちゃなど果実
や種子が食べられる物

花菜

カリフラワー、ブロッコリーなど
花弁やつぼみが食べられる物

[40根菜(グラム)]

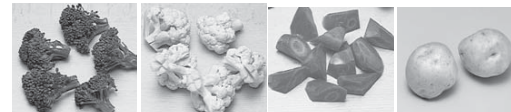
根菜

じゃがいも、さつまいもなど地中
にある根茎や根が食べられる物

■料理に合わせた下ごしらえを

葉菜、果菜、花菜の根の太い物には、十字の切り目を入れたり、房になっている物は小房に分けます。

根菜類は、同じ大きさに切りそろえたり、なるべく同じ大きさの物を選びます。



■材料に合ったアク抜きを

ほうれん草などは、加熱後すぐに水に取ります。なすやカリフラワーなどは、加熱前に薄い塩水や酢水にさらしてアク抜きをします。

■ラップでの包みかた

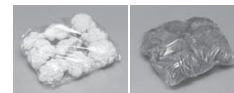
●ほうれん草などの葉菜

茎と葉を交互にして重ね、ラップでしっかりと包みます。



●ブロッコリーなどの果菜、花菜

小房に分け、重ならないようにし、ラップの上にすき間を作らないように並べて、ぴったりと包みます。



●じゃがいもなどの根菜を丸のまま

中央をあけてラップでぴったりと包みます。
加熱後は上下をひっくり返して3~5分ほどそのままおきます。



●アスパラガス

はかまを外し、穂先と根元を交互にし、包みます。

■仕上がり調節は

●さいの目切りや薄切りにした場合
仕上がり調節[弱]に合わせます。

●にんじん、さつまいも

仕上がり調節[やや弱]に合わせます。太い場合は仕上がり調節[中]に合わせます。

●かぼちゃ

仕上がり調節[強]に合わせます。

●アスパラガス

仕上がり調節[やや強]に合わせます。

注意

分量が100g未満のときはオート調理で加熱しない
火災の原因になります

レンジ[500W]で様子を見ながら加熱します(→P.38,39,46)

キッチンペーパーなどの紙類で包んで加熱しない

オート調理（あたためる）

フライのあたため

6 フライあたため

■オープン加熱で冷めたフライや天ぷらをパリッとカラッとあたためます。

料理集参照ページ

6 フライあたため
→ P.58



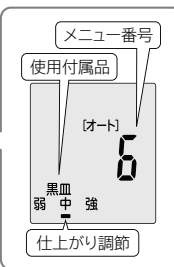
お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備 食品をのせた黒皿を上段にセットし、ドアを閉める



1 デイリーを押す

2 上下ボタンを押してメニュー番号「6」を選択する



または デイリーを押すごとに
1おかず・ごはん ▶ 2飲み物・牛乳(杯数)1杯... ▶
6フライあたため... ▶ 20さばのみそ煮
の順に選択できます。

仕上がり調節をするときは(→ P.21)
(スタートを押す前に調節します。)

3 あたためスタートを押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室が冷めてから加熱室をお手入れする(→ P.48, 49)
庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。



※調理終了後、冷却ファンが回転する場合がありますが、冷却終了後自動停止します。(→ P.53)

上手な揚げ物のあたためかた 6 フライあたため

- 冷めたフライや天ぷらをパリッとカラッとあたためます
- 冷凍の揚げ物や100g未満の揚げ物はあたためることができません。100g以上にするか、オープン/予熱なし/190℃で様子を見ながら加熱します。(→ P.42)
 - フライなど加熱後に底面がベタつくときはキッチンペーパーなどで油分を取ります。

注意

黒皿の出し入れは、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋を使うやけどの原因になります

- 取り出した黒皿は、熱に弱い場所には置かないでください
- 開いたドアの上に置きます
- 子供や幼児が触れないように気をつけてください
- 破れたオープン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください

オート調理（調理する）

レンジメニューの調理(デイリー)(10分メニュー)

■レンジメニューとは、レンジの加熱方法を使って調理をするオート調理メニューです。

対象のメニュー・料理集参照ページ

16 焼きそば(→ P.69)	19 とん汁(→ P.80)	33 あさりの酒蒸し(→ P.60)	35 肉豆腐(→ P.60)
18 筑前煮(→ P.80)	20 さばのみそ煮(→ P.81)	34 簡単肉じゃが(→ P.60)	36 きんぴらごぼう(→ P.61)



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

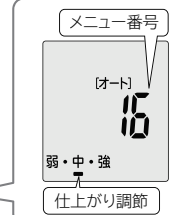
準備 食品を入れた容器や皿をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める



1 16 焼きそば ~ 20 さばのみそ煮 は デイリー、33 あさりの酒蒸し ~ 36 きんぴらごぼう は 10分メニュー を押す

例: 16焼きそばの場合

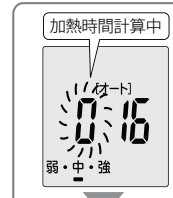
2 上下ボタンを押して希望のメニュー番号を選択する



または デイリーを押すごとに
1おかず・ごはん... ▶ 16焼きそば... ▶
20さばのみそ煮
の順に選択できます。

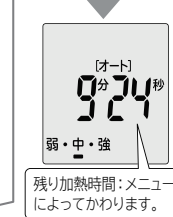
または 10分メニューを押すごとに
33あさりの酒蒸し ▶ 34簡単肉じゃが ▶
35肉豆腐 ▶ 36きんぴらごぼう
の順に選択できます。

仕上がり調節をするときは(→ P.21)
(スタートを押す前に調節します。)



3 あたためスタートを押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室をお手入れする(→ P.48, 49)
庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。



※調理終了後、冷却ファンが回転する場合がありますが、冷却終了後自動停止します。(→ P.53)

オート調理 (調理する)

予熱「なし」メニューの調理(デイリー)(ノンフライ)(過熱水蒸気)

■予熱「なし」メニューとは、「オープン(予熱なし)」、「グリル」、「過熱水蒸気」の加熱方法を使って調理するオート調理メニューです。

対象のメニュー・料理集参照ページ

8 スポンジケーキ → P.82	15 マカロニグラタン → P.67	23 ポテトコロッケ → P.74	27 えびの天ぷら → P.76	31 鶏のハーブ焼き → P.63
9 型抜きクッキー → P.86	17 焼きいも → P.66	24 チキン南蛮 → P.73	28 メンチカツ → P.76	32 塩ざけ → P.64
10 パター揚げ → P.92	21 鶏のから揚げ → P.73	25 あじフライ → P.75	29 ハンバーグ → P.61	
11 簡単パン → P.93	22 とんカツ → P.74	26 えびフライ → P.75	30 ローストビーフ → P.62	



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

食品をのせた黒皿をセットし、ドアを閉める
過熱水蒸気は給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする

- 8 スポンジケーキ～11 簡単パン、15 マカロニグラタン、17 焼きいもは **デイリー**、21 鶏のから揚げ～28 メンチカツは **ノンフライ**、29 ハンバーグ～32 塩ざけは **過熱水蒸気** を押す

2 **メニュー** を押し 希望のメニュー番号を選択する

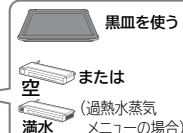
仕上がり調節をするときは(→ P.21)
(**調節** を押す前に調節します。)

3 **あたためスタート** を押してスタートする

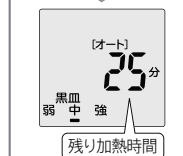
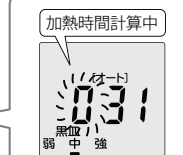
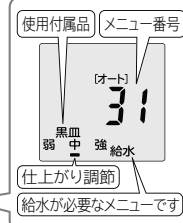
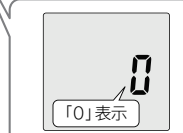
終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室が冷めてから加熱室をお手入れする(→ P.48.49)
庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。

給水タンク使用後は(→ P.48.49)
■給水タンクを空にしてください。
■パイプの水抜きを行ってください。
■本体が冷めてから加熱室やドアの水滴をふき取ってください。

※調理終了後、冷却ファンが回転する場合がありますが、冷却終了後自動停止します。(→ P.53)



例: 31鶏のハーブ焼きの場合



予熱「なし」メニューの調理(角皿スチーム)

■予熱「なし」メニューのうち「角皿スチーム」を使うメニューの使いかたです。

■「角皿スチーム」は黒皿に水を入れて調理します。(給水タンクに水は入れません)

対象のメニュー・料理集参照ページ

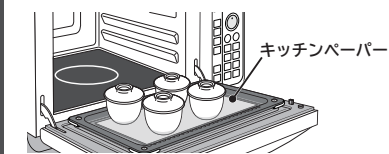
12 柔らかプリン → P.91	13 茶わん蒸し → P.70	14 手作り豆腐 → P.71
------------------	-----------------	-----------------

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

黒皿に厚めのキッチンペーパーを2枚重ねにして中央に敷き、指定の水量を入れ、食品を入れた容器を置く

キッチンペーパーを敷くのは
●型や容器のすべり止めのため
●熱い残り湯をこぼれにくくするため



黒皿を下段にセットし、ドアを閉める

1 **デイリー** を押す

2 **メニュー** を押し 希望のメニュー番号を選択する

仕上がり調節をするときは(→ P.21)
(**調節** を押す前に調節します。)

3 **あたためスタート** を押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室が冷めてから加熱室をお手入れする(→ P.48.49)
庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。

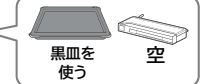
※調理終了後、冷却ファンが回転する場合がありますが、冷却終了後自動停止します。(→ P.53)



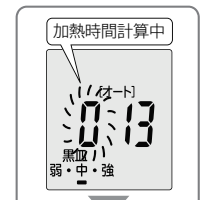
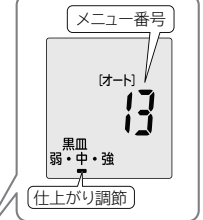
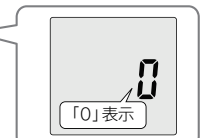
注意

黒皿の出し入れは、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋を使うやけどの原因になります

- 黒皿に残った熱湯に注意して取り出してください
- 取り出した黒皿は、熱に弱い場所には置かないでください
- 開いたドアの上に置きます
- 子供や幼児が触れないように気をつけてください
- 破れたオープン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください



例: 13茶わん蒸しの場合



使いかた

使いかた

オート調理 (調理する)

予熱「あり」メニューの調理

7ピザ(パン生地)

- 予熱「あり」メニューとは「オープン(予熱あり)」の加熱方法を使って調理するオート調理メニューです。
- 市販のピザはオート調理では焼けません。市販のピザ(→P.96)を参照し、手動調理(オープン加熱)で焼いてください。(→P.42、43)



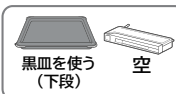
お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

加熱室内になにも入れずにドアを閉める

1 **デリ-**を押す

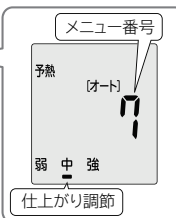
料理集参照ページ
7ピザ(パン生地)
→P.96



2 **メニュー**を押してメニュー番号「7」を選択する

または **デリ-**を押すごとに
1おかず・ごはん...▶7ピザ(パン生地)...▶
20さばのみそ煮の順に選択できます。

仕上がり調節をするときは(→P.21)
(**弱**を押す前に調節します。)

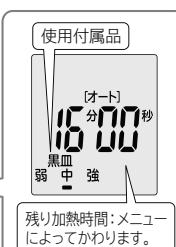


3 **あたためスタート**を押して予熱をスタートする

■予熱中は節電のため庫内灯を消灯しています。予熱中に加熱室の様子を見たいときは **弱**を押してください。庫内灯を消灯させるときは、もう一度 **あたためスタート**を押してください。



予熱終了音が鳴り予熱が終わったらドアを開けて食品をのせた黒皿を下段にセットし、ドアを閉める
※加熱室内が高温になっているので、やけどに注意して、黒皿をセットします。



4 **あたためスタート**を押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室が冷めてから加熱室をお手入れする(→P.48、49)
庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。

※調理終了後、冷却ファンが回転する場合がありますが、冷却終了後自動停止します。(→P.53)



注意

黒皿の出し入れは、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋を使うやけどの原因になります

- 取り出した黒皿は、熱に弱い場所には置かないでください
- 開いたドアの上に置きます
- 子供や幼児が触れないように気をつけてください
- 破れたオープン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください

「少人数」メニューの調理

13茶わん蒸し~36きんぴらごぼろ

■2人分または1人分の分量で調理します。

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

メニューに合った付属品と食品を入れてドアを閉める
過熱水蒸気は給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする

1 13茶わん蒸し~ デリ-、
20さばのみそ煮は、
21鶏のから揚げ~ ノンフライ、
28メンチカツは、
29ハンバーグ~ 過熱水蒸気、
32塩づけは、
33あさりの酒蒸し~ 10分メニュー、
36きんぴらごぼろは **10分メニュー**を押す

例: 35肉豆腐(少人数の場合)

2 **メニュー**を押して希望のメニュー番号を選択する

仕上がり調節をするときは(→P.21)
(**弱**を押す前に調節します。)

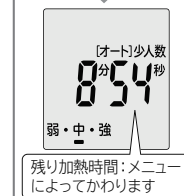
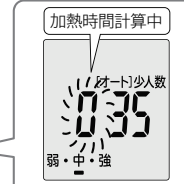
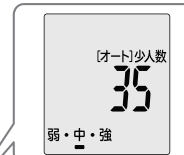
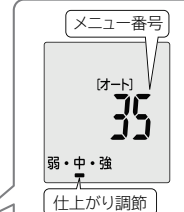
3 **少人数**を押す

4 **あたためスタート**を押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室が冷めてから加熱室をお手入れする(→P.48、49)
庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。

- 給水タンク使用後は(→P.48、49)
- 給水タンクを空にしてください。
- パイプの水抜きを行ってください。
- 本体が冷めてから加熱室やドアの水滴をふき取ってください。

※調理終了後、冷却ファンが回転する場合がありますが、冷却終了後自動停止します。(→P.53)

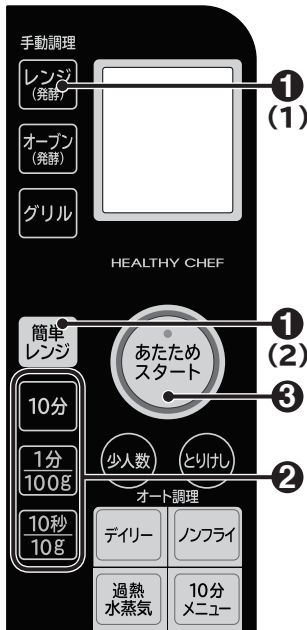


手動調理 (レンジ加熱)

一定の出力 (W) で加熱する

■ 800W|600W|500W|200W|100W の操作方法を説明しています。レンジ発酵の操作方は → P.44 を参照してください。

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。



準備
① (1)

食品を入れた容器や皿をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める



黒皿は使えません
空

1
① (1)

● 手動調理ボタンを使用する場合 例: レンジ|600W で 1分20秒 加熱する場合

レンジ (発酵) を押し、出力 (W) を選択する

出力 (W) 選択

レンジ (発酵) を押しごとに
800W ▶ 600W ▶ 500W ▶ 200W
レンジ発酵 ◀ 100W ◀
の順に表示します。



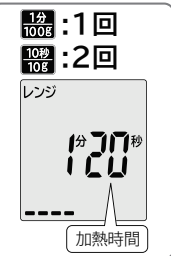
1
② (2)

● 簡単レンジボタンを使用する場合

簡単レンジ を押し、出力 (W) を選択する

出力 (W) 選択

簡単レンジ を押しごとに
600W ▶ 500W
の順に表示します。



2

10分 1分 10秒 を押し、加熱時間を設定する

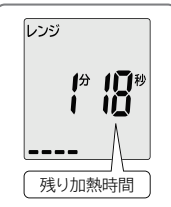
800W (最大設定時間3分)
600W|500W (最大設定時間19分50秒)
200W|100W (最大設定時間90分)

3

あたため スタート を押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室をお手入れする
→ P.48, 49

庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。



加熱時間選択範囲	
800W	10秒～3分:10秒単位
600W 500W	10秒～19分50秒:10秒単位
200W 100W	10秒～20分:10秒単位 20分～90分:1分単位

警告

レンジ加熱で生卵やゆで卵(殻つき、殻なしとも)、目玉焼きは加熱しない

卵が破裂してテーブルプレートやドアガラスが破損するおそれがあります
卵を加熱する場合は、溶きほぐしてから加熱する



加熱時間の決めかた

■ 同じ分量でも食品の種類によって調理時間は異なります。(食品温度が常温(約20℃)のとき) 食品100g当たり レンジ|600W の加熱時間の目安

食品の種類		生からの調理 (100g当たり)	あたため (100g当たり)	食品の種類	生からの調理 (100g当たり)	あたため (100g当たり)
野菜類	葉・果菜類	1分～1分30秒	50秒～1分10秒	めん類	—	50秒～1分10秒
	根菜	1分30秒～2分	50秒～1分10秒	揚げ物 (フライ、コロッケなど)	—	40～50秒
魚介類	—	1分30秒～2分	50秒～1分10秒	汁物 (みそ汁・スープなど)	—	1分10秒～1分30秒
肉類	—	1分50秒～2分30秒	1分～1分30秒	飲み物 (お酒・牛乳など)	—	40秒～1分
ごはん類	—	—	40～50秒	パン・まんじゅう	—	30～50秒

■ 食品の分量に比例した加熱時間にします
分量が倍のときは時間も倍が目安です。

■ 使う容器によっても違います
容器の材質や大きさ、形状によっても加熱時間は多少違ってきます。

■ 加熱前の食品温度によっても違います
同じ食品でも、冷蔵庫や冷凍室から出して使う場合は、加熱時間が違います。
常温(約20℃のとき)に対して、冷蔵は約1.3倍、冷凍は約2.3倍が目安です。
また夏と冬では多少加熱時間が違います。

■ レンジ|500W で加熱する場合は、約1.2倍の加熱時間にします(加熱前の食品温度が常温約20℃のとき)

■ レンジ|1000W は手動調理では設定できません
一部のオート調理でのみ動きます。

少量の食品(100g未満)を加熱する場合

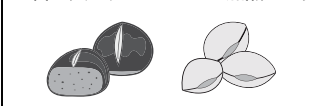
レンジ|500W で加熱時間を20～50秒に設定し、様子を見ながら加熱します。特に小さく切ったにんじんなど野菜が少量(100g未満)のときに、乾燥したり、火花(スパーク)が出て焦げたりすることがあります。水を多めにふりかけてラップに包むか、皿などに広げ、浸るくらいの水を入れてラップでおおい、加熱します。

はじけや飛び散りを防ぐ加熱のしかた

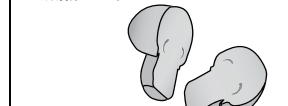
● いか、たこ、えびなどの皮や殻つきの物は、表面に切り目を入れます

レンジ|200W で加熱時間を控えめにします。

● 殻つきの栗やぎんなんは殻に割れ目を入れ、おおいをして加熱します



● マッシュルームは半分に分けて加熱します



● 100g未満のにんじんのさいの目の野菜は水を多めにふりかけ、ラップなどのおおいをしてレンジ|500W で様子を見ながら加熱します

● トロみのある物などは加熱前によくかき混ぜおおいをします



● ひじきはレンジ|200W で様子を見ながら加熱します

手動調理（レンジ加熱）

加熱途中で出力（W）を自動的に下げる（リレー加熱）

■煮込みや炊飯など加熱の途中から出力を下げるレンジ加熱です。

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。



準備

食品を入れた容器や皿をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める

黒皿は使えません

1

レンジ を押し 800W または 600W、500W を選択する

例：[レンジ]600Wで10分加熱後、[レンジ]200Wで25分加熱する場合

出力（W）選択
[レンジ] を押しごとに
800W▶600W▶500W▶200W
レンジ発酵◀100W◀
の順に表示します。

※200W、100W を選択するとリレー加熱はできません



2

10分 **1分** **10秒** を押し、加熱時間を設定する

[800W]（最大設定時間3分）
[600W] [500W]（最大設定時間19分50秒）



3

レンジ を押し 200W または 100W を選択する

出力（W）選択
[レンジ] を押しごとに
200W▶100W
の順に表示します。



4

10分 **1分** **10秒** を押し、加熱時間を設定する

[200W] [100W]（最大設定時間90分）



5

あたためスタート を押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室をお手入れする

→ P.48,49

庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。

加熱時間選択範囲	
800W	10秒～3分:10秒単位
600W 500W	10秒～19分50秒:10秒単位
200W 100W	10秒～20分:10秒単位 20分～90分:1分単位

手動調理（グリル加熱）

魚など表面に焦げ目をつけながら加熱する

■切り身の魚やくし焼き、焼きとりなどを焼きます。※焼きもち、内臓を取っていない丸身の魚は上手に焼けません。

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。



準備

食品をのせた黒皿を皿受棚にセットし、ドアを閉める

黒皿を使う

1

グリル を押す

例：[グリル]で15分加熱する場合

2

10分 **1分** **10秒** を押し、加熱時間を設定する

（最大設定時間 40分）

加熱時間選択範囲
10秒～20分:10秒単位
20分～40分:1分単位



3

あたためスタート を押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室が冷めてから加熱室をお手入れする

→ P.48,49

庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。



■手動の**グリル**では、下面に焼き色はつきません。焼き色を両面につけた場合は、途中で裏返してください。

注意

- 黒皿の出し入れは、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋を使うやけどの原因になります
- 取り出した黒皿は、熱に弱い場所には置かないでください
- 開いたドアの上に置きます
- 子供や幼児が触れないように気をつけてください
- 破れたオープン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください

調理後の加熱室の油污れは

調理後の加熱室の油污れや臭いが気になるときは**脱臭**（「空焼き(脱臭)のしかた」→ P.5）で加熱してください。→ P.49

※調理終了後、冷却ファンが回転する場合がありますが、冷却終了後自動停止します。→ P.53

※40分以上の調理のときは残り時間を**1**～**3**の手順で追加加熱してください。

グリルの上手な使いかた

焼ける食品	くし焼き、焼きとり、切り身の魚など ●焼きもち、内臓を取っていない丸身の魚はうまく焼けません。
並べかた/焼きかた	途中で裏返す ●焼きとりは、焼き時間の1/2を経過してから裏返しをしてさらに焼きます。 ●切り身の魚などは、盛りつけ時下になる面を上にして焼き、途中で裏返してさらに焼きます。

加熱途中で、加熱時間の増減が分単位でできます。焼き上がりの調整にお使いください。

加熱中に **▲** **▼** を押します。

※加熱時間が40分でスタートした場合は増やせません。
※残り時間が1分未満の場合は増減できません。

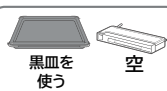
手動調理 (オーブン加熱)

予熱「なし」で加熱する



■加熱室を予熱しないで調理します。

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。



準備

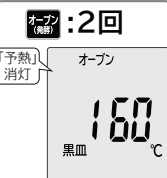
食品をのせた黒血を皿受棚にセットし、ドアを閉める

例: **オープン**予熱なし200℃で30分加熱する場合

1

オープン を 2 回押す

■ ボタンを押すごとに予熱「あり」▶ 予熱「なし」▶ 予熱「あり」の順に選択できます
予熱「なし」→「予熱」が消灯
予熱「あり」→「予熱」が点灯
※約 2 秒後に時間表示に切りかわりますがそのまま **2** に進みます。



2

温度上がり を押し、温度を設定する

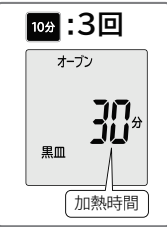
100℃～210℃(10℃単位)・250℃まで設定できます。(加熱室が熱い場合、最大設定温度は210℃になります。)

※時間表示のときは **温度上がり** を押し、温度表示にしてから操作します。



3

10分 **1分** **10秒** を押し、加熱時間を設定する (最大設定時間90分)



4

あたためスタート を押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室が冷めてから加熱室をお手入れする (→ P.48.49)
庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。

※調理終了後、冷却ファンが回転する場合がありますが、冷却終了後自動停止します。 (→ P.53)



注意

- 黒血の出し入れは、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋を使う
やけどの原因になります
- 取り出した黒血は、熱に弱い場所には置かないでください
開いたドアの上に置きます
- 子供や幼児が触れないように気をつけてください
- 破れたオープン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください

オープンの上手な使いかた

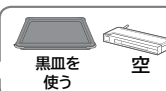
- 食品の焼き色を調節するため、加熱途中で温度と加熱時間を変えることができます
- 加熱中に **オープン** を押しすと、セットした温度が表示されます。温度/仕上がり **温度上がり** を押しして温度を変えることができます。約 2 秒後に時間表示に戻ります。
- **オープン** 加熱中に、加熱時間を変えるときは、温度/仕上がり **温度上がり** を押しすと、1分単位で増減できます。但し、最大加熱時間(90分)を設定した場合、加熱時間を追加することはできません。また、残り時間表示が1分未満となった場合は加熱時間を増減することはできません。

予熱「あり」で加熱する



■加熱室を予熱してから調理します。

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。



準備

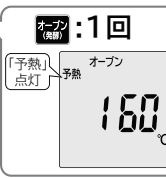
食品をのせた黒血を用意する
※予熱が終了してから黒血をセットします。

例: **オープン**予熱あり170℃で18分加熱する場合

1

オープン を 1 回押す

■ ボタンを押すごとに予熱「あり」▶ 予熱「なし」▶ 予熱「あり」の順に選択できます
予熱「なし」→「予熱」が消灯
予熱「あり」→「予熱」が点灯
※約 2 秒後に時間表示に切りかわりますがそのまま **2** に進みます。

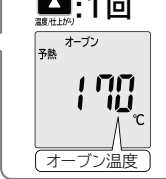


2

温度上がり を押し、温度を設定する

100℃～210℃(10℃単位)・250℃まで設定できます。(加熱室が熱い場合、最大設定温度は210℃になります。)

※時間表示のときは **温度上がり** を押し、温度表示にしてから操作します。



3

10分 **1分** **10秒** を押し、加熱時間を設定する (最大設定時間90分)

※予熱時間は、加熱時間(調理時間)に含まれません。



4

あたためスタート を押して予熱をスタートする

予熱終了音が鳴り予熱が終わったらドアを開けて食品をのせた黒血を皿受棚にセットし、ドアを閉める

■設定した温度になるか、30分経過すると予熱は終了します。

■予熱が終わってそのままにしておくと、10分間予熱を継続した後、設定した時間を加熱します。(庫内灯は消灯しています。)

※加熱室内が高温になっているので、やけどに注意して黒血をセットします。



5

あたためスタート を押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室が冷めてから加熱室をお手入れする (→ P.48.49)

庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。



オープン予熱中は節電のため庫内灯を消灯しています。予熱中に加熱室の様子を見たいときは **オープン** を押してください。消灯させるときも **オープン** を押してください。

※調理終了後、冷却ファンが回転する場合がありますが、冷却終了後自動停止します。(→ P.53) 250℃の運転時間は約5分です。その後は自動的に210℃に切りかわります。

注意

- 黒血の出し入れは、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋を使う
やけどの原因になります
- 取り出した黒血は、熱に弱い場所には置かないでください
開いたドアの上に置きます
- 子供や幼児が触れないように気をつけてください
- 破れたオープン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください

手動調理 (発酵)

レンジ発酵で加熱する



■簡単パンの生地など少量の発酵が手早くできます。

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備 食品をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める



1 **レンジ** を6回押し「レンジ発酵」を選択する



例: レンジ発酵で10分加熱する場合



2 **10分** **1分** **10秒** を押し、加熱時間を設定する (最大設定時間 90 分)

仕上がり調節をするときは (→P.21)
(**調節** を押す前に調節します。)



3 **あたためスタート** を押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室をお手入れする (→P.48,49)

庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。

発酵温度の目安

こね上げた生地の温度が約25°Cのとき、仕上がり調節(田)設定(約10分)のときは、発酵終了時の生地の温度は約30°Cになります。

使いかた

注意

加熱室の温度が低いとき、ヒーターが加熱する場合があるため、ドア、キャビネット、加熱室とその周辺の周りに触れないやけどの原因になります

黒血を使って**レンジ発酵**はできません
火花(スパーク)の原因となります

レンジ発酵のコツ

つづく

●メニューによって発酵温度が違います。温度/仕上がり調節ボタンを使い分けます。(右表参照)

レンジ発酵は温度/仕上がり調節(田)で発酵温度をコントロールします。温度/仕上がり調節(田)を誤って設定すると上手に仕上がりにません。

●市販の料理ブックの発酵や、お好みの料理の発酵は**オープン**予熱なしで温度/仕上がり調節(田)を押して**オープン**発酵30°C~45°Cに合わせ様子を見ながら行ってください。(→P.45)

レンジ発酵メニューと記載ページ

ボタン	仕上がり調節	メニュー	記載ページ
レンジ発酵	田	簡単パン	→ P.93
		簡単あんパン	→ P.94
		簡単全粒粉パン	→ P.94
		油で揚げないカレーパン	→ P.95
		ピザ・シーフードピザ	→ P.96,97
やや弱		ヨーグルト	→ P.98

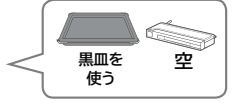
オープン発酵で加熱する



■パンの生地などの発酵をします。

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

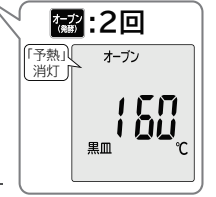
準備 食品をのせた黒血を皿受棚にセットし、ドアを閉める



1 **オープン** を2回押し 予熱「なし」を選択する

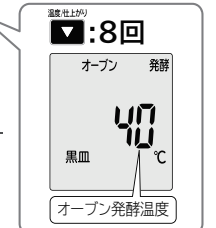
例: オープン予熱なし発酵40°Cで50分加熱する場合

■ボタンを押すごとに予熱「あり」▶予熱「なし」▶予熱「あり」の順に選択できます
予熱「なし」→「予熱」が消灯
予熱「あり」→「予熱」が点灯
※約2秒後に時間表示に切りかわりますがそのまま**2**に進みます。



2 **温度/仕上がり** を押し発酵温度を設定する

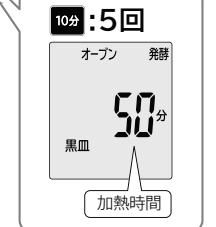
■発酵温度は30・35・40・45°Cの4段階に設定できます。**温度/仕上がり** を押し、温度表示にしてから操作します。



3 **10分** **1分** **10秒** を押し、加熱時間を設定する (最大設定時間90分)

4 **あたためスタート** を押してスタートする

終了音が鳴ったら食品を取り出し、加熱室が冷めてから加熱室をお手入れする (→P.48,49)
庫内灯が消灯し、表示が「0」になり、加熱が終わります。



使いかた

つづき

レンジ発酵のコツ

料理集に記載してあるバターロールなどの一次発酵を**レンジ発酵**で行う場合は

- こね上げた生地を耐熱ガラスボウルに入れて、そのままテーブルプレートにのせて発酵します。(黒血や金属製の容器は使えません。)
- 簡単パン(→P.93)を参照し、ポリ袋を使ってこねることもできます。この場合は袋のまま、記載の発酵時間の少なめの時間を目安にして発酵させます。
- 二次発酵は黒血を使います。**レンジ発酵**ではできません。**オープン**発酵で行います。

レンジ発酵仕上がり調節(田)で調理します。

メニュー・記載ページ	一次発酵時間
バターロール (→P.92)	20~30分

手動調理をするときの加熱時間

おいしいの有無の「-」は、ラップ等のおおいをしなくても良いことを示す。
 ※オート調理する場合、葉菜・果・花菜は[デイリー|39葉・果菜(グラム)]で、根菜は、
 [デイリー|40根菜(グラム)]でグラム(重量)を設定して加熱します。→P.30,31

レンジ調理 (野菜)

メニュー名	調理のコツ	手動調理の目安 [レンジ 600W]		おいしいの有無	
		分量	加熱時間		
葉菜	ほうれん草 小松菜・春菊	太い茎には切り目を入れ、葉先と根元を交互にする。 加熱後、冷水にとってアク抜き、色止めをする。	200g	2分~2分30秒	有
	白菜・もやし キャベツ	白菜は葉先と根元を交互にする。 加熱後、ザルに上げて水けを切る。			
果・花菜	カリフラワー ブロッコリー	小房に分ける。			
	なす	用途に合わせて切り、塩水につけてアク抜きをする。 加熱後、冷水にとって色止めをする。	200g	2分30秒~3分	有
	アスパラガス	はかまを外し、穂先と根元を交互にする。オート調理の場合はやや強で加熱する。			
	さやいんげん さやえんどう	筋を取る。 加熱後、さっと冷水をかけて色止めをする。			
	とうもろこし	皮をラップのかわりにするときは、ひげを取り除く。	300g(1本)	5~6分	-
かぼちゃ	大きさをそろえて切る。オート調理の場合は強で加熱する。	200g	3分~3分30秒	-	
根菜	にんじん	さいの目切りや、薄切りのオート調理の場合は弱にする。			
	さつまいも	オート調理の場合はやや弱にする。			
	里いも	皮をむいた里いもは、塩もみして水で洗い、ぬめりを取る。	200g	約4分	有
	ごぼう れんこん	酢水につけ、アク抜きしてから酢をふりかけて加熱する。			
じゃがいも 大根	じゃがいもを丸のまま加熱したときは、加熱後上下を返して3~5分ほどそのまま置く。さいの目切りや、薄切りのオート調理の場合は弱にする。	150g	約4分		
		300g	6~7分		

レンジ調理 (冷凍食品の解凍あため)

メニュー名	分量	加熱時間 [レンジ 600W]	おいしいの有無
冷凍ごはん(2~3cm厚さのかたまり)	1杯分(150g)	2分~2分40秒	有
冷凍おにぎり(かたまり)	1個(150g)	2分~2分40秒	有
冷凍ピラフ(バラバラの物)	1人分(250g)	3分20秒~4分	有
冷凍スパゲッティ	1人分(250g)	3分20秒~4分	有
冷凍ハンバーグ	1個(100g)	2分30秒~3分	有
冷凍フライ	2~4個(100g)	1分50秒~2分	-
冷凍シューマイ	15個(220g)	3分~4分20秒	有
冷凍肉だんご(甘酢あんかけ)	1袋(200g)	2分~3分20秒	有
冷凍カレー・シチュー	1人分(200g)	3分50秒~4分	有
冷凍ミックスベジタブル	200g	2分~2分40秒	有
冷凍さやいんげん	200g	2分40秒~3分	有
冷凍枝豆・かぼちゃ	200g	2分~3分20秒	有
冷凍スイートコーン	300g	5分~6分40秒	有
冷凍中華まん	1個(80g)	50秒~1分20秒	有

●中華まんのあためは、底の紙を取り、サツと水にくぐらせてから、ゆとりをもってラップで包み、皿にのせて加熱します。
 ●パンやまんじゅうのあためは、時間がたつとかたくなるので、食べる直前に加熱します。
 ●ミックスベジタブルや枝豆は、水にくぐらせて皿に広げて加熱します。少量(100g未満)をラップに包んで加熱すると、火花(スパーク)が発生して食品が焦げたり、乾燥することがあります。(少量の食品(100g未満)を加熱する場合)→P.39参照
 水を多めにふりかけてラップで包むが血などに広げ、浸るくらいの水を入れてラップでおおい、加熱します。
 ●市販の冷凍食品(フライやコロッケなど)を加熱するときは、食品メーカーが指示するトレーや容器に入れて、テーブルプレートの中央に寄せて置きます。加熱時間は、食品メーカーが表示している[レンジ|500W]または[レンジ|600W]の時間を目安にして、加熱します。

レンジ調理 (ごはん、お総菜のあため)

メニュー名	分量	加熱時間 [レンジ 600W]		おいしいの有無
		レンジ	加熱時間	
ごはん	1杯(150g)	50秒~1分	-	
おにぎり	1個(150g)	約1分	-	
チャーハン・ピラフ	1人分(各250g)	約1分50秒	-	
スパゲッティ・焼きそば	1人分(各250g)	約2分40秒	-	
焼き魚	1人分(100g)	約1分	有	
ハンバーグ	1個(100g)	約1分	-	
揚げ物				
フライ	2~4個(100g)	40~50秒	-	
コロッケ	2個(150g)	50秒~1分	-	
野菜のいため物	1人分(200g)	約1分50秒	-	
八宝菜	1人分(300g)	約2分40秒	-	
煮物				
野菜の煮物	1人分(200g)	1分50秒~2分	-	
煮魚	1切れ(100g)	約50秒	有	
蒸し物				
シューマイ	1人分(200g)	約1分50秒	-	
みそ汁・コンソメスープ	1人分(150g)	1分~1分50秒	-	
カレー・シチュー	1人分(各200g)	約1分50秒	有	
ポタージュスープ	1人分(150g)	1分40秒~2分	-	
牛乳	1杯(200mL)	約1分40秒	-	
コーヒ	1杯(150mL)	約1分10秒	-	
お酒	1本(180mL)	50秒~1分	-	
パン類				
ハンバーガー	1個(100g)	30~40秒	-	
ホットドッグ	1本(80g)	20~30秒	-	
バターロール	2個(80g)	約20秒	-	
まんじゅう				
中華まん	1個(80g)	30~40秒	有	
まんじゅう	2個(100g)	20~30秒	-	
お粥	1個(500g)	1分40秒~2分	-	

●焼き魚や煮魚、カレーやシチューのあためは、加熱中に飛び散ることがあるのでおおいをします。

オーブン調理

グリル調理

メニュー名	分量	皿受棚	温度	加熱時間		記載ページ					
				予熱あり	予熱なし						
グラタン	マカロニグラタン	4皿	210℃	20~24分	24~30分	67					
							180℃	20~25分	25~30分	96 97	
											150℃
ピザ	シーフードピザ	直径24cm	180℃	20~25分	25~30分	96 97					
							直径15cm	150℃	30~35分	35~39分	82
ケーキ	スポンジケーキ (デコレーションケーキ)	直径21cm	150℃	36~42分	43~48分	82					
							8個	160℃	22~27分	25~32分	93 94 95
パン	簡単あんパン	8個	160℃	22~27分	25~32分	93 94 95					
							簡単全粒粉パン	1個	油で揚げないカレーパン	8個	
焼き魚	塩だけ	4切れ	上段	グリル	-	23~33分	64				

●黒血を皿受棚にセットして使用します。
 ※作りかたは、記載ページを参照してください。
 ※焼きむらが気になるときは、加熱途中で食品の前後を入れかえたり、黒血の前後を入れかえます。入れかえるタイミングは、加熱時間の3/4~3/2が経過してからにしてください。
 ※市販の料理ブックのオープンメニューや市販の生地を使うときは、料理集の類似したメニューの温度と時間を参照して、手動調理で様子を見ながら焼いてください。
 ※焼き魚類は焼き時間の3/4が経過してから、裏返しをしてさらに焼きます。

レンジ調理 (生ものの解凍)

メニュー名	分量	加熱時間 [レンジ 100W]	おいしいの有無
まぐろ(ブロック)	200g	4~6分	-
いか(ロール)	100g	2~3分	-
えび	10尾(約200g)	3~5分	-
切り身魚	1切れ(約100g)	2~3分	-
ひき肉	200g	5~7分	-
薄切り肉	200g	4~6分	-
鶏もも肉(骨なし)	250g	6~7分	-
鶏もも肉(骨あり)	250g	7~8分	-

●ラップやふたなどのおおいを外し、発泡スチロール製のトレーにのせて加熱します。
 ●加熱後3~5分放置して自然解凍します。

レンジ調理 (ゆでて冷凍した野菜の解凍)

メニュー名	分量	加熱時間 [レンジ 600W]	おいしいの有無
ミックスベジタブル	200g	1分50秒~2分10秒	-
さやいんげん	200g	約2分	-

本体・付属品のお手入れ

お手入れは**すぐ**に**こまめ**にがポイントです。

蒸発皿

かたく絞ったぬれがきんでふきます。
●スチーム使用後は白いあがが残ることがあります。こまめにかたく絞ったぬれがきんでふき取ります。

テーブルプレート

かたく絞ったぬれがきんでふきます。
●ふきんで取れにくい汚れは、市販のクリームクレンザー（研磨剤入り）少量をラップにつけてこすると、取りやすくなります。
●外周に充填してあるシール材は強くこすらないでください。剥がれることがあります。
●衝撃を加えると割れるおそれがあります。
●割れたり、ひびが入ったときは、そのまま使用せず、お買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると故障の原因になります。

外側

柔らかい布でふき取ります。
●汚れがひどいときは、台所用中性洗剤をつけた布でふき取り、その後、かたく絞ったぬれがきんで洗剤をよくふき取ります。

黒皿・給水タンク

台所用中性洗剤をつけたスポンジたわしで汚れを落として水洗いし、水けを十分にふき取ります。
●給水タンクは食器洗い乾燥機、食器乾燥機、食器洗い機には入れないでください。給水タンクの変形、破損の原因になります。
●黒皿をお酢や重曹などの酸性やアルカリ性系の水溶液に浸しておくとも表面が白化する場合があります。
●黒皿の表面に食品がこびりついたり、焦げついたりした場合、黒皿にお湯（約40～50℃）を入れ、10分程度つけ置きをして、食品のこびりつきをふやかしてから、台所用中性洗剤をつけた柔らかいスポンジたわしなどで汚れを落としてください。

加熱室壁面・前面ドア内側

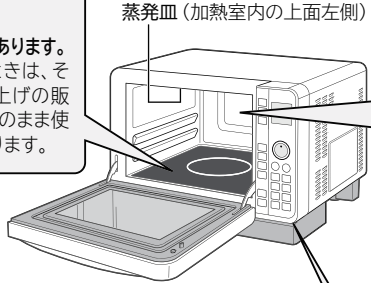
かたく絞ったぬれがきんでふきます。
●加熱室内について水滴はかたく絞ったぬれがきんでふき取ります。
●汚れがひどいときは、台所用中性洗剤をつけた布でふき取り、その後かたく絞ったぬれがきんで洗剤をよくふき取ります。
●管ヒーター（上）は押ししたり、強くこすったりしないでください。衝撃を加えると割れるおそれがあります。割れたり、ひびが入ったときは、そのまま使用せず、お買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、けがや感電の原因になります。

つゆ受け

割りばしの先にしめらせたキッチンペーパーなどを巻いて、付着している水分や食品くずを取り除いてください。

前面ドア内側

●勘合部のすき間があるため、飲み物や汁物をこぼさないように注意してください。



注意

黒皿は金属たわしや鋭利な物でこすらない
さびる原因になります

テーブルプレートは金属たわし、研磨材入りナイロンたわし、鋭利な物でこすらない
けが・破損の原因になります

キャビネットやドア、操作パネル、加熱室内に水をかけない
さび・感電・故障の原因になります

操作パネルやドア、加熱室などをオープンクリーナー、シンナー、ベンジン、スプレーのガラスみがき、漂白剤などでふかない
傷・変形の原因になります
化学ぞうきんの使用は、その注意書きに従ってください



加熱室壁面、ドアガラス、テーブルプレートに食品くずや汁をつけたままにしない
火花（スパーク）が出たり、さびや悪臭の原因になります

加熱室内は塗装コート処理がしてあります
傷つきやすいので、たわしなどがたい物でこすらないでください

管ヒーター（上）やテーブルプレートに衝撃を加えない
けが・感電・破損の原因になります

臭いが気になるとき(脱臭) 脱臭

脱臭 を選択します。

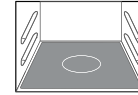
魚を焼いた後、別の料理をするときや、加熱室の臭いが気になるときに使います。
加熱室の油污れや臭いを軽減することができます。
※油の焼ける臭いや煙が出る場合があるので、窓を開けるか換気扇を回す。

脱臭のしくみ

ヒーター（オープン加熱）の高熱で高温にし、加熱室に残った油や臭いの成分を分解して加熱室外に排出します。
加熱室に残った食品くずは取れません。あらかじめふき取ってください。（高温により発煙、発火のおそれがあります。）

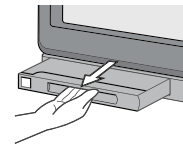
準備

加熱室を空にして
ドアを閉める



1

表示部の「0」表示を確認し、給水タンクを本体から引き抜く



2

脱臭 を1回押し、
脱臭 を選択する



3

スタート を押してスタートする

終了音が鳴ったら終了です

※空焼き終了後、冷却のため約2～10分間ファンが回転します。冷却終了後は自動停止します。

※空焼き終了後はすぐに調理せず、加熱室が冷めてから使用してください。



水抜きのみかた

脱臭

過熱水蒸気メニューの調理終了後には、パイプの水抜きを行ってください。

脱臭 を行うと水抜きも行えます。

脱臭 と同じ手順で行ってください。

※「ゴボツ」とポンプが水を吸う音がしますが、異常ではありません。

終了後は空にした給水タンクを元に戻します。

注意



接触禁止

●空焼き（脱臭）の加熱中や終了後しばらくは、本体（ドア、キャビネット、加熱室とその周辺）に触れないやけど・けが・火災の原因になります



●空焼き（脱臭）を行うときは、加熱室に何も入れない
●空焼き（脱臭）を行うときは、油の焼ける臭いや、煙が出る場合があるので、窓を開けるか、換気扇を使って換気を行う
●煙や臭いなどに敏感な小鳥などの小動物は、別の部屋に移す
●加熱室が冷めてから使用する

うまく仕上がらないとき

調理を上手に仕上げるために

食品をテーブルプレートの中央に置いてください。→P.20

	こんなときは	確認してください／直しかた
① ごはんのあたたため	ごはんがあたたまらない 仕上がりにむらが見られる	<ul style="list-style-type: none"> ●プラスチック製の容器に入れたり、ふたをしたままで加熱していませんか。陶器・磁器（茶わんなど）に入れて、おおいをしないで加熱してください。 ●ごはんの分量に合った大きさの容器（茶わんなど）に入れて加熱します。 ●2杯を同時にあたためるときは、同じ分量、同じ大きさの容器に入れ、テーブルプレートの中央に寄せて置き、加熱します。
	ごはんが熱くなり過ぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●ごはんの分量に対して、大き過ぎたり、深過ぎる容器を使っていませんか。 ●[1おかず・ごはん] 仕上げ調節 [やや弱] または [弱] で加熱してください。
	ごはんがぱさつく	<ul style="list-style-type: none"> ●[1おかず・ごはん] 仕上げ調節 [やや弱] または [弱] で、加熱前に霧を吹いてから加熱すると、しっとり仕上がります。
	冷凍ごはんがあたたまらない 仕上がりにむらが見られる	<ul style="list-style-type: none"> ●ラップの重なっている部分を下にして皿にのせ、加熱します。 ●プラスチック製の容器でふたをしたまま加熱していませんか。 ●使う容器（平皿）の大きさは、冷凍ごはんの分量に合った大きさの物を使います。 ●ごはんを冷凍するときは、1杯分、1人分（約150gくらい）に分け、厚みは2～3cmの四角形に作ります。 ●2個を同時にあたためるときは、同じ分量、同じ大きさの物で加熱します。 ●2個を同時にあたためるときは、中央をあげるようにして並べ、重ねないでください。
	冷凍ごはんが熱くなり過ぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●あたためる食品の量が少な過ぎませんか。100g以上にするか、[レンジ500W]以下で様子を見ながら加熱してください。 ●ごはんの分量に対して、大き過ぎたり、深過ぎる容器を使っていませんか。 ●溶けかけていませんか。冷凍室から取り出して、すぐに加熱します。 ●オート調理でぬるかった物を、オート調理で加熱していませんか。[レンジ600W] または [レンジ500W] で様子を見ながら追加加熱してください。
② 解凍	解凍不足でかたい ([37解凍(グラム)] [38刺身の解凍(グラム)])	<ul style="list-style-type: none"> ●グラム(重量)を正しく設定しましたか。 ●ラップでおおっていたり、袋に入れたまま加熱していませんか。 ●半解凍(七～八分解凍)状態に仕上げます。加熱後3～5分の自然解凍をすると、きれいに解凍されます。 ●食品(肉や刺身等)や使用用途(解凍後すぐ調理するか、そのまま生で食べる場合)によって「オート調理」、「仕上げ調節」を使い分けます。 ●テーブルプレートの中央に置き、加熱します。
	食品が煮えた ([37解凍(グラム)] [38刺身の解凍(グラム)])	<ul style="list-style-type: none"> ●グラム(重量)を正しく設定しましたか。 ●皿などの上ののせて加熱していませんか。発泡スチロール製のトレーにのせて加熱します。 ●食品の厚みや形が不均一だと、細い部分やうすい部分が煮えやすくなります。魚などは、尾にアルミホイルを巻きます。→P.29 ●冷凍するときは、食品の厚みを3cm以下にそろえてください。 ●同時に2つ以上を解凍するときは、同じ種類の物で、同じ大きさの物にしてください。 ●刺身の解凍の場合は、[38刺身の解凍(グラム)] に設定します。
③ お総菜のあたたため	食品をあたたためても熱くならない	<ul style="list-style-type: none"> ●ラップやふたをしたままで加熱していませんか。 ●食品が、金属容器かアルミホイルでおおわれていると加熱されません。 ●テーブルプレートの中央に置き、加熱してください。 ●保存状態(常温、冷蔵、冷凍)が違う物を同時にあたためると上手にあたたまりません。保存状態によりメニューを使い分けます。

	こんなときは	確認してください／直しかた
③ お総菜のあたたため(つぎ)	食品をあたためると熱くなり過ぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●あたためる食品の量が少な過ぎませんか。100g以上にするか、[レンジ500W]以下で様子を見ながら加熱してください。 ●オート調理でぬるかった物を、オート調理で追加加熱していませんか。[レンジ600W] または [レンジ500W] で様子を見ながら、追加加熱をしてください。 ●冷めかけた食品をオート調理で加熱していませんか。[レンジ600W] または [レンジ500W] で様子を見ながら加熱してください。
	カレーやシチューがあたたまらない	<ul style="list-style-type: none"> ●とろみがある物はラップなどでおおいをして「仕上げ調節」を [やや強] または [強] に合わせて加熱します。→P.21 ●加熱前後でよくかき混ぜます。
	冷凍保存した食品があたたまらない	<ul style="list-style-type: none"> ●[4解凍あたため] で加熱します。→P.24,25 ●テーブルプレートの中央に置き、加熱してください。 ●分量に対して大き過ぎる容器を使ったり、ふたをしたまま加熱するとうまくあたたまりません。 ●ラップの重なっている部分を上にして加熱していませんか。重なっている方を下にして加熱してください。
	市販の冷凍食品をあたためたときに仕上がりにむらが見られる	<ul style="list-style-type: none"> ●冷凍食品メーカーが表示している[レンジ600W] または [レンジ500W] の時間を目安にして、若干多めに加熱します。 ●テーブルプレートの中央に置き、あたたまり加減を見ながら加熱し、むらがある場合は加熱途中で食品の前後を入れかえて加熱します。
④ 牛乳のあたたため	牛乳が熱くなり過ぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●牛乳の分量は少なくありませんか。容器の大きさに対して半分以下の量のときは[レンジ600W] で加熱してください。 ●冷めかけた牛乳を加熱していませんか。冷蔵庫から出したての物を使います。 ●メニュー番号を間違えていませんか。[1おかず・ごはん] で加熱すると熱くなり過ぎます。
	牛乳がぬるい	<ul style="list-style-type: none"> ●容器の八分目くらいまで入れて加熱してください。 ●市販のパックのまま加熱していませんか。マグカップやコップに移し換えて加熱してください。 ●セットされている分量(1～4杯)または「仕上げ調節」の目盛を確認してください。 ●メニュー番号を間違えていませんか。[3酒かん(本数)] で加熱すると上手にあたたまりません。 ●テーブルプレートの中央に置いて加熱してください。2～4杯を一度に加熱するときは、分量を同じくらいにして、テーブルプレートの中央に寄せて並べ、加熱します。
⑤ 野菜	野菜がうまくゆであがらない	<ul style="list-style-type: none"> ●グラム(重量)を正しく設定しましたか。 ●野菜はラップで包んだままの状態、テーブルプレートの中央に直接置き、加熱します。 ●ラップの重なっている部分を上にして加熱するとうまくゆであがりません。 ●ほうれん草などの葉菜は100～300g、じゃがいもなどの根菜は100～600gまで加熱できます。分量が多過ぎたり、少な過ぎるとできません。手動調理(レンジ加熱)で様子を見ながら加熱します。→P.38,39
	ほうれん草など葉菜が乾燥したり、むらがある	<ul style="list-style-type: none"> ●ほうれん草などの葉菜は、洗ったあとの水けを切らない状態で、ラップで包みます。 ●ラップで包むときは、茎と葉を交互にして重ね、しっかり包みます。ラップの包みかたがゆるかったり、広げた状態で包むと乾燥したり、むらができます。

うまく仕上がらないとき(つづき)

こんなときは		確認してください/直しかた	
⑤ 野菜(じやまいち)	ブロッコリーなどの果菜類を包むときは	●ブロッコリーなどの果菜類は小房に分け、重ならないようにし、ラップの上にすき間を作らないようにして並べて、ぴったりと包みます。	
	じゃがいもやにんじんなどの根菜類が加熱し過ぎになった	●グラム(重量)を正しく設定しましたか。 ●ラップの重なった方を下にしてテーブルプレートの中央に直接置き、加熱します。 ●100g未満のオート調理はできません。[レンジ500W]で様子を見ながら加熱してください。	
	じゃがいもが加熱不足になった	●グラム(重量)を正しく設定しましたか。 ●加熱後、ラップを外さないで、すぐに上下を返して3~5分おいて蒸らします。	
⑥ スイーツ	スポンジケーキ	ケーキのふくらみが悪い	●卵はしっかりと泡立てましたか。 ●ハンドミキサーや泡立て器の先から落ちる泡で「の」の字が書けるくらい、しっかりと泡立ててください。(→P.82) ●粉を加えた後やバターを加えた後に、混ぜ過ぎていませんか。
		いくら泡立てても泡立ちが悪い	●泡立てるときのボウルや泡立て器に、水分や油がついていると泡立ちが悪くなります。卵は新鮮な物を使ってください。
		きめが荒く、粉がダマになって残る	●小麦粉はよくふるいながら入れましたか。 ●小麦粉を加えてから、粉がなじむまでしっかり混ぜてください。
		ケーキがうまく焼けない	●手動調理で焼く場合の温度と時間は、「手動調理をするときの加熱時間」(→P.47)を参照して焼いてください。 ●分量に合った大きさの型で焼いてください。
	シュークリーム	ふくらみが悪い	●分量は正しく計りましたか。 ●シュークリームの作りかた(→P.88)を参照し、作りかた①のバターと水の加熱のとき、十分に沸とうさせてください。
		大きさにむらがある	●生地を同じ大きさに絞り出しましたか。量が異なると焼き上がったときにむらになります。
クッキー	焼き色にむらがある	●生地の大きさや厚みはそろえてください。	
⑦ パン	トースト	焼き色がつかない	●トーストはトースターで焼くよりも時間がかかります。 ●手動調理(グリル加熱)で様子を見ながら加熱時間を調節して焼きます。(→P.41,91)
	バターロール	ふくらみが悪い	●生地の発酵は十分でしたか。発酵途中で生地の表面が乾いているときは霧吹きで水分を補ってください。 ●成形するとき生地をいじりすぎませんか。生地はていねいに扱ってください。
		焼き色にむらがある	●生地の大きさが異なると焼いたときにむらになります。
⑧ メニュー	仕上がりが悪い	●給水タンクに水は入れましたか。	
その他	●焼きもち、内臓を取っていない丸身の魚は上手に焼けません。		

お困りのときは

現象		原因
① 動作しない	電源が入らない ボタンを押しても受け付けない 加熱しない	●電源プラグが抜けていませんか。 ●配電盤のヒューズ、またはブレーカーが切れていませんか。 ●表示部に「0」が表示されています。表示がない場合ドアを開閉してください。「0」表示します。(待機時消費電力オフ機能が働いています。)(→P.2) ●ドアはきちんと閉まっていますか。 ●ドアを開け閉めし直しても正常になりませんか。 ●専用ブレーカーを切り入れ直してドアを開閉しても正常になりませんか。
	食品がまったくあたたまらない 「M」モードになっている	● トリプル を押して表示部に「M」が表示されていませんか。店頭用の「モード」に設定されています。「 トリプル 」を3回押し、「 設定 」を1回押しこの操作を3回繰り返すと、表示部の「M」表示が消え、加熱できます。
	加熱中に液晶表示部の表示が消え、本体の運転が停止し、電源が入らない	●排気口や吸気口がふさがれたまま、加熱をしていませんか。本体の温度が異常に高くなると、自動で電源が切れます。本体が冷めてから、据え付けを確認し(→P.4)、排気口や吸気口をふさいでいる物を取り除き、電源を入れてください。
	スチームが出ない	●過熱水蒸気が発生します。過熱水蒸気の粒子は非常に細かいため見えません。
② 音・火花・煙・付着物	電源プラグを差し込むとわずかに「ジー」音がする	●電子部品(フィルムコンデンサ)の振動音です。異常ではありません。
	テーブルプレートに茶色い焦げが浮かび上がる	●テーブルプレートに煮こぼれた物などが残留し、その後オープン加熱をしたためです。調理後にテーブルプレートに残った水分はふき取ってください。 ●茶色く焦げ付いた場合は、加熱室内が冷めてから、市販のクリームクレンザー(研磨剤入り)少量をラップにつけてこすり取り、その後固く絞ったぬれがきんでふいてください。
	加熱中「カチ、カチ・・・」と音がする	●マイコンがレンジやヒーターなどの切り替えをするときのスイッチ音です。
	加熱中「ジージー」と音がする	●インバーターの作動音です。
	レンジ加熱のとき「パチン」と音がする	●ドアと加熱室の接触面に付着していた水滴がはじける音です。
	オープン、グリル加熱のとき「ポコッ」と音がする	●高温のため、加熱室が膨張する音がすることがありますが、故障ではありません。
	調理終了後、しばらくすると「カチ」と音がする	●調理終了後にドアを閉めてから10分過ぎたときに働く待機電力をオフするスイッチの音です。
	調理が終了しても「冷却中」の表示が出てファンの風切り音がする	●繰り返して調理した後(積算調理時間10分以上の場合)や トリプル を押したとき、電気部品を冷却するためファンが約2~10分間回転する場合がありますが、故障ではありません。冷却が終了するとファンは自動的に停止します。
終了音の音色が切りかわったり、無音になった	●ドアを開閉して表示部に「0」を表示させてから、温度/仕上がりが▼を3秒間押しと終了音の音色が切りかわります。同じ操作でブザー音を無音に切りかえられます。(→P.21)	
電源プラグを差し込むとき「カチッ」と音がしたり、火花(スパーク)が出る	●電源回路に充電するため、故障ではありません。	

お困りのときは(つづき)

	現象	原因
② 音・火花・煙・付着物(こけり)	はじめてオープンを使っ たとき煙がでた	●加熱室は防錆のため油を塗っています。はじめてお使いのときは、空 焼き(脱臭)をして油を焼き切ってください。→P.5
	レンジのとき 火花(スパーク)が出る	●黒皿を誤って使用していませんか。 ●アルミホイルを使って加熱しませんでしたか。 ●加熱室壁面、ドアガラスなどに金属製の調理道具やアルミホイルが触 れていませんか。 ●テーブルプレートなどに食品くずがついていませんか。
	蒸発皿に白い付着物が 残る	●白い付着物の成分は水道水に含まれているミネラル分(カルシウム、マグネ シウム)が蒸発して残った物です。食品にかかる場合がありますがミネラル 分は有害ではありません。こまめにかたく絞ったぬれがきんでふき取ります。
	過熱水蒸気使用中、音 がする	●給水タンクから水を吸い込むときに空気をかむ音です。
③ 水滴・庫内灯・ヒーター	加熱中、表示部やドア がくもったり、水滴が 落ちる	●メニューによって食品から出た水分が水蒸気となり、表示部やドアの 内側がくもることがありますが故障ではありません。ドアの内側など に露がつき、床に落ちたときは、ふきんでふき取ってください。
	加熱室内に水滴が付着 したり溜まる	●角皿スチーム調理やメニューによって食品から出た水蒸気が加熱室壁 面に水滴として付着したり、加熱室底面に溜まることがあります。 水滴はこまめにふき取ってください。→P.48
	ドアから蒸気もれる	●調理中にドアのすき間から、わずかに蒸気もれることがあります。 性能上の影響はありません。
	オープン予熱中に庫内 灯が消灯している	● オープン 予熱中は節電のため庫内灯を消灯しています。予熱中に加熱室 の様子が見たいときは 表示 を押します。庫内灯を消灯させるときは、もう 一度 表示 を押してください。
④ 設定・表示・その他	庫内灯の明るさがか わるときがある	●断続運転のとき庫内灯の明るさかわることがあります。故障ではあ りません。
	250℃に設定できな いことがある	●加熱室が熱い場合の最大設定温度は210℃になります。
	セットした温度が途中 でかわることがある	● オープン のとき、250℃の運転時間は約5分です。その後は自動的に 210℃に切りかわります。
	予熱途中で加熱室温度の表 示が10~20℃上下する	●加熱室温度が安定するまで温度表示がかわります。故障ではありませ ん。
	予熱設定温度が表示さ れる前に予熱が終了した	●電源電圧や室温等の影響で設定温度まで表示される前に予熱が終了する ことがあります。また予熱開始より30分が経過すると予熱は終了します。そのままにしてお くと、10分予熱を継続した後、庫内灯が消灯したまま設定した時間を加熱します。
残り時間が途中でか わることがある	●オート調理のとき、料理を上手に仕上げるため加熱途中で残りの加熱 時間がかわることがあります。	
ドアを開けると加熱が 取り消される	●オート調理では残りの加熱時間を表示していないときにドアを開け ると、加熱が取り消されます。	

お困りのときは(つづき)

	現象	原因
④ 設定・表示・その他(しぎ)	市販の料理ブックのオープン メニューや市販の生地を使う と上手にできないことがある	●この料理集の類似したメニューの温度と時間を参照して、手動調理で 様子を見ながら焼いてください。→P.47
	表示部をこすると画面が 部分的に黒く変色する	●静電気の影響によるものです。故障ではありません。 しばらくすると元に戻ります。
	過熱水蒸気が出ている のがわからない	●過熱水蒸気の粒子は非常に細かいため見えません。
	給水タンクの水が減ら ない	●メニューによって給水タンクの水の減水する量が異なります。

お知らせ表示が出たとき

表示例	原因・調べるところ	直しかた
	●加熱室が熱いため、加熱できません。 (例: 調理終了後や 脱臭 終了後、 まだ加熱室が熱いうちに [1おかず・ごはん]や[4解凍あたため を使った。])	ドアを開いて十分に冷却します。(15分~30分) または 表示 を押して「0」表示を確認し、手 動調理(レンジ加熱)で様子を見ながら加熱 します。→P.38,39,46,47
	●本体右部の機械室内部の温度が高 くなり過ぎたため、保護装置が働 いて運転を停止しました。	本体を冷ましてから調理を行ってください。 据え付け状態を確認してください。→P.4
	●外来ノイズなどの影響による一時 的な誤動作や機械室内の異常を検 出した際などに運転を停止します。	表示 を押します。 (「H※※」の表示は消えます。) または電源プラグを抜いて、差し込み直し た後、ドアを開閉し、もう一度電源を入れ てください。
※※は2けたの数字を表示します。 H※※表示例 	●部品の故障表示	
	●冷却のためファンが回転しています。	繰り返して調理した後(積算調理時間10分以上 の場合)や 表示 を押したとき、ファンが約2~ 10分間回転する場合があります。自動的に停 止し、表示も元に戻ります。

正常にならない場合や同じ表示がでる場合は、電源プラグを抜き、本書記載の「ご相談窓口」にお問い合わせください。→P.99

*本掲載の料理集はカラーになっておりますが、製品に付属されているものはカラーではありません。

標準計量カップ・スプーンでの質量表…………… 57

あたため

- カレー・丼物の具 (アルミパックのレトルト食品)…………… 58
- ラーメン・ヌードル (発泡スチロールカップまたは袋入り)…………… 58
- 飲み物・牛乳…………… 58
- 酒かん…………… 58
- フライあたため…………… 58

ゆで物

- ほうれん草のおひたし…………… 59
- イタリアンサラダ…………… 59

10分メニュー

- あさりの酒蒸し…………… 60
- 簡単肉じゃが…………… 60
- 肉豆腐…………… 60
- きんぴらごぼう…………… 61

焼き物

- ハンバーグ…………… 61
- ビーフハンバーグ…………… 62
- ピーマンの肉詰め…………… 62
- ローストビーフ…………… 62
- グレービーソース…………… 62
- 焼き豚…………… 62
- スペアリブ…………… 63
- 鶏のハーブ焼き…………… 63
- チキンソテー…………… 63
- 焼きとり…………… 64
- バーベキュー…………… 64
- 塩ざけ…………… 64
- 生ざけの塩焼き…………… 65
- さばのごま焼き…………… 65
- あじのみりん風味…………… 65
- ぶりの照り焼き…………… 65
- さけのムニエル…………… 65
- さけのホイル焼き…………… 66
- 焼きいも…………… 66
- ベークドポテト…………… 66

- マカロニグラタン…………… 67
- 市販の冷凍グラタン…………… 67
- えびのドリア…………… 68
- ラザニア…………… 68
- ベーコンと玉ねぎのキッシュ…………… 68
- ホワイトソース…………… 68

いため物

- 焼きそば…………… 69
- チンジャオロウスー (牛肉とピーマンの細切りいため)…………… 69
- ゴーヤーチャンプル…………… 69
- ホイコウロウ (豚肉とキャバツの辛みそいため)…………… 70

蒸し物

- 茶わん蒸し…………… 70
- 手作り豆腐…………… 71
- 白身魚の姿蒸し…………… 72
- 鶏の簡単蒸し…………… 72
- 香味ソース…………… 72
- 梅肉ソース…………… 72

揚げ物 (ノンフライ)

- 鶏のから揚げ…………… 73
- 豚のから揚げ…………… 73
- チキン南蛮…………… 73
- とんカツ…………… 74
- 煎りパン粉…………… 74
- ポテトコロケ…………… 74
- あじフライ…………… 75
- いわしフライ…………… 75
- えびフライ…………… 75
- いかリングフライ…………… 75
- えびの天ぷら…………… 76
- 魚介の天ぷら…………… 76
- 野菜の天ぷら…………… 76
- メンチカツ…………… 76
- ハムカツ…………… 77
- ヒレカツ…………… 77
- くしカツ…………… 77
- かき揚げ…………… 78

ごはん物・麺

- 炊飯 (ごはん)…………… 78
- 赤飯 (おこわ)…………… 79
- トマトとベーコンのスープパスタ…………… 79

煮物

- 筑前煮…………… 80
- とん汁…………… 80
- けんちん汁…………… 81
- さばのみそ煮…………… 81

スイーツ

- スポンジケーキ (デコレーションケーキ)…………… 82
- スフレチーズケーキ…………… 83
- ロールケーキ (プレーン)…………… 84
- シフォンケーキ (プレーン)…………… 85
- 型抜きクッキー…………… 86
- 絞り出しクッキー…………… 86
- アーモンドクッキー…………… 86
- ピーナツクッキー…………… 86
- スノークッキー…………… 87
- マドレーヌ…………… 87
- マフィン…………… 87
- シュークリーム…………… 88
- カスタードクリーム…………… 88
- エクレア…………… 89
- アップルパイ…………… 89
- りんごのプリザーブ…………… 90
- 焼きりんご…………… 90
- ゼリー (レモンゼリー)…………… 90
- 柔らかプリン…………… 91

トースト・パン・ピザ

- トースト…………… 91
- バターロール (ロールパン)…………… 92
- 簡単パン…………… 93
- 簡単あんパン…………… 94
- 簡単クリームパン…………… 94
- 簡単全粒粉パン…………… 94
- 油で揚げないカレーパン…………… 95
- 簡単肉まん…………… 95
- ピザ (パン生地)…………… 96
- 市販のピザ…………… 96
- シーフードピザ…………… 97

ヨーグルト

- ヨーグルト…………… 98
- ヨーグルトソース…………… 98

本書に使用している計量カップ・スプーンでの質量 (重量) は表の通りです。

標準計量カップ・スプーンでの質量表 (単位 g) (1mL = 1cc)

■加熱時間
 約5分: 5分を目安にして加熱します。
 5~10分: 5~10分を目安にして加熱します。
 ■料理集に使われる単位は、次の通りです。
 容量: 1mL (ミリリットル) = 1cc (シーシー)
 ■加熱時間の目安は、食品温度 (常温) を基準にしています。
 ■料理写真は調理後盛りつけた物です。

※料理集本文に記載している□はオート調理を示し、□は手動調理を示します。

食品名	計量			食品名	計量		
	小さじ (5mL)	大きじ (15mL)	カップ (200mL)		小さじ (5mL)	大きじ (15mL)	カップ (200mL)
水・酢・酒	5	15	200	トマトピューレ	5	15	210
しょうゆ・みりん・みそ	6	18	230	ウスターソース	6	18	240
食塩	6	18	240	マヨネーズ	4	12	190
砂糖 (上白糖)・片栗粉	3	9	130	粉チーズ	2	6	90
小麦粉 (薄力粉)	3	9	110	生クリーム	5	15	200
小麦粉 (強力粉)	3	9	110	油・バター・ラード	4	12	180 ラードは170
パン粉	1	3	40	ココア	2	6	90
粉ゼラチン	3	9	130	白米	-	-	160
トマトケチャップ	5	15	230	炊きたてごはん	-	-	120

あたため

応用 1 カレー・丼物の具 (アルミパックのレトルト食品)

メニュー選択ボタン	使用付属品
	給水タンク 空
黒血は使用できません	

作りかた

- ① バックまたは袋から具を取り出して深めの陶磁器や耐熱容器に移してよくかき混ぜ、かるくラップをし、テーブルプレートの中央に置き「1 おかず・ごはん」で加熱する。
- ② 加熱後、よくかき混ぜる。

- おかゆなどは、加熱後1～2分おくと柔らかくなります。
- えびやいか、丸ごとのマッシュルームやきくらげなどが入っている物、カレーなどどろみのある物は、飛び散ることがあります。(丸ごとのマッシュルームはあらかじめ取り除き、加熱後、加えます。)

手動 ラーメン・ヌードル (発泡スチロールカップまたは袋入り)

メニュー選択ボタン	使用付属品
	給水タンク 空
レンジ600W 5～7分 黒血は使用できません	

作りかた

- ① カップまたは袋から麺を取り出して陶磁器や耐熱容器に移す。
- ② 麺が水面から出ないように水(400～500mL)を入れて図のようにラップをし、テーブルプレートの中央に置き「レンジ600W」[5～7分]で加熱する。
- ③ 加熱後、よくかき混ぜ食品メーカーの指示に従って調味料を加えてよくかき混ぜる。

「レンジ加熱の使いかた」(→P.38,39)

オート 2 飲み物・牛乳



メニュー選択ボタン	使用付属品
	給水タンク 空
加熱時間の目安 (1杯・200mL) 約1分30秒 黒血は使用できません	

作りかた

- ① 牛乳はマグカップやコップに入れてテーブルプレートの中央に置き「デリリー」[2 飲み物・牛乳(杯数)]で杯数をセットして加熱する。

- 飲み物の上手なあたためかた(→P.26)

オート 3 酒かん



メニュー選択ボタン	使用付属品
	給水タンク 空
加熱時間の目安 (1本・180mL) 約50秒 黒血は使用できません	

作りかた

- ① お酒はコップまたは徳利に入れてテーブルプレートの中央に置き「デリリー」[3 酒かん(本数)]で本数をセットして加熱する。

- 酒かんの上手なあたためかた(→P.26)

酒かんのコツ

- 1回にあためられる分量は1～4本(杯)180～720mLです。
- 徳利であためるときはくびれた部分より1cmほど下くらいまで入れます。
- びん詰めのお酒は栓を抜いてからあたためます。
- 2本以上の場合はテーブルプレートの中央に寄せて置きます。
- 「1 おかず・ごはん」では熱くなり過ぎます
- むるかったときは「レンジ600W」であたため加減を見ながら加熱します。(→P.38,39)

オート 6 フライあたため



メニュー選択ボタン	使用付属品
	給水タンク 空
加熱時間の目安 (200g) 約12分 黒血 上段	

【ひとくちメモ】

- 「6 フライあたため」のコツ(→P.32)

ゆで物

応用 39 ほうれん草のおひたし



メニュー選択ボタン	使用付属品
	給水タンク 空
加熱時間の目安 加熱 約3分 黒血は使用できません	

材料	4人分
ほうれん草	200g
糸がつつお、しょうゆ	各適量

作りかた

- ① ほうれん草は洗って水けを切らずに、根元の太い物は十文字に切り込みを入れる。
- ② 葉先と根元を交互にしてラップでぴったりと包む。
- ③ ②をテーブルプレートの中央に置き「解凍・下ゆで」[39 葉・果菜(グラム)]で加熱し、水に取ってアク抜きと色止めをする。器に盛り、糸がつつおをのせ、しょうゆを添える。

「39 葉・果菜(グラム)の使いかた」(→P.30,31)

ゆで物のコツ

- 料理に合わせた下ごしらえを
葉菜、果菜、花菜類の根の太い物には、十文字の切り目を入れたり、房になっている物は小房に分けます。
根菜類は、同じ大きさに切りそろえたり、なるべく同じ大きさの物を選びます。
- 材料に合ったアク抜きを
ほうれん草などは、加熱後すぐに水に取ります。なすや、カリフラワーなどは、加熱前に薄い塩水や酢水にさらしてアク抜きをします。
- 水けを切らずにラップでぴったり包み、テーブルプレートに直接置いて加熱する
皿などは使いません。
- 加熱が足りなかったときは「レンジ600W」で様子を見ながら加熱します。(→P.38,39)

応用 40 イタリアンサラダ



メニュー選択ボタン	使用付属品
	給水タンク 空
加熱時間の目安 加熱 約8分 黒血は使用できません	

材料	4人分
さやいんげん (ゆでた物、半分に切る)	200g
じゃがいも	大2個(約400g)
サラミソーセージ(薄切り)	12枚
プロセスチーズ(1cm角切り)	60g
スタッフドオリーブ(薄切り)	12個
アンチョビ(みじん切り)	8枚
玉ねぎ(みじん切り)	1/2個(約50g)
パセリ(みじん切り)	大さじ1
レモン汁	大さじ1
こしょう	少々
オリーブ油	カップ1/2
レモン(くし形切り)	適量

作りかた

- ① じゃがいもは、きれいに洗い、水けを切らずに、皮ごとラップでぴったりと包む。
- ② ①をテーブルプレートの中央に置き「解凍・下ゆで」[40 根菜(グラム)]で加熱し、熱いうちに皮をむき、厚さ1cmの半月切りにする。
- ③ ボウルに②を合わせて入れ、かき混ぜながらオリーブ油を加えてドレッシングを作る。
- ④ 材料すべてを③のドレッシングであえて皿に盛り、レモンを飾る。

「40 根菜(グラム)の使いかた」(→P.30,31)

10分メニュー

オート 33 あさりの酒蒸し



メニュー選択ボタン	使用付属品
10分メニュー	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒血は使用できません
加熱 約6分	

材料	2人分
あさり(殻つき)	約 300g
酒	カップ $\frac{1}{4}$
バター	小さじ 1
パセリ(みじん切り)	少々

作りかた

- あさは3%の食塩水(分量外)に3時間から半日、暗く涼しい場所において、砂をはかせます。
- 殻と殻をこすり合わせてよく洗い、深めの皿の上に並べ、酒をかけてバターを散らし、かるくラップをする。
- ②をテーブルプレートの中央に置き10分メニュー[33 あさりの酒蒸し]で加熱する。
- 加熱後、パセリをふる。

【ひとくちメモ】

- 砂をはかせるときの水の量はあさが半分つかる程度にします。あさが呼吸して水を飛ばすことがあるので、アルミホイルがボウルをかぶせておきます。
- あさりの酒蒸しは1人分も作ることができます。10分メニュー[33あさりの酒蒸し]【少人数】で加熱してください。

オート 34 簡単肉じゃが



メニュー選択ボタン	使用付属品
10分メニュー	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒血は使用できません
加熱 約10分	

材料	2人分
牛バラ薄切り肉(ひとくち大に切る)	80g
じゃがいも(3cm角に切る)	100g
④ にんじん(5mmの半月切り)	75g
玉ねぎ(薄切り)	50g
生しいたけ(石づきを取り、4つに切る)	2枚
⑤ めんつゆ(市販の物)	大さじ 2 $\frac{1}{2}$
⑥ みりん	小さじ 1
水	大さじ 1 $\frac{1}{2}$

作りかた

- 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに④を入れ、合わせた⑤を加える。
- オープンシートで落としがた(簡単肉じゃがのコツ参照)をし、かるくラップをしてテーブルプレートの中央に置き10分メニュー[34 簡単肉じゃが]で加熱する。
- 加熱後、取り出してかるくかき混ぜてから約10分おき、味をしみ込ませる。

【ひとくちメモ】

- 簡単肉じゃがは1人分も作ることができます。10分メニュー[34簡単肉じゃが]【少人数】で加熱してください。

オート 35 肉豆腐



メニュー選択ボタン	使用付属品
10分メニュー	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒血は使用できません
加熱 約10分	

材料	3人分
牛バラ薄切り肉	200g
木綿豆腐(約200g)	$\frac{3}{4}$ 丁
長ねぎ	70g
えのきだけ	100g
糸こんにゃく(白色の物)	100g
④ 砂糖	大さじ 2
④ しょうゆ	大さじ 3
④ 酒	大さじ 1
だし汁	カップ $\frac{1}{2}$

作りかた

- 豆腐は水切りをして9等分する。
- えのきだけは石づきを切ってほぐし、長ねぎは5mm幅のナナメ切りにする。
- 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに牛肉と糸こんにゃくを離して材料をすべて並べ、合わせた④をかける。
- ③にオープンシートで落としがた(肉豆腐のコツ参照)をし、かるくラップをしてテーブルプレートの中央に置き10分メニュー[35肉豆腐]で加熱する。加熱後、かき混ぜる。

【ひとくちメモ】

- 肉豆腐は2人分も作ることができます。10分メニュー[35肉豆腐]【少人数】で加熱してください。

あさりの酒蒸し、簡単肉じゃが、肉豆腐、きんぴらごぼうのコツ

- 1回に作れる分量はあさりの酒蒸し、簡単肉じゃがは1~2人分、肉豆腐、きんぴらごぼうは2~3人分です。
- 表示以外の分量は10分以内の加熱で作るレシピのためうまく加熱されません。食品を容器に入れてかるくラップし[レンジ]500Wで様子を見ながら加熱します。[P.38, 39]
- 容器は直径約25cm(内径約22.5cm)、深さ約10cmの広口耐熱ガラスボウルが適しています。
- 材料は大きさをなるべくそろえて均一に加熱されるようにします。
- 落としがたをする煮汁が全体にゆきわたるようにします。落としがたは、オープンシートを容器の大きさよりひとまわり小さく丸形に切り、十文字の切り目を入れた物を使います。
- 加熱が足りなかったときは[レンジ]500Wで様子を見ながら加熱します。[P.38, 39]



焼き物

オート 29 ハンバーグ



メニュー選択ボタン	使用付属品
過熱水蒸気	給水タンク 満水
加熱時間の目安	黒血 上段
加熱 約27分	(下ごしらえ)では黒血は使用できません

材料	4人分(4個)
④ 玉ねぎ(みじん切り)	中 $\frac{1}{2}$ 個(約100g)
④ バター	15g
合びき肉	300g
パン粉	カップ $\frac{3}{4}$ (約30g)
⑥ 牛乳	大さじ 3
卵(溶きほぐす)	1個
塩	小さじ $\frac{1}{2}$ 弱
こしょう、ナツメグ	各少々
トマトケチャップ、ウスターソース	各適量

作りかた

- 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- 耐熱容器に④を入れ[レンジ]600W[約2分30秒]で加熱する。
- あら熱を取り、⑥を加えてよく混ぜ、4等分する。
- 手にサラダ油(分量外)をつけ、③を片手に数回たたきつけて空気を抜き、厚さ1.5~2cmの小判形にして中央をくぼませる。
- 黒血にアルミホイルを敷いて④をハンバーグのコツの並べかたを参照して並べ、上段に入れ[過熱水蒸気]29ハンバーグで加熱する。
- 加熱後、皿に盛り、トマトケチャップとウスターソースをよく混ぜ合わせてかける。

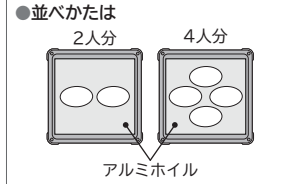
「レンジ加熱の使いかた」[P.38, 39]

【ひとくちメモ】

- ハンバーグは2人分も作ることができます。[過熱水蒸気]29ハンバーグ【少人数】で加熱してください。

ハンバーグのコツ

- 1回に焼ける分量は2~4人分です。
- 生地作りかたはねらないようによくかき混ぜ、空気を抜いてから形を作って加熱すると、柔らかくふっくらと仕上がります。
- 形を作るときは生地の中央をくぼませると火の通りを良くし、焼き上がりの中央のふくれを防ぎます。厚さは1.5~2cmにします。



- 焼きが足りなかったときは「グリル」で様子を見ながら焼きまします。[P.41]
- 生地作りにクッキングカッターやプロミキサーを使って作る時はそれぞれの取扱説明書を参照します。

お願い

- 調理後の加熱室の油污や臭いが気になる時は[脱臭]で加熱してください。[P.49]
- 臭いが気になる時は、換気扇を回してください
- ドアの周りから蒸気や煙が出る場合がありますが、故障ではありません

注意

黒血の出し入れは、やけどのおそれがあるので、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋を使う

応用 29 **ビーハンバーグ**



仕上げ調節 弱
加熱時間の目安 約 23 分

材料

ハンバーグ(4人分)の材料を参照し、
合びき肉を牛ひき肉にかえる。

作りかた

ハンバーグ(4人分)を参照して
[過熱水蒸気][29 ハンバーグ]仕上げで
調節弱で加熱する。

「レンジ加熱の使いかた」(→P.38,39)

応用 29 **ピーマンの肉詰め**



仕上げ調節 強
加熱時間の目安 約 30 分

材料 4人分(12個)

ピーマン	6 個
玉ねぎ(みじん切り)	約 130g
バター	小さじ1(約12g)
豚ひき肉 (または合びき肉)	260g
パン粉	20g
卵(溶きほぐす)	1 個
塩	小さじ1/2
こしょう	少々
小麦粉(薄力粉)	適量

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② 耐熱容器に④を入れ[レンジ][600W][約1分50秒]で加熱して、あら熱を取る。
- ③ ピーマンはへたを残したままタテ2つ割りにして種を除いて洗い、水けを切って内側に小麦粉をふる。
- ④ ポウルに②と③を入れ、よく混ぜ合わせて12等分し、③に詰める。
- ⑤ 黒血にアルミホイルを敷いて④を並べ、上段に入れ[過熱水蒸気][29 ハンバーグ]仕上げ調節強で加熱する。

「レンジ加熱の使いかた」(→P.38,39)

オート 30 **ローストビーフ**



メニュー選択ボタン 使用付属品

過熱水蒸気 給水タンク 満水

加熱時間の目安 黒血 下段

加熱 約52分

材料 4人分

牛もも肉(かたまり)	約800g
塩、こしょう	各少々
にんにく(すりおろす)	1 片
サラダ油	小さじ1
にんじん(輪切り、1cm幅に切る)	50g
玉ねぎ(輪切り、1cm幅に切る)	50g
セロリ(葉を取り除き、4~5cm幅に切る)	50g

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② 牛肉に塩、こしょうをし、にんにくをすり込み、木綿製のたこ糸でしばって形を整え、木綿製のたこ糸でしばって形を整え、サラダ油を全体に塗る。
- ③ 黒血にサラダ油(分量外)を塗り、中央に寄せて野菜を並べ、上に②をのせる。
- ④ ③を下段に入れ[過熱水蒸気][30 ローストビーフ]で加熱する。
- ⑤ 加熱後、十分冷ましてからたこ糸を取って薄く切り、好みの野菜(分量外)とともに器に盛り、グレービーソースを添える。

【ひとくちメモ】

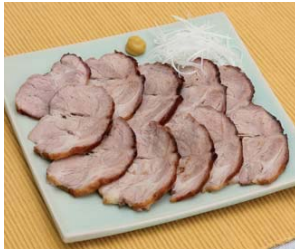
- ローストビーフは2人分も作ることができます。[過熱水蒸気][30 ローストビーフ][少人数]で加熱してください。
- 加熱する野菜は、グレービーソースを作るための野菜です。食べられません。
- 冷蔵庫で十分に冷やしてから切りやすく、うま味もそのまま保てます。
- 黒血の汚れが気になるときは、アルミホイルまたはオープンシートを敷きます。

グレービーソース

材料・作りかた

ローストビーフの加熱後、黒血に残った野菜と焦げた部分に水(カップ1)を加え、木べらなどでこそげ取り、すべて鍋に入れて固形スープの素(1/2個)といっしょに5~6分煮つめる。加熱後、ふきんでこし、塩、こしょうをして作る。

手動 **焼き豚**



メニュー選択ボタン 使用付属品

オープン(発酵) 給水タンク 空

加熱 予熱なし 180℃ 60~70分

黒血 下段

材料 4人分

豚肩ロース肉(かたまり)	500g
しょうが(みじん切り)	1 かけ
長ねぎ(みじん切り)	30g
しょうゆ、酒	各大さじ4
砂糖、赤みそ	各大さじ2

作りかた

- ① 豚肉は木綿製のたこ糸でしばって形を整え、④と一緒にポリ袋(市販)に入れ、冷蔵庫で半日以上おく。
- ② 汁けを切った①をアルミホイルまたはオープンシートを敷いた黒血の中央にのせ、下段に入れ[オープン][予熱なし][180℃][60~70分]で加熱する。
- ③ 加熱後、たこ糸を取って薄く切り、器に盛りつける。

「オープン(予熱なし)加熱の使いかた」(→P.42)

お願い

- 調理後の加熱室の油汚れや臭いが気になるときは[脱臭]で加熱してください(→P.49)
- 臭いが気になるときは、換気扇を回してください
- ドアの周りから蒸気や煙が出る場合がありますが、故障ではありません

手動 **スペアリブ**



メニュー選択ボタン 使用付属品

オープン(発酵) 給水タンク 空

加熱 予熱なし 200℃ 30~35分

黒血 下段

材料 4人分(6~8本)

スペアリブ	約 800g
塩、こしょう	各少々
トマトケチャップ	小さじ2
ウスターソース	大さじ1
赤ワイン	大さじ3
しょうゆ	大さじ1
豆板醤	小さじ1/4
にんにく(すりおろす)	1/2片
塩	小さじ1/4
こしょう、ナツメグ	各少々

作りかた

- ① スペアリブは骨にそって約1/2ほど切り込みを入れ、塩、こしょうをし、合わせた④につけ、ときどき返しながらか冷蔵庫で半日以上おく。
- ② 黒血の中央に、①の骨側を上にして寄せて並べ、下段に入れ[オープン][予熱なし][200℃][30~35分]で加熱する。

「オープン(予熱なし)加熱の使いかた」(→P.42)

【ひとくちメモ】

- 黒血の汚れが気になるときは、アルミホイルまたはオープンシートを敷きます。

オート 31 **鶏のハーブ焼き**



メニュー選択ボタン 使用付属品

過熱水蒸気 給水タンク 満水

加熱時間の目安 黒血 上段

加熱 約26分

材料 4人分

鶏むね肉またはもも肉(皮つき、1枚約250gの物)	2 枚
塩、こしょう	各少々
タイム、ローズマリー、マジョラムなどのハーブ(生または乾燥品)	各少々

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② 鶏肉は、皮にフォークなどで穴を開け、厚みのあるところには切り目を入れて④をまぶす。
- ③ ②の皮を上にして黒血の中央に寄せて並べ、上段に入れ[過熱水蒸気][31 鶏のハーブ焼き]で加熱する。

【ひとくちメモ】

- 鶏のハーブ焼きは2人分も作ることができます。[過熱水蒸気][31 鶏のハーブ焼き][少人数]で加熱してください。

鶏のハーブ焼きのコツ

- 1回に焼ける分量は2~4人分です。
- 黒血の汚れが気になるときはアルミホイルまたはオープンシートを敷きます。
- 加熱後、黒血を取り出すときは傾けないようにしてください。脂や焼き汁がこぼれる場合があります。
- 焼きが足りなかったときは[グリル]で様子を見ながら焼きます。(→P.41)

手動 **チキンソテー**



メニュー選択ボタン 使用付属品

オープン(発酵) 給水タンク 空

加熱 予熱なし 210℃ 23~28分

黒血 上段

材料 4人分

鶏もも肉(皮つき、1枚約250gの物)	2 枚
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	適量

作りかた

- ① 鶏肉は皮にフォークなどで穴をあけ、肉の厚い部分にかくし包丁を入れ、塩、こしょうをして5~10分おき、小麦粉をかるくまぶす。
- ② ①の皮を上にして黒血に並べ、上段に入れ[オープン][予熱なし][210℃][23~28分]で加熱する。

「オープン(予熱なし)加熱の使いかた」(→P.42)

【ひとくちメモ】

- 黒血の汚れが気になるときは、アルミホイルまたはオープンシートを敷きます。

手動 焼きとり



メニュー選択ボタン	使用付属品
グリル	給水タンク 空
グリル 17~22分 裏返して 6~11分	黒血 上段

材料	4人分(12本)
鶏もも肉 (皮つき、1枚約250gの物、ひとくち大に切る)	2枚
長ねぎ (3~4cm長さに切る)	2本
ししとうがらし (ハたと種を取る)	12本
しょうゆ	カップ1/2
みりん	カップ1/4
砂糖	大さじ2~3
サラダ油	大さじ1

- ### 作りかた
- ① 合わせた④の中に鶏肉と長ねぎをつけ込み、ときどき返しながら30分~1時間おいて、鶏肉と野菜を交互に竹ぐしに刺しておく。
 - ② ①を黒血に並べ、上段に入れグリル[17~22分]で加熱し、裏返してグリル[6~11分]で加熱する。

「グリル加熱の使いかた」→P.41

【ひとくちメモ】

- 黒血の汚れが気になるときは、アルミホイルまたはオープンシートを敷きます。

手動 バーベキュー



メニュー選択ボタン	使用付属品
グリル	給水タンク 空
グリル 20~25分 裏返して 7~12分	黒血 上段 (下ごしらえ)では黒血は使用できません

材料	4人分(4本)
牛ロース肉(3cmの角切り)	100g
えび(殻つき)	2尾
いか(ひとくち大に切る)	50g
ほたて	2個
にんじん	小1/2本
(ひとくち大に切る)	(約50g)
玉ねぎ(くし形切り)	1/2個
ピーマン(半分に切る)	2個
なす(輪切りにして、塩水につける)	1個
生しいたけ	4枚
赤パプリカ、黄パプリカ (ひとくち大に切る)	各1/4個
塩、こしょう	各少々

- ### 作りかた
- ① 牛肉は、かるく塩、こしょうをする。にんじんはレンジ[500W]約50秒で加熱する。
 - ② えびは尾を一節を残して殻をむき、背わたを取る。
 - ③ 材料を竹ぐしに刺し、全体に塩、こしょうをする。
 - ④ ③を黒血に並べ、上段に入れグリル[20~25分]で加熱し、裏返してグリル[7~12分]で加熱する。

「レンジ加熱の使いかた」→P.38, 39

「グリル加熱の使いかた」→P.41

【ひとくちメモ】

- 黒血の汚れが気になるときは、アルミホイルまたはオープンシートを敷きます。

オート 32 塩ざけ



メニュー選択ボタン	使用付属品
過熱水蒸気	給水タンク 満水
加熱時間の目安 加熱 約25分	黒血 上段

材料	4人分
塩ざけの切り身 (1切れ約80gの物)	4切れ

- ### 作りかた
- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
 - ② 黒血にアルミホイルを敷いて塩ざけを盛りつけたとき上になる方を上にして、塩ざけのコツの並べかたを参照し、黒血の中央に寄せて並べる。
 - ③ ②を上段に入れ過熱水蒸気[32塩ざけ]で加熱する。

【ひとくちメモ】

- 塩ざけは2人分も作ることができます。過熱水蒸気[32塩ざけ]少人数で加熱してください。

塩ざけのコツ

- 1回に焼ける分量は切り身は2~4人分まで焼けます。
- 切り身(1切れ)が70g以下のときはグリルで様子を見ながら焼きます。→P.41
- 並べかたは黒血の中央に寄せて並べます。

アルミホイル

- 加熱直後にドアを開けるときは油の飛び散りなどに注意し、静かに開けてください。
- 焼き色は魚に含まれる脂の量や魚の温度、塩のふりかたによってかわります。仕上がり調節で焼き加減を調節します。
- 加熱が足りなかったときはグリルで様子を見ながら加熱します。→P.41

応用 32 生ざけの塩焼き

材料
生ざけ(1切れ約80gの物・4切れ)に塩(小さじ1/4)をふる。

作りかた
塩ざけの作りかたを参照し過熱水蒸気[32塩ざけ]で加熱する。

応用 32 さばのごま焼き



仕上がり調節 弱
加熱時間の目安 約18分

材料	4人分
生さばの切り身 (1切れ約100gの物)	4切れ
しょうゆ	大さじ2
酒	大さじ1
砂糖	大さじ1/2
しょうが汁	小さじ1
白ごま(あらきざむ)	適量

- ### 作りかた
- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
 - ② 生さばは水けをふき取り、合わせた④に15分以上つけて下味をつける。
 - ③ ②の汁けをかるく切り、白ごまを全体にまぶし、黒血にアルミホイルを敷いて盛りつけたとき上になる方を上にして、塩ざけのコツの並べかたを参照し、黒血の中央に寄せて並べる。
 - ④ ③を上段に入れ過熱水蒸気[32塩ざけ]仕上がり調節弱で加熱する。

応用 32 あじのみりん風味



仕上がり調節 弱
加熱時間の目安 約18分

材料	4人分
あじ(3枚におろし、1枚約55gの物)	8枚(約440g)
しょうゆ	大さじ2
砂糖	大さじ2 1/2
酒	大さじ1
みりん	カップ1/4
白ごま	適量

- ### 作りかた
- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
 - ② あじは、合わせた④に30分~1時間つけて下味をつける。
 - ③ ②の汁けをキッチンペーパーでふき取り、白ごまをまぶし、黒血にアルミホイルを敷いて盛りつけたとき上になる方を上にして、塩ざけのコツの並べかたを参照し、黒血の中央に寄せて並べる。
 - ④ ③を上段に入れ過熱水蒸気[32塩ざけ]仕上がり調節弱で加熱する。

応用 32 ぶりの照り焼き



仕上がり調節 弱
加熱時間の目安 約18分

材料	4人分
ぶりの切り身 (1切れ約100gの物)	4切れ
しょうゆ	カップ1/4
みりん	カップ1/4

- ### 作りかた
- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
 - ② ぶりの水けをふき取り、合わせた④に30分~1時間つける。
 - ③ ②の汁けをかるく切り、黒血にアルミホイルを敷いて盛りつけたとき上になる方を上にして、塩ざけのコツの並べかたを参照し、黒血の中央に寄せて並べる。
 - ④ ③を上段に入れ過熱水蒸気[32塩ざけ]仕上がり調節弱で加熱する。

手動 さけのムニエル



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン(発酵)	給水タンク 空
オープン 予熱なし 200℃ 21~26分	黒血 上段

材料	4人分
生ざけの切り身 (1切れ約100gの物)	4切れ
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	大さじ3
バター(加熱して溶かす レンジ[200W]約2分 →P.38, 39)	20g
タルタルソース(→P.73) (チキン南蛮 作りかた③参照)	適量

- ### 作りかた
- ① さけは、全体に塩、こしょうをして小麦粉をふり、余分な小麦粉をはたいて落とす。
 - ② オープンシートを敷いた黒血に①を並べ、全体に溶かしバターをふりかけて、上段に入れオープン[予熱なし|200℃|21~26分]で加熱する。加熱後、皿に盛りタルタルソースを添える。

「レンジ加熱の使いかた」→P.38, 39

「オープン(予熱なし)加熱の使いかた」→P.42

手動 **さけのホイル焼き**



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン (予熱)	黒皿 下段
オープン 予熱なし 200℃ 28~35分	給水タンク 空

材料	4人分(4個)
生さけの切り身 (1切れ 約80gの物)	4切れ
塩、こしょう、レモン汁	各少々
玉ねぎ (薄切り)	1個 (約200g)
大正えび (尾と一節を残して殻をむき、背わたを取る)	4尾
生しいたけ(石づきを取る)	4枚
レモン (薄切り)	4枚
バター (5mm角に切る)	40g

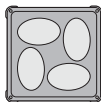
作りかた

- さけは、かるく塩、こしょうをしてレモン汁をふりかけておく。
- 25×25cmの大きさに切ったアルミホイル4枚に薄くバター(分量外)を塗る。
- ②に玉ねぎを4等分してのせ、①、えび、しいたけをそれぞれ入れ、塩、こしょうをしてレモン汁をふり、上にレモンをのせ、バターを散らす。アルミホイルの口を閉じ、ホイル焼きの並べかたを参照し、黒皿に並べる。
- ③を下段に入れ**オープン**予熱なし|200℃|28~35分|で加熱する。

「オープン(予熱なし)加熱の使いかた」
→P.42

【ひとくちメモ】

- ホイル焼きの並べかたは



オート **17 焼きいも**



メニュー選択ボタン	使用付属品
デリリー	黒皿 下段
加熱時間の目安 加熱 約59分	給水タンク 空

材料	4人分
さつまいも (1本約250gの物)	4本

作りかた

- さつまいもは皮にフォークで穴をあけるか包丁で切り目を入れてから黒皿に並べて、下段に入れ**デリリー**|17 焼きいも|で加熱する。
- 竹くしを刺してみて、通ればでき上がり。

【ひとくちメモ】

- 焼きいもは2人分も作ることができます。**デリリー**|17 焼きいも|**【少人数】**で加熱してください。

焼きいものコツ

- 1回に焼ける分量は2~4人分です。
- さつまいもの太さは直径4~5cmの物が適しています。それ以上太い場合は1本を2等分するか、3等分して短くしてから加熱します。細いさつまいも(180g以下の物)や小さいさつまいも(130g以下の物)は、仕上がり調節^⑧で加熱します。
- 加熱が足りなかったときは**オープン**予熱なし|210℃|で様子を見ながら加熱します。→P.42

応用 **17 バークドポテト**



材料	4人分
じゃがいも (1個約150gの物)	4個

作りかた

- 黒皿に、じゃがいもを並べて、下段に入れ**デリリー**|17 焼きいも|で加熱する。
- 竹くしを刺してみて、通ればでき上がり。

オート **15 マカロニグラタン**



メニュー選択ボタン	使用付属品
デリリー	黒皿 上段
加熱時間の目安 加熱 約23分	給水タンク 空

材料	4人分
マカロニ	80g
鶏もも肉 (1cm角切り)	100g
大正えび (尾と殻を取り、背わたを取って半分に切る)	8尾 (約100g)
④ 玉ねぎ (薄切り)	中1/2個 (約100g)
マッシュルーム (缶詰、薄切り)	小1缶 (約50g)
バター	25g
塩、こしょう	各少々
ホワイトソース(→P.68)	カップ3
ナチュラルチーズ(細かくきざんだ物または粉チーズを適量)	80g

作りかた

- マカロニは、ゆでてザルに上げ、サラダ油(分量外)をまぶす。
- 深めの耐熱容器に④を入れ**レンジ**|600W|約5分20秒|で加熱し、マカロニと合わせる。
- ②にホワイトソースの半量を加えてあえる。
- バター(分量外)を塗ったグラタン皿に③を分け入れ、残りのホワイトソースを全体にかけて、上にチーズを散らす。
- 黒皿に④をグラタンのコツの置きかたを参照して並べ、上段に入れ**デリリー**|15 マカロニグラタン|で加熱する。

「レンジ加熱の使いかた」(→P.38,39)

【ひとくちメモ】

- マカロニグラタンは1~2人分も作ることができます。**デリリー**|15 マカロニグラタン|**【少人数】**で加熱してください。

グラタンのコツ

- 1回に焼ける分量は1~4人分まで焼けます。また数人分を大きな皿にまとめて焼くこともできます。
- 容器は耐熱の陶器・磁器か耐熱ガラスのグラタン皿を使ってください。
- 焼くときの皿の置きかたは黒皿にグラタン皿を図の様に並べ、上段に入れます。



4皿がナナメに入らないときはこのように並べます。

- 黒皿の傷が気になるときはオープンシートを敷きます。
- 焼く前に冷めてしまったら具やソースがあたかいうちに焼きます。焼く前に冷めてしまったら**レンジ**|500W|で人肌くらい(約40℃)にあたためてから焼きます。(→P.38,39)
- 具の状態によって焼き色が違うホワイトソースのかたさやチーズの種類、食品メーカーによって、焼き色が異なります。
- 加熱が足りなかったときは**オープン**予熱なし|190℃|で様子を見ながらさらに焼きます。(→P.42)
- 焼きむらがあるときは残り時間3~5分で黒皿の前後を入れかえてさらに加熱します。
- 冷凍グラタンは**15 マカロニグラタン**では焼けません市販の冷凍グラタンを参照して様子を見ながら加熱します。

手動 **市販の冷凍グラタン**

市販の冷凍グラタン(1個・約240g)は、手動調理で焼きます。アルミケース皿のまま(1~4皿まで)、黒皿に下図のように並べて、上段に入れ**オープン**予熱なし|210℃|30~35分|で加熱する。

- アルミケース皿のふちを折り上げて焼くと、ふきこぼれが防げます。



4皿がナナメに入らないときはこのように並べます。

- レンジ用のプラスチック製の容器の物は焼けません。(容器の変形の原因になります)

「オープン(予熱なし)加熱の使いかた」(→P.42)

注意

具によっては飛び散ることがあるので注意する
えびやいかを使うときは表面に切り目を入れ、マッシュルームは切った物を使ってください

応用 15 えびのドリア



材料 (直径21cmの焼き皿1皿分)

むきえび(背わたを取る)	150g
④ 玉ねぎ(みじん切り)	1/2個 (約70g)
生しいたけ(薄切り)	3枚
バター	20g
ホワイトソース (作りかたは下記参照)	カップ1
冷やごはん	300g
バター	10g
ナチュラルチーズ (細かくぎざんだ物または 粉チーズを適量)	80g

作りかた

- 深めの耐熱容器に④を入れて混ぜ
[レンジ|600W|約4分]で加熱し、ホ
ワイトソースであえる。
- 大きめの耐熱容器にバターを入れ
[レンジ|200W|約1分]で加熱し、
溶かす。
- ②に、ごはんを入れてかき混ぜ、か
るく塩、こしょう(分量外)をし
て[レンジ|600W|約1分30秒]
で加熱する。
- バター(分量外)を塗った焼き皿に
③を入れ、①をのせ、上にチーズを
散らす。
- 黒血の中央に④をのせ、上段に入れ
[デイリ-|15 マカロニグラタン]で加
熱する。

「レンジ加熱の使いかた」 (P.38,39)

応用 15 ラザニア



材料 (20×20×5cmの焼き皿1皿分)

ラザニア(乾めん)	6枚 (約100g)
ミートソース(缶詰)	1缶 (約300g)
ホワイトソース (作りかたは下記参照)	カップ3
ナチュラルチーズ (細かくぎざんだ物ま たは粉チーズを適量)	120g

作りかた

- 大きめの鍋でラザニアをかためにゆ
で、水に取って冷まし、水けを切る。
- バター(分量外)を塗った焼き皿にホ
ワイトソース、①、ミートソースの順
に3〜4段に重ね、チーズを散らす。
- 黒血の中央に②をのせ、上段に入れ
[デイリ-|15 マカロニグラタン]で加
熱する。

手動 パーコンと玉ねぎのキッシュ



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン (詳細) 予熱なし 210℃ 23〜28分	給水タンク 空

材料 (直径21cmの焼き皿1皿分)

パーコン(1cm幅の細切り)	80g
玉ねぎ(薄切り)	1/2個 (約100g)
にんにく(みじん切り)	1片
バター	大さじ1 (約12g)
塩、こしょう	各少々
卵(溶きほぐす)	2個
牛乳	130mL
植物性生クリーム	70mL
④ スープ(固形スープの 素1/4個を溶く)	30mL
塩、こしょう	各少々
ナチュラルチーズ(細かく ぎざんだ物または粉チーズ)	60g

作りかた

- フライパンにバターを熱し、にんにく
をいため、パーコンと玉ねぎを加えて
さらにいため、塩、こしょうをする。
- ポウルに卵と合わせた④を入れてよ
くかき混ぜ、裏ごしする。
- ②に①とチーズを量を加えて混ぜ、
薄くバター(分量外)を塗った焼き
皿に流し入れ、上に残りのチーズを
散らし、黒血の中央にのせ、下段
に入れ[オープン|予熱なし|210℃
23〜28分]で焼く。

「オープン(予熱なし)加熱の使いかた」

(P.42)

いため物

オート 16 焼きそば



メニュー選択ボタン	使用付属品
デイリ-	給水タンク 空

加熱時間の目安	材料	2人分
加熱 約10分	焼きそば用めん (ソースつき、1袋150gの物)	2袋
	野菜ミックス 豚薄切り肉(ひとくち大に切る)	250g 50g
	塩、こしょう	各少々

作りかた

- 深めの皿に豚肉、野菜ミックスの
半量、めん順に入れ、ソース、
塩、こしょうをかけ、残りの野菜
をのせてかるくラップをする。
- ①をテーブルプレートの中央に置き
[デイリ-|16 焼きそば]で加熱し、か
き混ぜる。

【ひとくちメモ】

●焼きそばは1人分も作ることができま
す。[デイリ-|16 焼きそば] [少人数]で加
熱してください。

応用 16 チンジャオロウスー (牛肉とビーマンの細切りいため)



材料	4人分
牛もも肉(細切り)	300g
塩、こしょう	各少々
片栗粉	小さじ2
ビーマン(種を取り、タテ に細切り)	8個 (約240g)
たけのこ水煮(細切り)	100g
しょうゆ	小さじ2
オイスターソース	小さじ2
酒	大さじ2
砂糖	小さじ2
鶏がらスープの素(顆粒)	小さじ2
片栗粉	小さじ2

作りかた

- 牛肉に、かるく塩、こしょうをし、
片栗粉をふり、よくまぶしておく。
- ポリ袋(市販)に①と④、合わせた
③を入れて混ぜ合わせる。
- 深めの皿にポリ袋から取り出した②
を広げてのせ、かるくラップをする。
- ③をテーブルプレートの中央に置き
[デイリ-|16 焼きそば]で加熱し、か
き混ぜる。

焼きそばのコツ

- 1回に作れる分量は
1〜2人分です。
- 容器は
少し深めの陶磁器や耐熱皿を使いま
す。
- ラップは
耐熱温度が140℃以上の物を使います。
- 加熱が足りなかったときは
[レンジ|500W]で様子を見ながら加熱
します。(P.38,39)

応用 16 ゴーヤーチャンプルー



仕上げ調節

材料	3人分
ゴーヤー	1本(約200g)
卵	1個
木綿豆腐	150g
豚バラ薄切り肉 (ひとくち大に切る)	50g
赤パプリカ(種を取り、 タテに細切り)	50g
しょうゆ	小さじ1
塩	小さじ1/2
酒	大さじ1
砂糖、鶏がらスープの素 (顆粒)	各小さじ1
片栗粉	小さじ1/2

作りかた

- ゴーヤーはタテ半分になり、種とワ
タを取り除き、3mm幅の薄切りに
してかるく塩(分量外)をふり、も
み込んで約10分なじませてから水
で洗ってかるくしぼり、水けを取る。
- 卵は耐熱コップに割り入れ、箸でよく
かき混ぜ[レンジ|500W|約1分]で
加熱し、いり卵しておく。
- 豆腐は水切りをする。
- 深めの皿に①と手でくずした③、豚
肉、赤パプリカ、合わせた④を入れ
て混ぜ、かるくラップをする。
- ④をテーブルプレートの中央に置き
[デイリ-|16 焼きそば]仕上げ調節
で加熱する。
- 加熱後、②を加えてかき混ぜる。

「レンジ加熱の使いかた」 (P.38,39)

手動 ホワイトソース

作りかた

- 深めの耐熱容器に小麦粉とバター
を入れて[レンジ|600W]で加熱して泡立
て器でよく混ぜる。
- 牛乳を少しずつ加えながらのばし
[レンジ|600W]で途中かき混ぜながら
加熱する。
- 加熱後、②に塩、こしょうをし、
かき混ぜる。

分量	カップ 3/4	カップ1	カップ1 1/2	カップ2	カップ3	材料
小麦粉(薄力粉)	15g	20g	25g	30g	40g	作りかた①
バター	23g	30g	35g	40g	50g	
塩、こしょう	各少々	各少々	各少々	各少々	各少々	
小麦粉、 バターを加熱 [レンジ 600W]	約40秒	約1分10秒	約1分20秒	約1分40秒	約2分10秒	作りかた②
牛乳を加えて 加熱 [レンジ 600W]	1〜2分	2〜4分	4〜5分	5〜7分	9〜11分	

蒸し物

応用 16 ホイコウロウ (豚肉とキャベツの辛みそいため)



材料	4人分
豚ロース薄切り肉(ひとくち大に切る)	200g
塩、こしょう	各少々
片栗粉	小さじ2
キャベツ(ひとくち大に切る)	200g
にんじん(薄切り)	100g
ピーマン(種を取り、乱切り)	4個(約120g)
長ねぎ(5mm幅のナメ切り)	100g
みそ	大さじ2
酒	大さじ4
砂糖	小さじ2
豆板醤	小さじ1
片栗粉	小さじ1

作りかた

- 豚肉に、かるく塩、こしょうをし、片栗粉をふり、よくまぶしておく。深めの皿に、キャベツの1/2量を広げてのせる。
- ポリ袋(市販)に①の豚肉と残りのキャベツ、④と合わせた⑤を入れ混ぜ合わせる。
- ①のキャベツの上に、ポリ袋から取り出した②を広げてのせ、かるくラップをする。
- ③をテーブルプレートの中央に置き「[デイリー](#)」16 焼きそば」で加熱し、かき混ぜる。

【ひとくちメモ】
●切った野菜は、しっかり水切りしておくとういでしょう。

オート 13 茶わん蒸し



メニュー選択ボタン	使用付属品
デイリー	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒血 下段
加熱 約45分	(下ごしらえ)では黒血は使用できません

材料	4人分
卵	2個(約100g)
だし汁	350~400mL
しょうゆ、塩、みりん	各小さじ1/2
鶏もも肉(そぎ切り)	約40g
酒	少々
えび(殻つき)	小4尾(約40g)
かまぼこ(薄切り)	8枚
干しいたけ(戻して右つきを取り、そぎ切り)	2枚(8切れ)
ゆでぎんなん	8個
三つ葉	適量

作りかた

- ボウルに卵を割り入れてよく溶きほぐし、④を加えて混ぜ、裏ごしする。
- 鶏肉は酒をふりかけておく。えびは尾と一節を残して殻をむき、背わたを取る。
- 深めの耐熱容器に②を入れてラップまたはふたをして「[レンジ](#)」200W [2~3分]で加熱する。
- 茶わん蒸し容器に③を入れ、三つ葉以外の具を盛り込み、①を4等分して注ぎ入れ、サッとかき混ぜ、共ぶたをする。
- 黒血に厚めのキッチンペーパーを2枚重ねにして中央に敷き、水カップ1/2(約100mL)を注ぎ入れ、その上に④を並べ(茶わん蒸しのコツの容器の置きかたを参照)、下段に入れ「[デイリー](#)」13 茶わん蒸し」で加熱し、加熱後、加熱室から出して三つ葉をのせ、ふたをして約5分ほど蒸らす。

「レンジ加熱の使いかた」[➡P.38,39](#)

【ひとくちメモ】
●茶わん蒸しは2人分も作ることができます。「[デイリー](#)」13 茶わん蒸し」[少人数](#)」で加熱してください。

オート 14 手作り豆腐



メニュー選択ボタン	使用付属品
デイリー	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒血 下段
加熱 約38分	

材料	4人分
豆乳(成分無調整、大豆固形成分10%以上の物)	500mL
にがり	30~40mL
〈あん〉	
だし汁	カップ1/2
みりん	小さじ1/2
しょうゆ	小さじ1
塩	少々
片栗粉	小さじ1
水	5mL
しょうが(すりおろす)	適量
あさつき(小口切り)	適量

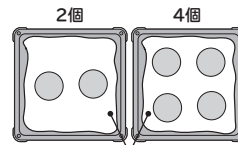
作りかた

- ボウルに豆乳とにがりを入れよく混ぜる。
- 茶わん蒸し容器に①を4等分して注ぎ入れ、共ぶたをする。
- 黒血に厚めのキッチンペーパーを2枚重ねにして中央に敷き、水カップ1/2(約100mL)を注ぎ入れ、その上に②を並べ(茶わん蒸しのコツの容器の置きかたを参照)、下段に入れ「[デイリー](#)」14 手作り豆腐」で加熱する。
- 小さめの鍋にあんの材料④を入れて煮立て、⑤(水溶き片栗粉)を加え、とろみをつける。
- ③に④のあんをかけ、おろししょうが、あさつきをのせる。

【ひとくちメモ】
●でき上がりの豆腐のかたさは、豆乳の温度やにがりの種類、量によってかわります。
●にがりの量は、食品メーカーの指示に従い調節します。
●あんのかわりに、湯豆腐用のたれをかけてもよいでしょう。
●手作り豆腐は2人分も作ることができます。「[デイリー](#)」14 手作り豆腐」[少人数](#)」で加熱してください。

茶わん蒸しのコツ

- 1回に蒸せる分量は2~4人分です。
- 容器は直径が8cmくらいのふたつきの物でふたを含めた重量が約200g前後の物が適しています。
- 加熱する前の卵液の温度は20~25℃にします。低いときは、仕上がり調節を強に、高いときは弱で加熱します。
- 卵液は器の七分目くらいまで
- 茶わん蒸しの容器の置きかたは容器のすべり止めのために、黒血に厚めのキッチンペーパーを2枚重ねにして中央に敷き、水カップ1/2(約100mL)を注ぎ入れ、その上に並べます。



キッチンペーパー

- 加熱室は冷ましてから「[オープン](#)」[フリル](#)」[脱臭](#)」使用後で、加熱室が熱いとうまく仕上がりにません。
- 取り出すときは注意する
容器と黒血は熱くなっています。厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋などを用いて、気をつけて出してください。
- 加熱が足りなかったときは「[オープン](#)」[予熱なし](#)」160℃で、様子を見ながら加熱します。[➡P.42](#)

手動 白身魚の姿蒸し



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン (発酵)	給水タンク 空
オープン 予熱なし 160℃ 40~45分	黒血 下段

材料	1尾分
かれい(1尾約400gの物)	1尾
長ねぎ	1本
しょうが(せん切り)	1かけ
オイスターソース	大さじ1
しょうゆ	大さじ1
紹興酒(または酒)	50mL
片栗粉	小さじ1
塩、こしょう	各少々
鶏がらスープの素(顆粒)	小さじ1
水	カップ3/4
しょうゆ	大さじ1
サラダ油	大さじ2

作りかた

- 魚は、うろこ、内臓、えらを取って水洗いし、厚みのあるところは切り目を入れて、水けを切っておく。
- 長ねぎは白い部分は4~5cmの長さに切る。芯を取り除いてせん切りにし、水にさらして水けを切り白髪ねぎにする。
- 長ねぎの青い部分は4~5cmのナメ切りにする。
- 黒血に30×60cmの大きさに切ったオープンシートを敷き、③を並べ、その上に①を皮を上にして置き、しょうがと②のねぎの芯の部分のをせる。汁気が出ないようにオープンシートの両端をねじり、合わせた④をかけ、口を閉じる。
- ④を下段に入れ「オープン」予熱なし160℃|40~45分|で加熱する。
- 器に盛り②の白髪ねぎをのせ、食べる直前に⑤を小鍋に入れて熱し、上からかける。



「オープン(予熱なし)加熱の使いかた」
→P.42

手動 鶏の簡単蒸し



メニュー選択ボタン	使用付属品
レンジ (発酵)	給水タンク 空
レンジ600W 約10分	黒血は使用できません

材料	2人分
鶏むね肉(皮なし)	1枚(約200g)
塩	少々
酒	大さじ1
しょうが汁	小さじ1
白菜(ひとくち大に切る)	100g

作りかた

- 鶏肉は厚みのあるところに切れ目を入れ、塩をふり、酒としょうが汁をふりかける。
- 深さのある平皿に①を置き、周りに白菜を広げる。ラップをかるくかけ、テーブルプレートの中央に置き「レンジ600W|約10分|で加熱する。
- 加熱終了後、あら熱を取ってから切り分け、お好みでソースをかける。

「レンジ加熱の使いかた」→P.38.39

香味ソース

材料	分量
長ねぎ(あらめのみじん切り)	1/2本分
しょうが(みじん切り)	1かけ
しょうゆ	大さじ3
酢	大さじ3
ごま油	大さじ1/2
ラー油	大さじ1/2

作りかた

容器に材料を入れよく混ぜる。

梅肉ソース

材料	分量
梅干し	5個
だし汁	大さじ1
みりん	大さじ1/2
小ねぎ	適量

作りかた

梅干しは種を取り除き包丁でたたいてペースト状にし、残りの材料とよく混ぜる。

揚げ物(ノンフライ)

オート21 鶏のから揚げ



メニュー選択ボタン	使用付属品
ノンフライ	給水タンク 空
加熱時間の目安 加熱 約22分	黒血 上段

材料	4人分(12個)
鶏もも肉(皮つき、1枚約250gの物)	2枚
から揚げ粉(市販)	大さじ4(約40g)

作りかた

- 鶏肉は1枚を6等分にして、から揚げ粉をまぶし、5分以上おき、余分な粉をたいて落とす。
- ①の皮を上にして、黒血の中央に寄せて並べ、上段に入れ「ノンフライ」21 鶏のから揚げ|で加熱する。

【ひとくちメモ】

- 鶏のから揚げは2人分も作ることができます。「ノンフライ」21 鶏のから揚げ|少人数|で加熱してください。

鶏のから揚げのコツ

- 1回に作れる分量は2~4人分です。
- から揚げ粉(市販)はまがすタイプの物を使用します。水で溶くタイプの物は上手に仕上がりにません。
- から揚げ粉の量は表示の分量より多くまぶすと、粉が残る仕上がりになります。
- 骨付きの鶏肉は仕上がり調節強|で加熱します。
- 黒血の汚れが気になるときはアルミホイルまたはオープンシートを敷きます。
- 加熱が足りなかったときは「オープン」予熱なし|180℃|で様子を見ながら加熱します。→P.42

オート24 チキン南蛮



メニュー選択ボタン	使用付属品
ノンフライ	給水タンク 空
加熱時間の目安 加熱 約22分	黒血 上段

チキン南蛮のコツ

- 1回に作れる分量は2~4人分です。
- 骨付きの鶏肉は仕上がり調節強|で加熱します。
- 黒血の汚れが気になるときはアルミホイルまたはオープンシートを敷きます。
- 加熱が足りなかったときは「オープン」予熱なし|180℃|で様子を見ながら加熱します。→P.42

材料	4人分(12個)
鶏もも肉(皮つき、1枚約250gの物)	2枚
しょうゆ	大さじ1
酒	大さじ1
しょうが(すりおろす)	小さじ1 1/2(約10g)
塩、こしょう	各少々
片栗粉	大さじ3
〈甘酢だれ〉	
しょうゆ	大さじ2
酢	大さじ2
砂糖	大さじ1 1/2
赤とうがらし(乾燥、小口切り)	1/2本
〈タルタルソース〉	
卵	1個
ピクルス(みじん切り)	2個(約40g)
マヨネーズ	大さじ4
塩、こしょう	各少々

作りかた

- 鶏肉は1枚を6等分して、肉の分厚い部分に、かくし包丁をいれ、④につけ込み、15分以上おく。
- 耐熱容器に⑤を入れ「レンジ」600W|約2分|で加熱し、かき混ぜ、甘酢だれを作る。
- 耐熱容器に卵を割り入れ「レンジ」500W|約1分|で加熱し、◎を加えフォークで卵が細くなるようにかき混ぜ、タルタルソースを作る。
- ①の汁をかるく切って、ポリ袋(市販)に片栗粉を入れ、鶏肉を加えて、もみ込むようにしてまぶす。
- ④の鶏肉を袋から取り出して余分な片栗粉をたいて落とし、皮を上にして黒血の中央に寄せて並べ、上段に入れ「ノンフライ」24 チキン南蛮|で加熱する。
- 加熱後、すぐに鶏肉を②の甘酢だれにつけ、皿に盛りつけ、③のタルタルソースを添える。

「レンジ加熱の使いかた」→P.38.39

【ひとくちメモ】

- チキン南蛮は2人分も作ることができます。「ノンフライ」24 チキン南蛮|少人数|で加熱してください。

オート 22 とんかつ



メニュー選択ボタン	使用付属品
ノンフライ	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒皿 下段
加熱 約26分	

材料	3人分
豚ロース肉 (厚さ約1cm、1枚約100gの物)	3枚
塩、こしょう	各少々
小麦粉 (薄力粉)	大さじ2
卵 (溶きほぐす)	1個
煎りパン粉	50g

- 作りかた**
- 豚肉に塩、こしょうをする。
 - ①に小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
 - 黒皿にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、②を中央に寄せて並べ、下段に入れ【ノンフライ】22 とんかつで加熱する。

【ひとくちメモ】
 ● とんかつは2人分も作ることができます。【ノンフライ】22 とんかつ【少人数】で加熱してください。

とんかつのコツ

- 1回に作れる分量は2～3人分です。
- 加熱が足りなかったときは裏返して【オープン】予熱なし【190℃】で様子を見ながら加熱します。⇒P.42

煎りパン粉の作りかた



材料・作りかた
 フライパンにパン粉を入れ、全体がきつね色になるまで煎る。煎った色がまばら加熱後の焼き色になるため、均一に色がつかないように途中でこまめにゆすって煎る。

オート 23 ポテトコロッケ



メニュー選択ボタン	使用付属品
ノンフライ	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒皿 下段
加熱 約22分	(下ごしらえ)では黒皿は使用できません

材料	4人分(8個)
じゃがいも	中2個(約300g)
豚ひき肉	150g
玉ねぎ(みじん切り)	100g
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	大さじ2
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉	適量

- 作りかた**
- じゃがいもは、よく洗い、皮をむいて1cmのさいの目に切りラップをして【40根菜(グラム)】仕上がり調節【弱】で加熱し、ポウルに移し熱いうちに潰しておく。
 - 耐熱容器にひき肉と玉ねぎを入れ【レンジ】600W【約5分】で加熱し、加熱後ほぐす。
 - ②に①を加え塩、こしょうをふり、よく混ぜ合わせ8等分(1個約55g)し厚さ1cmの小判形にして小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
 - 黒皿にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、③を中央に寄せて並べ、下段に入れ【ノンフライ】23 ポテトコロッケで加熱する。

「【40根菜(グラム)】の使いかた」⇒P.30.31

「レンジ加熱の使いかた」⇒P.38.39

【ひとくちメモ】
 ● ポテトコロッケは2人分も作ることができます。【ノンフライ】23 ポテトコロッケ【少人数】で加熱してください。

ポテトコロッケのコツ

- 1回に焼ける分量は2～4人分です。
- 加熱が足りなかったときは【オープン】予熱なし【190℃】で様子を見ながら加熱します。⇒P.42

オート 25 あじフライ



メニュー選択ボタン	使用付属品
ノンフライ	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒皿 下段
加熱 約20分	

材料	3人分(6枚)
あじ(3枚におろす)	6枚
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	大さじ2
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉	60g

- 作りかた**
- あじに塩、こしょうをし、小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
 - 黒皿にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、①を中央に寄せて並べ、下段に入れ【ノンフライ】25 あじフライで加熱する。

【ひとくちメモ】
 ● あじフライは2人分も作ることができます。【ノンフライ】25 あじフライ【少人数】で加熱してください。

あじフライのコツ

- 1回に作れる分量は2～3人分です。
- 加熱が足りなかったときは裏返して【オープン】予熱なし【180℃】で様子を見ながら加熱します。⇒P.42

応用 25 いわしフライ

材料	3人分(9本)
いわし(3枚におろす)	9切れ
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	大さじ2
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉	60g

- 作りかた**
- いわしに塩、こしょうをし、小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
 - ①を黒皿の中央に寄せて並べ、下段に入れ【ノンフライ】25 あじフライで加熱する。

オート 26 えびフライ



メニュー選択ボタン	使用付属品
ノンフライ	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒皿 下段
加熱 約20分	

材料	3人分(12本)
大正えび(またはブラックタイガー)	12尾
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	大さじ2
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉	60g
パセリ(みじん切り)	少々

- 作りかた**
- えびは尾と一節を残して殻をむき、背わたを取る。④は合わせておく。
 - えびに塩、こしょうをし、小麦粉、卵、④の順につける。
 - 黒皿にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、②を中央に寄せて並べ、下段に入れ【ノンフライ】26 えびフライで加熱する。
- 【ひとくちメモ】
 ● えびフライは2人分も作ることができます。【ノンフライ】26 えびフライ【少人数】で加熱してください。

応用 26 いかリングフライ



材料	2人分
いか(生食用、1杯約450gの物)	1杯
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	大さじ2
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉	60g

- 作りかた**
- いかは、内臓や足などを取り除き皮をむき、1.5cmの輪切りにして、塩、こしょうをふる。
 - ①に小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
 - ②を黒皿の中央に寄せて並べ、下段に入れ【ノンフライ】26 えびフライで加熱する。

オート 27 えびの天ぷら



メニュー選択ボタン	使用付属品
ノンフライ	給水タンク 空
加熱時間の目安 加熱 約20分	黒血 下段

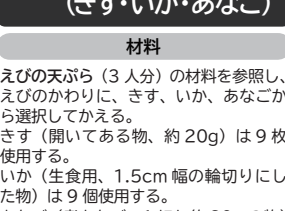
材料	3人分(12本)
大正えび(またはブラックタイガー)	12尾
小麦粉(薄力粉)	大さじ2
卵(溶きほぐす)	1個
天かす	約60g

作りかた

- 1 天かすをポリ袋(市販)に入れ、めん棒で細かくくだく。
- 2 えびは尾と一節を残して殻をむき、背わたを取る。
- 3 水けを切ったえびに小麦粉、卵、①の順につける。
- 4 黒血にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、③を中央に寄せて並べ、下段に入れ[ノンフライ] [27 えびの天ぷら]で加熱する。

- 【ひとくちメモ】
- えびの天ぷらは2人分も作ることができます。[ノンフライ] [27 えびの天ぷら] [少人数]で加熱してください。

応用 27 魚介の天ぷら(きす・いか・あなご)



メニュー選択ボタン	使用付属品
ノンフライ	給水タンク 空
加熱時間の目安 加熱 約26分	黒血 下段

材料	4人分(4個)
玉ねぎ(みじん切り)	中1/2個(約100g)
バター	大さじ1強(約13g)
合びき肉	240g
パン粉	カップ1/2(約20g)
牛乳	大さじ2
卵(溶きほぐす)	25g
塩	小さじ1/2弱
こしょう、ナツメグ	各少々
小麦粉(薄力粉)	大さじ2
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉	60g

作りかた

- えびの天ぷら(3人分)の作りかたを参照し、えびのかわりに、きす、いか、あなごから選択してかえる。
- きす(開いてある物、約20g)は9枚使用する。
- いか(生食用、1.5cm幅の輪切りにした物)は9個使用する。
- あなご(煮あなご、1切れ約20gの物)は9枚使用する。
- えびの天ぷら(3人分)の作りかたを参照し[ノンフライ] [27 えびの天ぷら]で加熱する。

- 【ひとくちメモ】
- えびの天ぷらは2人分も作ることができます。[ノンフライ] [27 えびの天ぷら] [少人数]で加熱してください。

オート 28 メンチカツ



メニュー選択ボタン	使用付属品
ノンフライ	給水タンク 空
加熱時間の目安 加熱 約26分	黒血 下段

材料	4人分(8個)
玉ねぎ(みじん切り)	中1/2個(約100g)
バター	大さじ1強(約13g)
合びき肉	240g
パン粉	カップ1/2(約20g)
牛乳	大さじ2
卵(溶きほぐす)	25g
塩	小さじ1/2弱
こしょう、ナツメグ	各少々
小麦粉(薄力粉)	大さじ2
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉	60g

作りかた

- 1 耐熱容器に④を入れて[レンジ] [600W] 約2分30秒で加熱する。
- 2 あら熱を取り⑧を加えてよく混ぜ、4等分する。
- 3 手にサラダ油(分量外)をつけ、②を片手に数回たたきつけて空気を抜き、厚さ1.5~2cmの小判形にして中央をくぼませる。
- 4 ③に小麦粉、卵、煎りパン粉を順につける。
- 5 黒血にオープンシートを敷き、④を中央に寄せて並べ、下段に入れ[ノンフライ] [28 メンチカツ]で加熱する。

「レンジ加熱の使いかた」 → P.38.39

- 【ひとくちメモ】
- メンチカツは2人分も作ることができます。[ノンフライ] [28 メンチカツ] [少人数]で加熱してください。

メンチカツのコツ
● 1回に作れる分量は2~4人分です。
● 加熱が足りなかったときは裏返して[オープン] [予熱なし] [210℃]で様子を見ながら加熱します。 → P.42

手動 ハムカツ



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン(発酵)	給水タンク 空
加熱時間の目安 加熱 約25分	黒血 下段

材料	4人分(8個)
ハム(厚さ7~8mmの物)	8枚(約320g)
小麦粉(薄力粉)	大さじ2
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉	適量

作りかた

- 1 ハムに小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
- 2 黒血にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、①を中央に寄せて並べ、下段に入れ[オープン] [予熱なし] [170℃] [20~25分]で加熱する。

「オープン(予熱なし)加熱の使いかた」 → P.42

手動 ヒレカツ



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン(発酵)	給水タンク 空
加熱時間の目安 加熱 約30分	黒血 下段

材料	3人分(12個)
豚ヒレ肉(かたまり)	300g
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	大さじ2
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉	60g

作りかた

- 1 豚肉は12等分に切り、塩、こしょうをする。
- 2 ①に小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
- 3 黒血にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、②を中央に寄せて並べ、下段に入れ[オープン] [予熱なし] [180℃] [25~30分]で加熱する。

「オープン(予熱なし)加熱の使いかた」 → P.42

手動 くしかツ



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン(発酵)	給水タンク 空
加熱時間の目安 加熱 約30分	黒血 下段

材料	3人分(6個)
豚ロース肉(厚さ約1cm、1枚約100gの物)	3枚
長ねぎ(3~4cmの長さ切る)	1本
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	大さじ2
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉	60g

作りかた

- 1 豚肉は1枚を6等分にし、塩、こしょうをする。
- 2 ①に小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
- 3 ②と長ねぎを交互に竹ぐしに刺して、アルミホイルまたはオープンシートを敷いた黒血の中央に寄せて並べ、下段に入れ[オープン] [予熱なし] [190℃] [25~30分]で加熱する。

「オープン(予熱なし)加熱の使いかた」 → P.42

天ぷらのコツ

- 1回に作れる分量は2~3人分です。
- 加熱が足りなかったときは裏返して[オープン] [予熱なし] [180℃]で様子を見ながら加熱します。 → P.42
- 冷めた天ぷらのあたためは[6 フライあたため]で加熱します。 → P.32.58

- 油は使わない衣は天かすを使います。
- 材料の大きさ、厚さはそろえて大きさは同じくらの物を使います。かぼちゃやさつまいもなどの野菜は、7mmくらいの厚さに切ります。

メンチカツのコツ

- 1回に作れる分量は2~4人分です。
- 加熱が足りなかったときは裏返して[オープン] [予熱なし] [210℃]で様子を見ながら加熱します。 → P.42

ごはん物・麺

手動 かき揚げ



メニュー選択ボタン	使用付属品
 オープン (発酵) オープン 予熱あり(約10分) 210℃ 10~15分	 給水タンク 空 黒皿 下段

材料	3人分(6枚)
むきえび(背わたを取り1cmに切る)	60g
さつまいも(1cmさいの目切り)	40g
にんじん(5mm角切り)	40g
ごぼう(細切り)	40g
三つ葉(2cm幅に切る)	30g
小麦粉(薄力粉)	大さじ1
小麦粉(薄力粉)	小さじ2
片栗粉	小さじ1
ベーキングパウダー	小さじ1/2
水	20mL

作りかた

- さつまいもと、ごぼうは切ったあと、それぞれ水にさらしておく。
- ①をボールに入れて混ぜる。さらに小麦粉を加えてよく混ぜる。
- ②をなめらかになるまで混ぜ、②に加え、むらのないようによく混ぜる。
- ③を6等分し、オープンシートを敷いた黒皿の中央に寄せて並べ、円形で平らに広げる。
- 食品を入れずに「オープン」予熱あり[210℃]10~15分で予熱する。
- 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、④を下段に入れ加熱する。

「オープン(予熱あり)加熱の使いかた」
→P.43

手動 炊飯(ごはん)



メニュー選択ボタン	使用付属品	作りかた						
 レンジ (発酵) レンジ600W 約10分 レンジ200W 20~25分	 給水タンク 空 黒皿は使用できません	<ol style="list-style-type: none"> 米は洗い、ザルに上げて水けを切り、深めの煮込み容器に入れ、分量の水を加えてふたをして、約1時間つけて吸水させる。 ①をテーブルプレートの中央に置き[レンジ]600W[約10分]、[レンジ]200W[20~25分]でリレー加熱し、加熱後かき混ぜ、ふきんとふたをして蒸らす。 						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>4人分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米</td> <td>カップ2 (320g)</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>440~480mL</td> </tr> </tbody> </table>	材料	4人分	米	カップ2 (320g)	水	440~480mL		<p>「レンジ加熱(リレー加熱)の使いかた」 →P.40</p>
材料	4人分							
米	カップ2 (320g)							
水	440~480mL							

炊飯(ごはん)のコツ

- 容器は大きくて深めの物を使い、ふきこぼれないようにします。市販のふたつき煮込み容器を使うと便利です。
- 米は吸水させる。炊く前に分量の水に30分~1時間ほどつけ、十分吸水させます。
- 加熱が足りなかったときは[レンジ]200Wで様子を見ながら加熱します。→P.38,39

炊飯(ごはん)の水の量と加熱時間 (1mL=1cc)			
米の量	水の量	レンジ600W (リレー加熱)	レンジ200W
カップ1 (160g)	240~260mL	約6分	約15分
カップ3 (480g)	640~700mL	約13分	約30分

手動 赤飯(おこわ)



メニュー選択ボタン	使用付属品
 レンジ (発酵) レンジ600W 約15分	 給水タンク 空 黒皿は使用できません

材料	4人分
もち米	カップ2 (320g)
ゆでささげ(乾燥豆約40g)	約80g
ささげのゆで汁と水合わせて	280~320mL
ごま塩	少々

作りかた

- もち米は洗い、ザルに上げて水けを切り、深めの煮込み容器に入れて分量のささげのゆで汁と水を加え、約1時間つけて吸水させる。
- ささげを加えてかき混ぜ、ふたをしてテーブルプレートの中央に置き[レンジ]600W[約15分]で加熱し、残り時間4~5分でかき混ぜ、再び加熱してかき混ぜる。
- 器に盛り、ごま塩を添える。

「レンジ加熱の使いかた」→P.38,39

赤飯(おこわ)のコツ

- 米は吸水させる。炊く前に分量の水に1時間ほどつけ、十分吸水させます。
- 大きくて深めの容器で炊飯(ごはん)のコツを参照してください。
- ささげの量は好みで加減します。
- 赤飯(おこわ)の水の量と加熱時間 (1mL=1cc)

もち米の量	ゆでささげ	水の量	加熱時間 レンジ600W
カップ1 (160g)	40g	160~180mL	約10分
カップ3 (480g)	120g	460~480mL	約19分

- 赤飯の色の濃淡はささげのゆで汁の量で加減します。
- 加熱途中でかき混ぜる。むらなく上手に炊けます。そのタイミングは加熱時間の3/4くらいです。
- 加熱が足りなかったときは[レンジ]600Wで様子を見ながら加熱します。→P.38,39

手動 トマトとベーコンのスープパスタ



メニュー選択ボタン	使用付属品
 レンジ (発酵) レンジ600W 約12分	 給水タンク 空 黒皿は使用できません

材料	2人分
パスタ(1.6mm、ゆで時間7分のもの)	100g
トマト水煮(トマトはあらめに切る)	200g
玉ねぎ(薄切り)	100g
ベーコン(5mm幅に切る)	50g
④ 固形スープの素	1/2個
水	350mL
④ 白ワイン	大さじ2
塩	小さじ1/2
あらびき黒こしょう	少々

作りかた

- 玉ねぎは、ラップに包み[レンジ]500W[約1分]で加熱し冷ましておく。
- 深めの耐熱ガラスポウルに2等分したパスタを十字になるように入れ、①とベーコンを入れる。
- ②にトマトの水煮と合わせた④を加える。
- 片側1cmをあげるようにしてかるくラップをし、テーブルプレートの中央に置き[レンジ]600W[約12分]で加熱する。
- 加熱終了後、やけどに注意して、ラップを外し混ぜる。

「レンジ加熱の使いかた」→P.38,39

スープパスタのコツ

- 容器は直径約25cm(内径22.5cm)、深さ約10cmの広口の耐熱ガラスポウルが適しています。
- パスタは加熱中にくっついてしまうことがあるため、なるべく束にならないように入れます。
- ラップのしかたは破裂防止のため1cmくらいあけます。
- アクが出た場合は加熱後、取り除きます。

煮物

オート 18 筑前煮



メニュー選択ボタン	使用付属品
デリ-	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒血は使用できません
加熱 約50分	

材料	4人分
鶏もも肉(ひとくち大に切る)	200g
にんじん(乱切り)	100g
ごぼう(乱切りにして酢水につける)	100g
れんこん(乱切りにして酢水につける)	100g
こんにゃく(ひとくち大に切る)	100g
干しいたけ(戻して石づきを取り、半分切る)	4枚
だし汁	カップ1
酒	大さじ4
しょうゆ	大さじ2½
砂糖	大さじ2½
サラダ油	適量

作りかた

- フライパンにサラダ油を熱し、鶏肉をいためて取り出し、野菜とこんにゃくをいためる。
- ①と④を大きくて深めの耐熱ガラスボウルに入れ、オーブンシートで落としがた(筑前煮のコツ参照)をして、テーブルプレートの中央に置き「デリ-」|18 筑前煮|で加熱する。
- 加熱後、取り出してかき混ぜてから約20分おき、味をしみ込ませる。

【ひとくちメモ】

- 筑前煮は2人分も作ることができます。
「デリ-」|18 筑前煮|【少人数】で加熱してください。

筑前煮、とん汁のコツ

- 1回に作れる分量は
筑前煮は2~4人分、とん汁は2~3人分です。
- 容器は大きくて深めの物を
ふきこぼれないようにします。直径約25cm(内径約22.5cm)、深さ約10cmの広口耐熱ガラスボウルが適しています。プラスチック製の物は使わないでください。
- 材料は大きさをそろえて
材料は大きさや形を切りそろえると、むらなくでき上がります。
- 煮汁は多めにする
煮汁は材料がかかるくらいの量にします。

オート 19 とん汁



メニュー選択ボタン	使用付属品
デリ-	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒血は使用できません
加熱 約19分	

材料	3人分
豚薄切り肉(ひとくち大に切る)	100g
大根(5mm厚さのいちょう切り)	¼本(約100g)
にんじん(5mm厚さの半月切り)	¼本(約40g)
ごぼう(3mm厚さのナメ切りにし、酢水につける)	½本(約50g)
里いも(5mm厚さの輪切りにし、塩もみしてぬめりを取る)	2個(約100g)
干しいたけ(戻して石づきを取り4つに切る)	2枚
だし汁	カップ2
みそ	大さじ2
長ねぎ(5mm厚さのナメ切り)	¼本(約30g)

作りかた

- 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに④を入れ、合わせた⑤を加える。
- ①にオープンシートで落としがた(とん汁のコツ参照)をしてテーブルプレートの中央に置き「デリ-」|19 とん汁|で加熱する。
- 加熱後、長ねぎを加えて混ぜ合わせる。

【ひとくちメモ】

- とん汁は2人分も作ることができます。
「デリ-」|19 とん汁|【少人数】で加熱してください。

応用 19 けんちん汁



材料	3人分
大根(5mm厚さのいちょう切り)	130g
にんじん(5mm厚さの半月切り)	50g
ごぼう(3mm厚さのナメ切りにし、酢水につける)	65g
木綿豆腐(ひとくち大に切る)	130g
里いも(5mm厚さの輪切りにし、塩もみしてぬめりを取る)	3個(約150g)
干しいたけ(戻して石づきを取り4つに切る)	3枚
こんにゃく(アク抜きし、5mm厚さの2cm角に切る)	65g
だし汁	カップ2½
しょうゆ	大さじ1½
塩	小さじ½
酒	大さじ1½
みりん	小さじ1½
小ねぎ(小口切り)	適量

作りかた

- 大根、にんじん、ごぼうはラップに包み「40根菜(グラム)」で加熱する。
- 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに①と④を入れ、合わせた⑤を加える。
- ②にオープンシートで落としがた(とん汁のコツ参照)をしてテーブルプレートの中央に置き「デリ-」|19 とん汁|で加熱する。
- 加熱後、お好みで小ねぎを添える。

「40根菜(グラム)」の使いかた →P.30,31

オート 20 さばのみそ煮



メニュー選択ボタン	使用付属品
デリ-	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒血は使用できません
加熱 約30分	

材料	3人分
さばの切り身(1切れ約100gの物)	3切れ
長ねぎ(5cmの長さに切る)	½本
しょうが(薄切り)	½かけ
水	カップ¼
みそ	大さじ2½
砂糖	大さじ1½
酒	大さじ3

作りかた

- さばは皮に切り目を入れ、熱湯にくぐらせ、氷水に取り出し、余分な汚れやぬめりを取り、ザルに上げる。
- 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに①を入れ、合わせた⑤を入れてよくからめてから、皮を下にして並べ、長ねぎを添える。
- オープンシートで落としがた(さばのみそ煮のコツ参照)をして、テーブルプレートの中央に置き「デリ-」|20 さばのみそ煮|で加熱する。

【ひとくちメモ】

- さばのみそ煮は2人分も作ることができます。
「デリ-」|20 さばのみそ煮|【少人数】で加熱してください。

さばのみそ煮のコツ

- 1回に作れる分量は
2~3人分です。
- 容器は大きくて深めの物を
直径約25cm(内径約22.5cm)、深さ約10cmの広口耐熱ガラスボウルが適しています。
- 材料は大きさをそろえて
材料は大きさや形を切りそろえると、むらなくでき上がります。
- 落としがたをする
煮汁が全体にゆきわたるようにします。落としがたは、オープンシートを容器の大きさよりひとまわり小さく丸形に切り、十文字の切り目を入れた物を使います。
- 加熱が足りなかったときは
「レンジ|500W|で様子を見ながら加熱します。→P.38、39

スイーツ

オート 8 スポンジケーキ (デコレーションケーキ)



メニュー選択ボタン	使用付属品
デリー	給水タンク
	空
加熱時間の目安	黒皿 下段
加熱 約39分	(下ごしらえ)では黒皿は使用できません

材料 (直径18cmの金属製ケーキ型1個分)

小麦粉 (薄力粉)	90g
砂糖	90g
卵 (卵黄と卵白に分ける)	3個
バニラエッセンス	少々
牛乳 (室温に戻す)	小さじ2
バター	15g
ホイップクリーム	適量
くだもの (いちごなど)	各適量

共立て法の作りかた

②ボウルに卵を割り入れ、ハンドミキサーで七分通り泡立てる。砂糖を加え、もったりするまで泡立てて(生地での「の」の字が書ける)からバニラエッセンスを加え、混ぜる。作りかた④から同様に作る。



作りかた

- 型にバター(分量外)を塗って硫酸紙(ケーキ用型紙)を底と側面にぴったりと敷く。④を合わせレンジ|200W|1~2分|で加熱して溶かす(直径18cmの場合。その他はスポンジケーキのコツを参照)。
- ボウルに卵白を入れ、ハンドミキサーで七分通り泡立てて砂糖を加え、ツノが立つまでかたく泡立てる。(別立て法)



- 卵黄を加えてさらに泡立てる。楊枝の先端から1/4を生地に刺してすぐに倒れなければ泡立ては十分。バニラエッセンスを加え、低速で混ぜる。
- 小麦粉をふるい入れ、木しゃもじまたはゴムべらでねらないように、粉けがなくなるまでボウルの底からすくいあげるようにしてさっくりと混ぜ、溶かした④を加えて手早く混ぜる。
- 一気に型に流し入れ、型をトントンとかるく落として空気を抜き、黒皿にのせ下段に入れ|デリー|8|スポンジケーキ|で、加熱する。

- 加熱後、型ごと10~20cmの高さから落として焼き縮みを防ぎ、型から取り出して硫酸紙をはがす。十分に冷まし、ホイップクリームやくだものなどで飾る。

「レンジ加熱の使いかた」 → P.38.39

スポンジケーキのコツ

●直径15~21cmのケーキが作れます。

材料	大きさ	直径15cm	直径18cm	直径21cm
小麦粉 (薄力粉)		50g	90g	120g
砂糖		50g	90g	120g
卵		2個	3個	4個
バター		10g	15g	20g
牛乳	大きじ1/4	小さじ2	大きじ1	
作りかた	①	約1分	約1分30秒	約2分
	⑤	デリー		
		8 スポンジケーキ		
加熱時間の目安		約35分	約39分	約43分
		仕上げ調節		
		やや弱	中	やや強

- ケーキの型は 金属製で側面は止め金などのないフラットな物を使います。
- 卵やボウルはあたためると泡立ちやすくなります。
- 卵白の泡立ては十分に 泡立ての目安は、泡立て器がハンドミキサーで生地を持ち上げた跡がピンとツノが立ったようになるまでです。
- 良好な仕上がりは きめがそろっていてふくらみがよい。



- 加熱が足りなかったときは オープン|予熱なし|150℃|で様子を見ながら加熱します。 → P.42
- 表面がへこむときは 型から出し、底を上にして冷ますとよいでしょう。
- 手動調理で焼くときは → P.47

スポンジケーキ作りのポイント

断面				
状況	●ふくらが悪い ●全体にきめ(目)が詰まっている ●かたくしまっている	●ふくらが悪い ●ぼそぼそしている ●きめが荒く、粉がダマになって残っている	●表面に目立つツワがある ●全体にきめが荒い ●中央部が沈む	●部分的に目の詰まったところがある ●ふくらみやきめにむらがある
原因	●卵の泡立てかたが足りない ●粉やバターを入れた後に混ぜ過ぎて、卵の泡がつぶれた(切るように混ぜる) ●生地を長時間放置した ●砂糖の量が少なかった	●小麦粉の混ぜかたが足りない ●小麦粉をふるっていない	●きちんと空気を抜いていない ●ボウルに残っている泡の消えた生地を、型の中央に入れた(端の方へ入れる) ●小麦粉の量が少なかった ●粉やバターを入れた後に混ぜ過ぎて卵の泡がつぶれた(切るように混ぜる)	●溶かしバターが均一に混ぜていない(バターが熱いうちに混ぜること)

手動 スフレチーズケーキ



作りかた

- 型の底面にバター(分量外)を塗って硫酸紙(ケーキ用型紙)を底にぴったりと敷く。内側にはふちまでたっぷりバター(分量外)を塗り、硫酸紙は敷かない。
- 耐熱ガラスボウルに④を入れ|レンジ|200W|2~3分|で加熱して柔らかくし、なめらかになるまでハンドミキサーでよく混ぜる。
- ②に砂糖の半量を入れ、しっかり混ぜ、卵黄を加えてなめらかになるまで混ぜる。
- ③に生クリーム、牛乳、レモン汁、ブランデーを順に加え、そのつどハンドミキサーで混ぜ、コーンスターチを加えて木しゃもじでダマにならないように混ぜる。
- 別のボウルに卵白を入れ、七分通り泡立て残りの砂糖を加え、ツノが立つまでかたく泡立てる。
- ④に⑤を3回に分けて加え、ボウルの底からすくい上げるように、さっくりと泡をこわさないようにして生地となじませながら混ぜる。
- ⑥を型に入れ、かるくたたいて空気を抜く。
- 黒皿に厚めのキッチンペーパーを2枚重ねにして敷き、水カップ1(約200mL)を黒皿に注ぎ、その上に⑦をのせ、下段に入れ|オープン|予熱なし|130℃|55~60分|で加熱する。
- 加熱後、型とケーキの間にナイフを入れ、すき間を作る。ケーキが型の高さくらいまで沈み、完全に冷めてからゆっくりと型から取り出す。

メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン (発酵)	給水タンク
	空
オープン 予熱なし 130℃ 55~60分	黒皿 下段 (下ごしらえ)では黒皿は使用できません

材料 (直径18cmの底の抜けない金属製ケーキ型1個分)

クリームチーズ	120g
バター (室温に戻す)	25g
砂糖	70g
卵黄	2個分
生クリーム (室温に戻す)	80mL
牛乳	40mL
レモン汁	大きじ1弱
ブランデー	大きじ1弱
コーンスターチ(ふるう)	30g
卵白	4個分

スフレチーズケーキのコツ

- スチーム効果を出すために、黒皿に水カップ1(約200mL)の水を注ぎ入れ、食品をのせて加熱します
- ケーキの型は底の抜けない金属製の型を使います 底の抜ける型を使うときは、底面よりひとまわり大きく切った硫酸紙(ケーキ用型紙)を側面まで貼りつけてから使います。

「レンジ加熱の使いかた」 → P.38.39

「オープン(予熱なし)加熱の使いかた」 → P.42

【ひとくちメモ】

- 裏ごしたあんずジャム(大きじ1)をブランデー(小さじ1)で溶いた物をスフレチーズケーキの表面に塗ってもよいでしょう。
- スフレチーズケーキは、熱いうちに型から出すとくずれてしまいます。

手動 **ロールケーキ (プレーン)**



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン (発酵)	黒皿 下段 給水タンク 空
オープン 予熱あり (約7分) 170℃ 12~16分	(下ごしらえ)では黒皿は使用できません

材料	1本分
牛乳 (室温に戻す)	大さじ 1
バター	大さじ 1 (約 12g)
卵 (溶きほぐす)	3 個
砂糖	60g
バニラエッセンス	少々
小麦粉 (薄力粉)	60g
あんずジャム (粒のある物は裏ごしする)	適量

作りかた

- 黒皿に薄くバター (分量外) を塗り、硫酸紙 (ケーキ用型紙) を敷く。
- ④を合わせて[レンジ|200W|1~2分]で加熱し、溶かす。
- 卵をハンドミキサーで七分通り泡立てて砂糖を加え、もったりするまで十分に泡立て、バニラエッセンスを加えて混ぜる。
- 食品を入れずに**オープン** 予熱あり | 170℃ | 12~16分 で予熱する。
- ③に小麦粉をふるい入れ、木しゃもじまたはゴムべらでさっくりと粉けがなくなるまで混ぜ、②を加えて手早く混ぜる。
- ①に⑤の生地を一気に流し込み、黒皿の底をたたいて、表面を平らにする。
- 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、⑥を下段に入れて加熱する。
- 焼き上がったたら、ふきんの上に黒皿を返し、硫酸紙をはがして、焼き色のついている面を上にしてあら熱をとる。
- 生地を裏返してナイフで1~2cm 間隔にすじをつけ、巻き終わりは2cm ほど残してあんずジャムを塗り、手前から巻き、巻き終わりは下にして、しばらくおいて生地とジャムがなじんでから切る。

「レンジ加熱の使いかた」 [→P.38,39](#)

「オープン (予熱あり) 加熱の使いかた」 [→P.43](#)

ロールケーキのコツ

- 生地作りのポイント**は卵の泡立てかたと小麦粉の混ぜかたです。全卵の泡立てかたは、「共立て法の作りかた」を参照し、生地で「の」の字が書けるまでしっかり泡立てます。小麦粉の混ぜかたは、ねらないようにさっくりと混ぜます。 [→P.82](#)
- 焼きむらが気になるときは**加熱時間の3/4が経過してから、黒皿の前後を入れかえてさらに焼きます。また、裏面の焼きむらが気になるときや焼き色をつけたくないときは、黒皿にアルミホイルを敷き、その上に硫酸紙 (ケーキ用型紙) を敷きます。加熱時間の3/4が経過してから、黒皿の前後を入れかえて焼いてください。
- 紙をはがすときは**熱いうちにサツと霧を吹くか、ぬれがきんで湿らせてから両手でゆくりりはがします。
- 周りのかたさが気になるとき**ケーキの表面にシロップを塗るか、あら熱が取れたら乾いたふきんをかけてラップで包み、しばらくおいてから巻きます。
- ジャムを塗るときは**向こう側 2cm ほど残して塗ると、巻き終わりがきれいです。

手動 **シフォンケーキ (プレーン)**



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン (発酵)	給水タンク 空
オープン 予熱あり (約6分) 150℃ 49~54分	黒皿 下段

材料 (直径20cmの金属製シフォン型1個分)

卵黄	4 個分
砂糖	100g
水	70mL
④ レモン汁	大さじ 1
レモンの皮 (すりおろす)	1 個分
サラダ油	60mL
⑤ 小麦粉 (薄力粉)	100g
ベーキングパウダー	小さじ 1/2
卵白	5 個分
塩	ひとつまみ

作りかた

- ボウルに卵黄と砂糖1/2量を入れ、ハンドミキサーで白っぽくなるまでよくねり、合わせた④を少しずつ加えて混ぜる。サラダ油を少しずつ加えながら、さらに混ぜて⑤をふるい入れ、ハンドミキサーの低速で、なめらかになるまで混ぜる。
- 別のボウルに卵白と塩を入れ、ハンドミキサーで七分通り泡立てて、泡の大きさがそろったところで残りの砂糖を加え、ツノが立つまで泡立てる。
- 食品を入れずに**オープン** 予熱あり | 150℃ | 49~54分 で予熱する。
- ①に②の1/2量を加え、木しゃもじでサツと混ぜ、残りを加えてさっくりと混ぜ、生地をやや高め位置から型に流し入れ、型をかるくトントンと落として空気を抜き、黒皿にのせる。
- 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、④を下段に入れて加熱する。
- 焼き上がったたら、すぐに型を逆さにし、完全に冷ます。
- 冷めたら、パレットナイフなどを型と生地間に深く差し込み、上下に動かしながら、いねいに側面をはがす。
- 中央部もナイフを入れて同じように生地を外す。ひっくり返して底にナイフを差し込み、底をこするようにして、ゆっくりと型から外す。

「オープン (予熱あり) 加熱の使いかた」 [→P.43](#)

【ひとくちメモ】

- 卵黄と卵白を同量 (卵5個) にしてもほぼ同様に焼けますが、ケーキの上部に焼きづまりが出ます。また、卵黄が多く入っている分、断面の色が黄色っぽくなり、スポンジケーキに近い仕上がりになります。
- 焼き上げの途中で表面の焼き色が濃くなったときは、表面にアルミホイルをのせて、さらに焼きます。

シフォンケーキのコツ

●直径17~20cmのケーキが作れます

材料	大きさ	直径 17cm	直径 20cm
小麦粉 (薄力粉)		75g	100g
ベーキングパウダー	小さじ 1/4	小さじ 1/2	
卵黄	3 個分	4 個分	
卵白	4 個分	5 個分	
塩	少々	ひとつまみ	
砂糖	65g	100g	
水	40mL	70mL	
レモン汁	大さじ 3/8	大さじ 1	
レモンの皮	2/3 個分	1 個分	
サラダ油	30mL	60mL	
加熱時間の目安		42 ~ 47 分	49 ~ 54 分

●ボウルやハンドミキサーはきれいな物を

ボウルやハンドミキサーなどに水分や油がついていると卵白が泡立ちにくくなります。

●卵黄生地のかたさは

さらさらし過ぎず、ほつてりし過ぎず、ホットケーキとクレープの中間位が最適です。

●泡立ちをよくするため、卵は新鮮な冷えた物を

卵白は約10℃が一番泡立ちが良くしっかりしたメレンゲが作れます。冷蔵庫で冷えた物を使いましょう。また、卵白に卵黄が混ざっていると泡立ちが良くありません。混ざらないように、しっかりと分けましょう。

●卵黄生地に卵白生地を混ぜるときは強く混ぜ過ぎないようにしましょう。あまり強く混ぜると、泡が消えてしまい、シフォンケーキがふくらまなくなります。

●シフォン型は

アルミ製の物を使います。



●シフォン型はバターを塗らない

バターなどを型に塗って焼くと、冷ます途中で型から外れて縮んでしまいます。表面にフッ素やシリコンが施されている型では上手に作れません。

●生地の空気抜きは

型に生地を入れた後、強く底を打ちつけて空気を抜きます。また、生地の底に加熱後大きな穴が開くことがあります。型をかるくとんとんと落として空気を抜きます。また、生地を流し入れた後に、型の内側の筒を引っ張ると空気が入ってしまいます。

●型は完全に冷ましてから

取り出してください。冷めないうちに取り出すと、しぼんでしまいます。

オート 9 型抜きクッキー



メニュー選択ボタン	使用付属品
デイリー	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒血 下段
加熱 約22分	

材料 (黒血1枚・30個分)	
小麦粉 (薄力粉)	110g
バター (室温に戻す)	50g
砂糖	40g
卵 (溶きほぐす)	1½個
バニラエッセンス	少々

作りかた

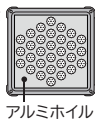
- バターはハンドミキサーで白っぽくなるまでよくねり、砂糖を加えて、さらによく混ぜる。
- 卵を加えてクリーム状になるまでよく混ぜ、バニラエッセンスを加えて混ぜる。
- 小麦粉をふるいながら加え、木しゃもじでさっくりと混ぜる。ひとつにまとめてラップで包み、冷蔵庫で約1時間休ませる。
- 生地をラップの間に挟み、めん棒で5mmの厚さにのばす。
- 上のラップを外し、直径3cmの型で抜き、アルミホイルを敷いた黒血に並べる。
- ⑤を下段に入れ「デイリー」で加熱する。

応用 9 絞り出しクッキー

材料 (黒血1枚・30個分)	
小麦粉 (薄力粉)	90g
バター (室温に戻す)	50g
砂糖	30g
卵 (溶きほぐす)	大さじ2
バニラエッセンス	少々
ドライフルーツ (小さく切った物)	適量

作りかた

- 型抜きクッキーの作りかた①～③を参照して生地を作る。
- ①の生地を菊型の口金をつけた絞り出し袋に入れ、アルミホイルを敷いた黒血に絞り出し、上にドライフルーツを飾る。
- ②を下段に入れ「デイリー」で加熱する。



アルミホイル

型抜きクッキーのコツ

- 1回に焼ける分量は30個分です。
- 小麦粉を混ぜるとき切るようにさっくりと混ぜ、ねらないようにします。
- 生地がベタつくときはラップで包み、冷蔵庫でしばらく冷やしてから作ります。打ち粉を多く使うと粉っぽくなり、口当たりが悪くなります。
- 生地の大さや厚みはそろえて大きさや厚みが違うと、焼き上がりにむらができます。
- 市販の生地を使うときは生地の種類により焼けたかたが違うので、様子を見ながら加熱します。
- 生地の保存は冷蔵庫で1週間、冷凍室で1か月くらいもちます。ラップに包んで保存しておきます。
- 加熱後はすぐ取り出すそのまま加熱室に置くと、余熱で焦げ過ぎることがあります。
- 焼きむらが気になるときは残り時間3～4分で黒血の前後を入れかえてさらに焼きます。

応用 9 アーモンドクッキー

材料 (黒血1枚・30個分)	
小麦粉 (薄力粉)	100g
ベーキングパウダー	小さじ½
バター (室温に戻す)	35g
砂糖	35g
卵 (溶きほぐす)	20g
スライスアーモンド	50g

作りかた

- 型抜きクッキーの作りかた①～③を参照し、②でバニラエッセンスのかわりにスライスアーモンドを加え、③で④を合わせてふるい入れて混ぜ、生地を作る。
- ①を30個分にちぎって等分し、アルミホイルを敷いた黒血に並べる。
- ②を下段に入れ「デイリー」で加熱する。

応用 9 ピーナツクッキー

材料 (黒血1枚・30個分)	
小麦粉 (薄力粉)	100g
ベーキングパウダー	小さじ½
バター (室温に戻す)	35g
砂糖	35g
卵 (溶きほぐす)	20g
ピーナツ	50g

作りかた

- 型抜きクッキーの作りかた①～③を参照し、②でバニラエッセンスのかわりにピーナツを加え、③で④を合わせてふるい入れて混ぜ、生地を作る。
- ①を30個分にちぎって等分し、アルミホイルを敷いた黒血に並べる。
- ②を下段に入れ「デイリー」で加熱する。

手動 スノークッキー



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン (発酵)	給水タンク 空
オープン 予熱あり (約6分) 160℃ 16～22分	黒血 下段

材料 (黒血1枚・30個分)

くるみ	30g
バター	70g
ショートニング	50g
粉砂糖	30g
アーモンドパウダー	60g
小麦粉 (薄力粉)	130g
粉砂糖	適量

作りかた

- くるみはフライパンでかるくいつから小さくきざんでおく。
- バターとショートニングはハンドミキサーでかるく混ぜ合わせる。
- ②に粉砂糖を加えてさらに混ぜ合わせ、アーモンドパウダー、①のくるみを混ぜ込む。
- 小麦粉をふるいながら加えてまとめ、ラップで包み、冷蔵庫で1時間ほど休ませる。
- 食品を入れずに「オープン」予熱あり 160℃ 16～22分で予熱する。
- 黒血にオープンシートを敷き、④を30等分し、丸形に丸めて並べる。



オープンシート

「オープン (予熱あり) 加熱の使いかた」
→P.43

手動 マドレーヌ



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン (発酵)	給水タンク 空
オープン 予熱あり (約6分) 160℃ 22～28分	黒血 下段 (下ごしらえ) では黒血は使用できません

材料 (直径9cmの金属製マドレーヌ型6個分)

小麦粉 (薄力粉)	60g
砂糖	60g
バター	60g
卵 (溶きほぐす)	1½個
レモン汁	大さじ1
レモンの皮 (すりおろす)	½個分

作りかた

- 型にバター (分量外) を塗って型紙を敷く。
- バターは容器に入れて「レンジ」200W 3～4分で加熱する。
- 卵をハンドミキサーで七分通り泡立て、砂糖を加え、もったりするまで泡立てる。④を加えて混ぜ、小麦粉をふるい入れ木しゃもじまたはゴムべらでねらないように混ぜ、②を加えて手早く混ぜる。
- 食品を入れずに「オープン」予熱あり 160℃ 22～28分で予熱する。
- ③を型に分け入れ、黒血に並べる。
- 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、⑥を下段に入れて加熱する。



「レンジ加熱の使いかた」→P.38,39

「オープン (予熱あり) 加熱の使いかた」
→P.43

手動 マフィン



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン (発酵)	給水タンク 空
オープン 予熱なし 150℃ 35～45分	黒血 下段

材料 (直径6cmのマフィン型7個分)

小麦粉 (薄力粉)	170g
ベーキングパウダー	小さじ2
砂糖	70g
バター (室温に戻す)	100g
卵 (溶きほぐす)	1個半
牛乳	70mL
バニラエッセンス	少々

作りかた

- バターはハンドミキサーでよくねり、砂糖を加えてよく混ぜる。
- 卵を加え、クリーム状になるまでよく混ぜ、バニラエッセンスを加えて混ぜる。
- ④をふるい入れ、木しゃもじでさっくり混ぜ、牛乳を入れてさらに混ぜる。
- ③をマフィン型に分け入れ、黒血に並べて、下段に入れ「オープン」予熱なし 150℃ 35～45分で加熱する。

「オープン (予熱なし) 加熱の使いかた」
→P.42

手動 シュークリーム



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン (発酵)	給水タンク 空
オープン 予熱あり(約8分) 190℃ 23~27分	黒血 下段 (下ごしらえ)では黒血 は使用できません

材料	9個分
小麦粉(薄力粉、ふるって おく)	40g
④ バター(3~4個に切る)	40g
水	100mL
卵(溶きほぐす)	2~3個
カスタードクリーム	適量
ホイップクリーム、粉砂糖	各適量

作りかた

- ① 深めの耐熱容器に④を入れ、小麦粉小さじ1(分量外)をふるい入れ、おおいをしないで[レンジ|600W|3~4分]で加熱し、十分沸とうさせる。
- ② 材料の飛び散りに注意して小麦粉を一度に加え、木しゃもじでよく混ぜて[レンジ|600W|約1分20秒]で加熱する。
- ③ 卵を②量に加え、よく混ぜて、もち状にねり上げる。
- ④ 残りの卵を少しずつ加えてよくねる。木しゃもじで生地をすくい上げたとき、2~3秒後にゆっくり落ちてくるかたさになったら卵を入れるのをやめる。

- ⑤ 直径1cmの口金をつけた絞り出し袋に入れる。黒血にアルミホイルを敷き、薄くバター(分量外)を塗り、直径3~4cmの大きさを9個絞り出す。
- ⑥ 食品を入れずに**オープン|予熱あり|190℃|23~27分**で予熱する。
- ⑦ 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、⑤を下段に入れて加熱する。
- ⑧ 焼き上がったすぐにアルミホイルから外し、十分に冷ましてから切り目を入れてカスタードクリームとホイップクリームを詰め、仕上げに粉砂糖をふる。

「レンジ加熱の使いかた」→P.38.39
「オープン(予熱あり)加熱の使いかた」→P.43

シュークリームのコツ

- バターと水は十分に沸とうさせる
沸とうが足りないと焼き色が濃く、ふくらみが悪くなります。
- 卵は生地の熱いうちに混ぜる
生地が冷めてくると卵の入る量が少なくなり、上手に焼き上がりません。

- 加える卵の量は
少な過ぎると、形が小さく、焼き色も濃くなります。逆に多いとふくらまず、平べったい仕上がりになります。生地のかたさは作りかた④を参照し、最後の調整は卵を数滴ずつ加えて行います。(卵が残る場合があります。)

手動 カスタードクリーム



メニュー選択ボタン	使用付属品
レンジ (発酵)	給水タンク 空
レンジ600W 4~6分	黒血は使用できません

材料(シュークリーム9個分)

牛乳	カップ1
小麦粉(薄力粉)	大さじ1
④ コーンスターチ	大さじ1
砂糖	40g
卵黄(溶きほぐす)	2個分
⑥ バター	25g
バニラエッセンス	少々

作りかた

- ① 深めの耐熱容器に④を合わせて入れ、牛乳を少しずつ加えながら泡立て器でかき混ぜる。
- ② ①に卵黄を少しずつ加えてよく混ぜ、テーブルプレートの中央に置き[レンジ|600W|4~6分]で途中よくかき混ぜながら加熱する。手早く⑥を加えて混ぜ、冷ます。

「レンジ加熱の使いかた」→P.38.39

【ひとくちメモ】

- 加熱直後は柔らかめでも、冷めるとかたさがでてきます。

注意

バターと水を加熱するとき飛び散ることがあります

深めの耐熱容器を使い、バターは3~4個に切って水と一緒に入れて、小麦粉小さじ1をふり入れて加熱すると飛び散りを防ぐことができます。

- バターを大きなたまりのまま加熱すると飛び散ります

- 生地に霧を吹く
予熱が終了するまでの間に、生地の表面の乾燥を防ぐために、霧を吹いておきます。
- 卵を混ぜるときは
ハンドミキサーの低速を使うと生地が簡単に作れます。

手動 エクレア



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン (発酵)	給水タンク 空
オープン 予熱あり(約8分) 190℃ 23~27分	黒血 下段 (下ごしらえ)では黒血 は使用できません

材料

小麦粉(薄力粉、ふるっておく)	40g
④ バター(3~4個に切る)	40g
水	100mL
卵(溶きほぐす)	2~3個
カスタードクリーム	適量
ホイップクリーム	適量
チョコレート(溶かしておく)	適量

作りかた

- ① 深めの耐熱容器に④を入れ、小麦粉小さじ1(分量外)をふるい入れ、おおいをしないで[レンジ|600W|3~4分]で加熱し、十分沸とうさせる。
- ② 材料の飛び散りに注意して小麦粉を一度に加え、木しゃもじでよく混ぜて[レンジ|600W|約1分20秒]で加熱する。
- ③ 卵を②量に加え、よく混ぜてもち状にねり上げる。
- ④ 残りの卵を少しずつ加えてよくねる。木しゃもじで生地をすくい上げたとき、2~3秒後にゆっくり落ちてくるかたさになったら卵を入れるのをやめる。
- ⑤ 直径1cmの口金をつけた絞り出し袋に入れる。黒血にアルミホイルを敷き、薄くバター(分量外)を塗り、7~8cmの棒状に9個絞り出す。
- ⑥ 食品を入れずに**オープン|予熱あり|190℃|23~27分**で予熱する。
- ⑦ 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、⑤を下段に入れて加熱する。
- ⑧ 加熱後、すぐにアルミホイルから外し、十分に冷まして上から約1/2で切り目を入れ、カスタードクリームとホイップクリームを詰めて、仕上げに溶かしたチョコレートを塗る。

「レンジ加熱の使いかた」→P.38.39
「オープン(予熱あり)加熱の使いかた」→P.43

手動 アップルパイ



材料(直径21cmの金属製パイ皿1枚分)

小麦粉(強力粉)	100g
小麦粉(薄力粉)	100g
バター(2cm角に切る、冷たい物)	140g
冷水	90~110mL
りんごのプリザーブ(→P.90)	適量

〈つやだし用卵〉
卵(溶きほぐす) 1/2個
塩 小さじ1/2

メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン (発酵)	給水タンク 空
オープン 予熱あり(約8分) 190℃ 36~42分	黒血 下段

作りかた

- ① ボウルに小麦粉を合わせてふるい入れ、バターを加えて指先で混ぜ、冷水を加えてねらないうちに混ぜる。
- ② バターの形が残っている状態でひとまとめにし、ラップで包み、冷蔵庫で約1時間休ませる。
- ③ かるく打ち粉(薄力粉・分量外)をしたのし台にのせ、めん棒で長方形にのばす。
- ④ ③を3つ折りにして合わせ面を下にし、めん棒で再び長方形にのばし、これを2~3回くり返す。
- ⑤ 3mm厚さの25×40cmの長方形にのばした上にパイ皿をふせて型よりひと周り大きく切り、残りで2cm幅のテープを8本切り取る。
- ⑥ パイ皿に生地をのせてびったりと敷き、まわりの生地は切り落とす。
- ⑦ 底全体にフォークで穴をあける。
- ⑧ りんごのプリザーブを詰めてから、つやだし用卵の卵と塩を混ぜ合わせてパイの周囲に塗り、テープを組んで端を貼り付ける。
- ⑨ 周囲にもテープをのせ、フォークで押さえ、つやだし用卵をさらに全体に塗り、黒血にのせる。
- ⑩ 食品を入れずに**オープン|予熱あり|190℃|36~42分**で予熱する。
- ⑪ 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、⑤を下段に入れて加熱する。

「オープン(予熱あり)加熱の使いかた」→P.43

アップルパイのコツ

- 1回に作れる分量は
直径21cmの金属製パイ皿1枚分です。
- 型は金属製の物を
耐熱ガラス製の型では熱伝導率が低いので、型に焼けないことがあります。
- 生地が扱いにくいときは
バターが溶けて生地が柔らかくなるので冷蔵庫で20~30分休ませると作りやすくなります。

- 冷凍パイシートを使うと便利
直径21cmのパイを焼くには、市販のパイシート(1枚・約100gの物)4枚が必要です。2枚ずつ重ねてのばし、型に敷く分とテープを取る分として使います。
- 焼きむらが気になるときは
残り時間10~15分ぐらいで黒血の後を入れかえてさらに加熱します。

手動 りんごのプリザーブ



メニュー選択ボタン	使用付属品
レンジ (発酵)	給水タンク 空
レンジ600W 7~9分 5~7分	黒血は使用できません

材料 (直径21cmのアップルパイ・1個分)

りんご (紅玉またはふじ)	2個
砂糖	100g
レモン汁	大さじ1
シナモン	少々

- 作りかた**
- りんごは皮をむいて、タテ4つ割りにして5mm厚さのいちよう切りにし、塩水につけてからかるく水洗いをして、水けを切る。
 - 大きめの耐熱容器に①と④を入れてかき混ぜ、テーブルプレートの中央に置き [レンジ600W] [7~9分] 加熱する。
 - アクを取って混ぜ、再び [レンジ600W] [5~7分] 加熱する。シナモンを加えて混ぜ、冷めてからザルに上げて汁けを切る。

「レンジ加熱の使いかた」 → P.38,39

手動 焼きりんご



メニュー選択ボタン	使用付属品
オープン (発酵)	給水タンク 空
オープン 予熱なし 180℃ 60~70分	黒血 下段

材料 (4個分)

りんご (紅玉)	4個
砂糖	60g
バター	40g
シナモン	少々
ホイップクリーム	適量

- 作りかた**
- りんごは洗ってから底を抜かないようにして芯をくり抜く。
 - ④を合わせてよくねり混ぜ、りんごの穴に等分して詰め、浅めの耐熱容器に並べる。
 - ②を黒血にのせ、下段に入れ [オープン] 予熱なし [180℃] [60~70分] で加熱する。
 - 冷めてからホイップクリームを飾る。

「オープン (予熱なし) 加熱の使いかた」 → P.42

手動 ゼリー (レモンゼリー)



メニュー選択ボタン	使用付属品
レンジ (発酵)	給水タンク 空
レンジ600W 約2分	黒血は使用できません

材料 (直径8.5cm、高さ6cmの耐熱ガラス容器4個分)

粉ゼラチン	大さじ1 (約10g)
水	大さじ2
レモン汁	70mL
水	カップ2
砂糖	60g
レモン (薄切り)	4枚
ミント	少々

- 作りかた**
- 耐熱容器に④を合わせて入れ、粉ゼラチンを水でしとらせておく。
 - ①とレモン汁、砂糖を合わせ入れ、水を加えながらよく混ぜ、テーブルプレートの中央に置き [レンジ600W] [約2分] で加熱する。
 - 加熱後、水でぬらしたガラス容器にレモンを入れ、②を4等分して流し入れる。冷蔵庫で冷やし、かため、ミントを飾る。

「レンジ加熱の使いかた」 → P.38,39

オート 12 柔らかプリン

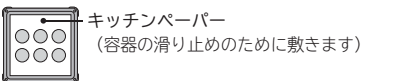


メニュー選択ボタン	使用付属品
ディリー	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒血 下段
加熱 約40分	(下ごしらえ) では黒血は使用できません

材料 (直径約7cm、高さ約6cmの耐熱ガラス容器6個分)

〈カラメルソース〉	
④ 砂糖	40g
④ 水	大さじ1½
水	大さじ½
〈卵液〉	
牛乳	カップ1½
⑥ 生クリーム	100mL
砂糖	50g
卵黄 (溶きほぐす)	4個分
バニラエッセンス	少々
ホイップクリーム	適量

- 作りかた**
- 耐熱容器に④を入れ [レンジ] [500W] [4~5分] で様子を見ながら加熱し、カラメル色になったら水を加える。(このとき、ソースが飛び散るので注意する)
 - 耐熱ガラス容器に①を小さじ1ずつ入れる。
 - 耐熱容器に⑥を合わせて入れ [レンジ] [500W] [約4分] で加熱し、かき混ぜて砂糖を溶かす。卵黄と合わせ、裏ごししてバニラエッセンスを加え、②の容器に分け入れる。
 - 黒血に厚めのキッチンペーパーを2枚重ねにして中央に敷き、水カップ1 (約200mL) を注ぎ入れ、その上に③を図のように並べ、下段に入れ [ディリー] [12柔らかプリン] で加熱し、あら熱が取れたら冷蔵庫で冷やし、ホイップクリームなどお好みの物で飾る。



「レンジ加熱の使いかた」 → P.38,39

- 【ひとくちメモ】**
- 1回に作れる分量は直径7cm、高さ6cmの耐熱ガラス容器6個までです。
 - 加熱する前の卵液の温度は約35~40℃です。
 - ⑥ [オープン] [グリル] [脱臭] 使用後で加熱室が熱いとうまく仕上がりにません。加熱室は冷ましてから、加熱してください。

トースト・パン・ピザ

手動 トースト

トーストはトースターで焼くよりも時間がかかります。

メニュー選択ボタン	使用付属品
グリル	給水タンク 空
グリル 7~12分 裏返して 2~5分	黒血 上段

材料

食パンまたは冷凍した食パン (1.5~3cm厚さの物)	1~2枚
-----------------------------	------

作りかた

- 食パンは黒血の中央に並べ、上段に入れる。
- [グリル] [7~12分] で焼き、裏返して [グリル] [2~5分] で加熱する。

「グリル加熱の使いかた」 → P.41

- 【ひとくちメモ】**
- パンの厚さや種類によって焼け具合が違います。様子を見ながら時間を調節してください。
 - 連続して焼くときは、表を [グリル] [2~7分]、裏返して [グリル] [1~3分] で様子を見ながら焼きます。

注意

バター、ジャム等を多量に塗ったパンを焼かない
火災の原因になります

オート10 バターロール (ロールパン)



メニュー選択ボタン	使用付属品
デイリー	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒皿 下段
予熱 約7分 / 加熱 約16分	

材料	9個分
小麦粉 (強力粉)	200g
砂糖	大さじ2½
塩	小さじ½ (約3g)
ドライイースト (顆粒状で予備発酵不要の物)	小さじ1 (約2.5g)
ぬるま湯 (約40℃)	20 ~ 40mL
卵 (溶きほぐす)	½個 (約25mL)
牛乳 (室温に戻す)	70mL
バター (室温に戻す)	30g
つやだし用卵	
卵 (溶きほぐす)	½個
塩	小さじ¼

パン作りのコツ

- 牛乳は室温に戻して
冷蔵庫から出したての冷たい物を使うと、ふくらみが悪くなります。
- こね上げた生地は温度は
25 ~ 27℃が最適です。夏場のように室温が高いときは、多少低めにします。
- 発酵の仕上がり具合は
イーストの種類や室温、季節によって多少違います。発酵不足のときは、様子を見ながら時間を追加してください。
- 生地が乾燥しないように
かたく絞ったふきんをかけたり、霧を吹いたり湿りけをあてます。表面が乾燥するとふくらみが悪くなります。
- 生地が乾かないように
手のひらでかるく扱います。ちぎったり、形が悪くてやり直したりすると、生地がいたんでふくらみが悪くなります。
- つやだし用卵は薄く、ていねいに
なでるようにして表面に塗ります。たっぷり塗ると黒皿に流れ落ち、パンの底が焦げてしまいます。
- 発酵温度を調節して
発酵温度は4段階に設定できます。(30・35・40・45℃) 生地の初温、季節、分量などによって、使い分けます。基本の発酵温度は40℃です。
- 加熱が足りなかったときは
「オープン」| 予熱なし | 170℃で様子を見ながら焼きます。
→P.42

作りかた

- ① ポウルに①とドライイーストをふるい入れ、②を加えて手でかるく混ぜ、バターを少しずつ加え、よく混ぜてひとまとめにする。
- ② 生地がベトつなくなり、ポウルからくると離れるまでよくこね、台にたたきつけてのぼしたり、半分に分けて押しつぶしながら約15分こね、生地を丸める。
- ③ バター (分量外) を薄く塗ったポウルに②を入れ、黒皿にのせて下段に入れ「オープン」| 予熱なし | 発酵40℃ | 50~60分で1次発酵をする。
- ④ 生地が2~2.5倍に発酵したら指に小麦粉 (分量外) をつけ、生地の中央を刺してみ、指の穴がそのまま残れば発酵は十分。
- ⑤ 打ち粉 (強力粉・分量外) をしたのし台にポウルをふせて生地を取り出し、手でかるく押しつけて中のガスを抜く。
- ⑥ 生地をスクッパー (または包丁) で9個 (1個約42g) に切り分ける。手でちぎると生地がいたんでふくらみが悪くなる。
- ⑦ 生地のひとつひとつを手のひらが、のし台で表面がなめらかになるように丸め、生地にラップかかたく絞ったぬれふきんをかけ、生地の温度が下がらないようにして約20分休ませる。(パンチタイム)
- ⑧ 生地を手のひらに挟み、すり合わせるようにしながら円すい形にし、さらにめん棒で細長い三角形にのばす。
- ⑨ 三角形の底辺からクルクルと巻き、バター (分量外) を薄く塗った黒皿に巻き終わりを下にして並べ、下段に入れ「オープン」| 予熱なし | 発酵40℃ | 25~40分で生地が2~2.5倍になるまで2次発酵をする。
- ⑩ 発酵後、黒皿を取り出しドアを閉め、食品を入れずに「デイリー」| 10 | バターロール | で予熱する。
- ⑪ 生地の表面につやだし用卵を薄くていねいに塗る。
- ⑫ 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、⑪を下段に入れて加熱する。

「オープン発酵の使いかた」→P.45

オート11 簡単パン



メニュー選択ボタン	使用付属品
デイリー	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒皿 下段
加熱 約30分	(下ごしらえ)では黒皿は使用できません

材料	8個分
小麦粉 (強力粉)	150g
砂糖	大さじ1 (約9g)
塩	小さじ½ (約2g)
ドライイースト (顆粒状で予備発酵不要の物)	小さじ1 (約2.5g)
水	90~100mL
バター (室温に戻す)	大さじ1 (約12g)

作りかた

- ① ポリ袋 (市販) に①とドライイーストを入れて混ぜ合わせる。
- ② バターを容器に入れ「レンジ」| 500W | 約30秒 | で加熱して溶かし、水を加える。
- ③ ②を①に入れてポリ袋の口を閉じ、振って粉と水分をよく混ぜ合わせる。
- ④ 10分間十分にこねる。この時、ポリ袋に少し空気を入れて口を閉じると、簡単に両手でこねることができる。



- ⑤ ④の生地を2~3cmの厚さに整え、レンジ発酵| 仕上がり調節 | 中 | 10~14分 | で1次発酵をする。
- ⑥ 打ち粉 (強力粉・分量外) をしたのし台に生地を取り出し、手でかるく押しつけて中のガスを抜く。
- ⑦ 生地をスクッパー (または包丁) で8個 (1個約33g) に切り分ける。手でちぎると生地がいたんでふくらみが悪くなる。
- ⑧ 生地を手のひらで丸めてオープンシートを敷いたテーブルプレートの中央に寄せて (写真参照) 並べ「レンジ発酵」| 仕上がり調節 | 中 | 10~14分 | で2次発酵する。
- ⑨ 発酵後、生地をのせたオープンシートの両端を引いてすべらせながら黒皿に移し、下段に入れ「デイリー」| 11 | 簡単パン | で加熱する。

「レンジ加熱の使いかた」→P.38,39

「レンジ発酵の使いかた」→P.44

簡単パンのコツ

- 1回に焼ける分量は
表示の分量です。手軽にかんたんに、短時間で作れる最適分量です。
 - 使えるポリ袋は
市販の25×35cmほどの大きさで、電子レンジで使える半透明の袋が適していますが、透明なポリ袋でもよいでしょう。穴のあいていないことを確認してから使いましょう。
 - こね上げの目安は
粉のかたまりがなくなり、粘り気が出て、ガムのように伸びるようになって、生地が袋から離れて1つになるのが目安です。
 - 発酵の仕上がり目安は
室温やイーストの種類によって多少違ってきます。1次発酵は生地が網目状になり1.2~1.5倍になるのが目安です。2次発酵は生地が1.5倍くらいになるのが目安です。
 - 発酵の時間は様子を見て加減
季節や室温、テーブルプレートの冷え具合によって違います。1次発酵は8~12分発酵させ、2次発酵で調節します。
- | | | |
|------|----------|----------|
| | ふくらみが小さい | ふくらみが大きい |
| 2次発酵 | 12~20分 | 6~8分 |
- 生地が乾燥しないように
分割や成形のときは固く絞ったぬれふきんをかけたり、ポリ袋に入れておきます。
 - 生地が丸めかた (成形) は
なめらかな面を表にして切り口を中にかくすように丸め、裏側の開いている部分を指でつまんで閉じます。
 - パンの表面につやを出したいときは
焼く直前に、生地の表面に塩少々を加えた溶き卵を薄く塗ります。
 - 加熱が足りなかったときは
「オープン」| 予熱なし | 180℃ | で様子を見ながら焼きます。
→P.42



応用 11 簡単あんパン



材料	8個分
つぶあん	200g
簡単パンの生地 (→P.93)	1回分
けしの実	適量
〈つやだし用卵〉 卵 (溶きほぐす)	1/2個
塩	少々

作りかた

- 1 つぶあんはレンジ500W | 1分30秒~2分 で途中かき混ぜながら加熱し、冷めてから8等分して丸めておく。
- 2 簡単パンの作りかた (→P.93) ①~⑦を参照し、生地をつくる。
- 3 ②を円形にのぼし①のあんを包み、閉じ口をしっかり止め、オープンシートを敷いたテーブルプレートに並べレンジ発酵 | 仕上げ調節中 | 10~14分 で2次発酵する。
- 4 発酵後、生地の表面をかるく押して平らにし、表面につやだし用卵を薄くていねいに塗る。
- 5 生地をのせたオープンシートの両端を引いてすべらせながら黒血に移し、けしの実を散らす。
- 6 ⑤を下段に入れ | デイリー | 11 簡単パン | で加熱する。

「レンジ加熱の使いかた」 (→P.38,39)

「レンジ発酵の使いかた」 (→P.44)

応用 11 簡単クリームパン

材料 (8個分)

簡単あんパンの材料を参照し、つぶあんをカスタードクリーム (→P.88) に加え、けしの実を取る。

作りかた

簡単あんパンの作りかたを参照し、③でカスタードクリーム (→P.88) を包み、④~⑥を参照して加熱する。

「レンジ加熱の使いかた」 (→P.38,39)

「レンジ発酵の使いかた」 (→P.44)

応用 11 簡単全粒粉パン



材料	1個分
小麦粉 (強力粉)	120g
全粒粉 (あらびき)	30g
砂糖	9g
塩	1.6g
ドライイースト (顆粒状で予備発酵不要の物)	2.5g
水	90~100mL
バター (室温に戻す)	12g

作りかた

- 1 ポリ袋 (市販) に①とドライイーストを入れて混ぜ合わせる。
- 2 バターを容器に入れ | レンジ500W | 約30秒 | で加熱して溶かし、水を加える。
- 3 ②を①に入れてポリ袋の口を閉じ、振って粉と水分をよく混ぜ合わせる。
- 4 10分間十分にこねる。この時、ポリ袋に少し空気をいれて口を閉じると、簡単に両手でこねることができる。
- 5 ④の生地を2~3cmの厚さに整え | レンジ発酵 | 仕上げ調節中 | 10~14分 | で1次発酵をする。
- 6 打ち粉 (強力粉・分量外) をしたのし台に生地を取り出し、手でかるく押して中のガスを抜く。
- 7 丸めた生地をだ円形にのぼし、タテ1/2ずつ内側に折り込み、それを右手の手のひらで押さえ込むようにタテ2つ折りにして合わせ目をしっかり閉じたら、黒血の対角線の長さで細長くのばす。
- 8 オープンシートを敷いたテーブルプレートの中央に生地を置き | レンジ発酵 | 仕上げ調節中 | 10~14分 | で2次発酵する。
- 9 発酵後、生地に霧をふいて表面を湿らせて全粒粉 (分量外) をふりかけ、生地の中心に包丁かかみそりでクープ (切り目) を1本入れる。
- 10 生地をのせたオープンシートの両端を引いてすべらせながら黒血に移し、下段に入れ | デイリー | 11 簡単パン | で加熱する。

「レンジ加熱の使いかた」 (→P.38,39)

「レンジ発酵の使いかた」 (→P.44)

応用 11 油で揚げないカレーパン



材料	8個分
レトルトカレー (市販の物)	1袋 (約200g)
① 玉ねぎ (みじん切り)	1/4個
② 小麦粉 (薄力粉)	9g
③ 小麦粉 (強力粉)	150g
④ 砂糖	大さじ1 (約9g)
⑤ 塩	小さじ1/2 (約2g)
ドライイースト (顆粒状で予備発酵不要の物)	小さじ1 (約2.5g)
水	90~100mL
バター (室温に戻す)	大さじ1 (約12g)
小麦粉 (薄力粉)	適量
卵 (溶きほぐす)	1個
煎りパン粉 (→P.74)	適量

作りかた

- 1 レトルトカレーを深めの耐熱容器に移し、①を加え、よく混ぜ合わせ | レンジ | 200W | 7~10分 | で途中かき混ぜながら加熱し、冷めてから8等分しておく。
- 2 ポリ袋 (市販) に②とドライイーストを入れて混ぜ合わせる。
- 3 バターを容器に入れ | レンジ500W | 約30秒 | で加熱して溶かし、水を加える。
- 4 ③を②に入れてポリ袋の口を閉じ、振って粉と水分をよく混ぜ合わせる。
- 5 10分間十分にこねる。この時、ポリ袋に少し空気をいれて口を閉じると、簡単に両手でこねることができる。
- 6 ⑤の生地を2~3cmの厚さに整え | レンジ発酵 | 仕上げ調節中 | 8~12分 | で1次発酵をする。
- 7 打ち粉 (強力粉・分量外) をしたのし台に生地を取り出し、手でかるく押して中のガスを抜く。
- 8 生地をスケッパー (または包丁) で8個 (1個約33g) に切り分ける。手でちぎると生地がいたんでふくらみが悪くなる。
- 9 ⑧の閉じ口を下にしてだ円形にのぼし①のカレーあんを包み、閉じ口をしっかり止め、小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
- 10 ⑩をオープンシートを敷いたテーブルプレートに並べ | レンジ発酵 | 仕上げ調節中 | 8~12分 | で2次発酵する。

オープンシート

「レンジ加熱の使いかた」 (→P.38,39)

「レンジ発酵の使いかた」 (→P.44)

手動 簡単肉まん



メニュー選択ボタン	使用付属品
レンジ (発酵)	給水タンク (空)
レンジ200W 5~6分	黒血は使用できません

材料

材料	6個分
小麦粉 (強力粉)	100g
小麦粉 (薄力粉)	50g
① 砂糖	10g
② 塩	2g
ドライイースト (顆粒状で予備発酵不要の物)	3g
ぬるま湯 (約40℃)	80mL
冷凍シューマイ (室温に戻し、3~4つに切る)	6個

作りかた

- 1 ポリ袋 (市販) に①とドライイーストを入れて混ぜ合わせる。
- 2 ①にぬるま湯を入れてポリ袋の口を閉じ、振って粉と水分をよく混ぜ合わせる。
- 3 10分間十分にこねる。この時、ポリ袋に少し空気をいれて口を閉じると、簡単に両手でこねることができる。
- 4 ③の生地を2~3cmの厚さに整え、テーブルプレートに置き | レンジ発酵 | 仕上げ調節中 | 10~14分 | で1次発酵をする。
- 5 打ち粉 (強力粉・分量外) をしたのし台に生地を取り出し、手でかるく押して中のガスを抜く。
- 6 生地をスケッパー (または包丁) で6個 (1個約40g) に切り分ける。手でちぎると生地がいたんでふくらみが悪くなる。
- 7 生地のひとつひとつを手のひらか、のし台で表面がなめらかなように丸め、ラップかかたく絞ったぬれぶきんをかけて、生地の温度が下がらないようにして約10分間休ませる。(ベンチタイム)
- 8 ⑦の生地を円形にのぼし、シューマイを包み閉じ口をしっかり止める。
- 9 深めの耐熱容器に2個を並べて霧を吹き、かるくラップをしてテーブルプレートの中央に置き | レンジ | 200W | 5~6分 | で加熱する。加熱後、すぐにラップを外し、残りも同様に加熱する。

「レンジ発酵の使いかた」 (→P.44)

「レンジ加熱の使いかた」 (→P.38,39)

【ひとくちメモ】

- まんじゅうの閉じ口はしっかり止めます。
- シューマイを冷凍のミートボールなどにしても良いでしょう。

オート7 ピザ (パン生地)



メニュー選択ボタン	使用付属品
デリ-	給水タンク 空
加熱時間の目安	黒皿 下段 (下ごしらえ) では黒皿は使用できません
予熱 約9分 / 加熱 約16分	

材料	直径24cmのピザ1枚分
小麦粉 (強力粉)	100g
小麦粉 (薄力粉)	50g
① 砂糖	10g
塩	2g
ドライイースト (顆粒状で予備発酵不要の物)	2g
② ぬるま湯 (約30℃)	100mL
③ オリーブ油	15mL
ピザソース (市販の物)	適量
④ 玉ねぎ (薄切り)	大1/4個 (約75g)
⑤ ベーコン (たんざく切り)	50g
⑥ サラミソーセージ (薄切り)	8枚
⑦ ビーマン (輪切り)	2個
⑧ マッシュルーム (缶詰、薄切り)	小1/2缶 (約25g)
⑨ 塩、こしょう	各少々
⑩ スタッフトオリーブ (薄切り)	4個
⑪ ナチュラルチーズ (細かくきざんだ物)	100g

ピザのコツ

- 焼けるピザの種類は
パン生地タイプのピザです。
- 1回に焼ける分量は
黒皿1枚分です。
- 焼き上がったピザを切り分けるときは
キッチンばさみを使うと便利です。
- 焼きが足りなかったときは
「オープン」予熱なし | 200℃ | で様子を見ながら焼きます。
→P.42
- 冷凍ピザは
市販のピザを参照して焼きます。

作りかた

- ① ポリ袋 (市販) に①とドライイーストを入れて混ぜ合わせる。
- ② ①に②を入れて5分こねる。このとき、ポリ袋に少し空気をいれて口を閉じると、簡単に両手でこねることができる。(簡単パン→P.93)の作りかた④参照。)
- ③ ②をテーブルプレートの中央に置き「レンジ発酵」仕上がり調節中 | 約10分 | で一次発酵させる。(発酵の目安は簡単パンのこつ→P.93)
- ④ のし台に少し打ち粉 (強力粉・分量外) をして、袋から取り出す。
- ⑤ 生地をかるく押して中のガスを抜き、丸める。
- ⑥ 丸めた生地を直径24cmくらいの円形にのばして、オープンシートを敷いた黒皿にのせる。
- ⑦ のばした生地にフォークで穴をあけ、ピザソースを塗り、⑧を並べてかるく塩、こしょうをし、チーズとオリーブを全体に散らす。
- ⑧ 食品を入れずに「デリ-」7ピザ (パン生地) で予熱する。
- ⑨ 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、⑦を下段に入れて加熱する。

「レンジ発酵の使いかた」→P.44

手動 市販のピザ

市販のピザを焼くときは、手動調理で様子を見ながら加熱する。「オープン」200℃ | で予熱の有無と冷凍・冷蔵によって下の表を参照して時間をかえ、下段に入れて加熱する。

	予熱なし	予熱あり
冷凍	23 ~ 30分	10 ~ 18分
冷蔵	15 ~ 28分	10 ~ 15分

「オープン加熱 (予熱なし) の使いかた」→P.42

「オープン加熱 (予熱あり) の使いかた」→P.43

応用7 シーフードピザ



材料	直径24cmのピザ1枚分
小麦粉 (強力粉)	100g
小麦粉 (薄力粉)	50g
① 砂糖	大さじ1 (約9g)
塩	小さじ1/2 (約2g)
ドライイースト (顆粒状で予備発酵不要の物)	小さじ1/2 (約2g)
② ぬるま湯 (約30℃)	100mL
③ オリーブ油	大さじ1 (約12mL)
④ にんにく (みじん切り)	1片
⑤ オリーブ油	5mL
シーフードミックス (解凍して水けを切っておく)	100g
ピザソース (市販の物)	適量
⑥ 玉ねぎ (薄切り)	大1/4個 (約50g)
⑦ ビーマン (輪切り)	1個
⑧ マッシュルーム (缶詰、薄切り)	小1/2缶 (約25g)
⑨ 塩、こしょう	各少々
⑩ スタッフトオリーブ (薄切り)	4個
⑪ ナチュラルチーズ (細かくきざんだ物)	70g

作りかた

- ① フライパンに、にんにくとオリーブ油を熱し、シーフードミックスをかるくいため、取り出しておく。
- ② ピザ (パン生地) →P.96 | の作りかた①~⑥を参照して生地を作る。
- ③ のばした生地にフォークで穴をあけ、ピザソースを塗り、④と①を並べて塩、こしょうをし、スタッフトオリーブとナチュラルチーズを全体に散らす。
- ④ ピザ (パン生地) →P.96 | の作りかた⑧、⑨を参照して加熱する。

「レンジ発酵の使いかた」→P.44

ヨーグルト

手動 ヨーグルト



メニュー選択ボタン	使用付属品
レンジ (発酵)	給水タンク 空
レンジ発酵 仕上がり調節 やや弱 約90分 60~90分	黒血は使用できません

材料	4人分
牛乳(脂肪分 3.0%以上の物)	500mL
ヨーグルト(種菌)(市販のプレーンタイプ)	50~100g

【ひとくちメモ】
 ● お好みでジャムやくだもを加えたり、カレーやタンドリーチキンなどに加えてもよいでしょう。

作りかた

- ① 使用するふたつきの耐熱容器は熱湯で殺菌し、乾かしておく。
- ② 容器に牛乳を入れてふたをしてレンジ[600W]5~6分[で加熱し、約80℃くらいまであたためる。
- ③ 人肌くらいまで冷ました牛乳にヨーグルトを加え、かたまりが残らないようにスプーンなどでよく混ぜる。
- ④ ふたをしてテーブルプレートの中央に置き[レンジ発酵]仕上がり調節[やや弱]約90分[で発酵させる。
- ⑤ 加熱終了音が鳴ったら、再び[レンジ発酵]仕上がり調節[やや弱]60~90分[で牛乳が好みのかたさにかたまるまで発酵させる。
- ⑥ 加熱後、あら熱を取り、冷蔵庫で冷やす。

「レンジ加熱の使いかた」 → P.38,39
 「レンジ発酵の使いかた」 → P.44

ヨーグルトのコツ

- 1回に作れる分量は牛乳の分量は500mLです。500mL以外の分量では、加熱時間や発酵時間の調節が必要です。
- 容器はふたつきの耐熱性の物を使う直前に熱湯で殺菌をして、乾かしてから使います。スプーンやカップなども清潔な物を使います。
- 使用する牛乳は新鮮な普通牛乳で脂肪分3.0%以上の物を使います。低脂肪乳を使うと水っぽくなってしまいます。高温殺菌(120~140℃表示)した牛乳でも、80℃ぐらいに加熱してから使ってください。乳酸菌は60℃以上になると死んでしまいます。ヨーグルトを加えるときの牛乳の温度に注意してください。
- 種菌(スターター)は
 - 市販されている新鮮なプレーンヨーグルト(無脂肪固形分9.5%、乳脂肪分3.0%の物)を使います。
 - 無脂肪固形分や乳脂肪分の違う物や、糖分、果肉などが入ったヨーグルトでは上手に作れません。
 - 種菌の分量が多いほど作りやすくなります。
 - 手作りのヨーグルトは種菌(スターター)として使わないでください。
- でき上がりの目安は牛乳がかたまったらでき上がりです。手早くあら熱を取り、早めに冷蔵庫に入れてください。そのままにしておくと発酵が進み、酸っぱさが増します。
- 保存方法、保存期間は冷蔵庫に保存し、2~3日の間に食べきってください。

ヨーグルトソース



材料	4人分
手作りヨーグルト	大きさ2
クリームチーズ	40g
マヨネーズ	大きさ1
塩	適量

作りかた

- ① 材料を混ぜ合わせ、お好みで塩を加え、サラダなどに。

ホームページからレシピ集を見る

スマートフォンやタブレット端末を使うとき(コードが読み取れるとき)

- ① コードを読み取る
- ② 見たい項目を選択
- ③ 表示

パソコンを使うとき(コードが読み取れないとき)

- ① URLを入力 <http://kadenfan.hitachi.co.jp/range/recipe/mro-sf6/>
- ② 見たい項目を選択
- ③ 表示

お知らせ ● ご利用の環境によっては、コードの読み取り、ページの表示ができない場合があります。
 ● ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。
 ● レシピ集のホームページ掲載は、予告なく中止することがあります。

保証とアフターサービス

★本体内部には高圧配線がしてありますので、ご家庭での修理はおやめください。

保証書(別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのと、大切に保管してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。
 (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
 (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷。
 (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。
 (ニ) 一般家庭用以外(例えば業務用等)の長時間使用及び車両(車載用を除く)、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
 ● 保証期間は、お買い上げの日から1年です。ただし、マグネトロンについては2年です。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの過熱水蒸気オープンレンジの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

→ P.53~55)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

■連絡していただきたい内容

品名	日立過熱水蒸気オープンレンジ
形名	(銘板に書いてあります)
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	(できるだけ具体的に)
ご住所	(付近の目印等も併せてお知らせください)
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

※銘板は本体右側面にあります。

「ご相談窓口」

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
 ※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

修理に関するご相談はエコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
 FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00~19:00(月~土)、9:00~17:30(日・祝日)
 携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
 FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
 年末年始は休ませていただきます。
 携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 出張修理のご用命はインターネットからも申し込みいただけます。URL <http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/toiwase.html> または、「日立家電修理」検索「お問い合わせ」ページ(出張修理のWeb受付) ボタンより入力画面にお進みください。(注) 対象製品をご確認のうえお申込みください。
- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

保証とアフターサービス
 「ご相談窓口」

ヨーグルト

この製品は、日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

仕様

電	源	交流 100V、50Hz-60Hz 共用
電子レンジ	消費電力	1,450W
	高周波出力	1,000W*1、800W、600W、500W、200W 相当、100W 相当
	発振周波数	2,450MHz
グリル		消費電力 1,350W (ヒーター 1,300W)
オープン		消費電力 1,350W (ヒーター 1,300W)
温度調節範囲		発酵、100~210℃、250℃ 250℃の運転時間は約 5 分です。その後は自動的に 210℃に切り替わります。
外形寸法		幅 483×奥行 386(427*2)×高さ 340mm
加熱室有効寸法		幅 295×奥行 316×高さ 220mm
質量(重量)		約 13kg
電源コードの長さ		約 1.4m
消費電力量の目安*3		
区分名		B
電子レンジ機能の年間消費電力量		58.5kWh / 年
オープン機能の年間消費電力量		13.7kWh / 年
年間待機時消費電力量		0.0kWh / 年*4
年間消費電力量		72.2kWh / 年

*1 高周波出力1,000Wは短時間高出力機能(最大3分間)です。この機能はオート調理のあたためなどの限定したメニューにのみ働きます。

*2 ()内は、ハンドルを含む奥行寸法です。

*3 年間消費電力量(kWh/年)は省エネ法・特定機器「電子レンジ」測定方法による数値です。区分名も同法に基づいています。

*3 実際お使いになるときの年間消費電力量は周囲環境、使用回数、使用時間、食品の量によって変化します。

*4 コンセントに電源プラグを差した状態で、表示部が消灯しているときの消費電力は「0」Wです。(表示部「0」表示時約2W)



このマークは、特定の化学物質(鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル))の含有率が基準値以下であることを示しています。

(規定の除外項目を除く)

JIS C 0950 : 2008

詳しい環境情報は、当社のホームページでご覧いただけます。<http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo/>

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。

サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名

電話() -

ご購入年月日

年 月 日

愛情点検



●長年ご使用の過熱水蒸気オーブンレンジの点検を!

ご使用の際、このようなことはありませんか

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ドアに著しいガタや変形がある。
- スタートボタンを押しても食品が加熱されない。
- 自動的に切れないときがある。
- 焦げくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や火花(スパーク)が出る。
- 過熱水蒸気オーブンレンジに触れるとビリビリと電気を感ずることがある。
- その他の異常や故障がある。

●過熱水蒸気オーブンレンジの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

この過熱水蒸気オーブンレンジの製造時期は本体の右側面に表示されています。

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111